本資料のうち、枠囲みの内容 は商業機密の観点から公開で きません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料				
資料番号	02-補-E-01-0210-1_改 6			
提出年月日	2021年10月22日			

補足-210-1【発電用原子炉施設の火災防護に関する補足説明資料】

2021年10月

東北電力株式会社

補足説明資料目次

- 1. 基本事項に係るもの
 - 1-1 原子炉の安全停止に必要な機能を達成するための系統
 - 1-2 火災区域の配置を明示した図面
 - 1-3 内部火災に関する工事計画変更認可後の変更申請対象項目の抽出について
- 2. 火災の発生防止に係るもの
 - 2-1 潤滑油及び燃料油の引火点,室内温度及び機器運転時の温度について
 - 2-2 保温材の使用状況について
 - 2-3 建屋内装材の使用状況について
 - 2-4 難燃ケーブルの使用について
 - 2-5 水素の蓄積防止対策について
- 3. 火災の感知及び消火に係るもの
 - 3-1 ガス消火設備について
 - 3-2 消火用の照明器具の配置図
 - 3-3 電動機駆動消火ポンプ,屋外消火系電動機駆動消火ポンプ及び屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプの構造図
 - 3-4 電動機駆動消火ポンプ,屋外消火系電動機駆動消火ポンプ及び屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプのQHカーブ
 - 3-5 屋外消火系ディーゼル駆動消火ポンプの内燃機関の発電用火力設備に関する技術基準を 定める省令への適合性について
 - 3-6 消火栓及びガス消火設備の必要容量について
 - 3-7 可燃物管理により火災荷重を低く管理することで、煙の発生を抑える火災区域又は火災 区画についての管理基準
 - 3-8 新燃料貯蔵庫の未臨界性評価について
 - 3-9 火災感知器の種類及び配置を明示した図面
 - 3-10 重大事故等対処施設及び設計基準事故対処設備の消火設備の位置的分散に応じた独立性を備えた設計について
 - 3-11 火災感知設備の電源確保について
 - 3-12 トーラス室の換気風量について

- 4. 火災の影響軽減に係るもの
 - 4-1 火災の影響軽減のための系統分離対策について
 - 4-2 ケーブルトレイに適用する1時間耐火隔壁の火災耐久試験の条件について
 - 4-3 中央制御室制御盤内の分離について
 - 4-4 中央制御室の火災の影響軽減対策について
 - 4-5 火災区画特性表について
 - 4-6 火災を起因とした「運転時の異常な過渡変化」及び「設計基準事故」発生時の単一故障 を考慮した原子炉停止について
 - 4-7 中央制御室制御盤の火災を想定した場合の対応について
 - 4-8 原子炉格納容器内火災時の想定事象と対応について
 - 4-9 影響軽減対策における火災耐久試験結果の詳細について
- 5. 火災防護計画に係るもの
 - 5-1 火災防護に関する説明書に記載する火災防護計画に定め管理する事項について

: 今回提出資料

補足説明資料 3-9

火災感知器の種類及び配置を明示した図面

1. 目的

本資料は、VI-1-1-7発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書 5.1.2(1)b.項に示す火 災感知器の種類及び配置を示すために、補足資料として添付するものである。

2. 内容

火災感知器の選定においては、設置場所に対応する適切な火災感知器の種類を、VI-1-1-7 発電用原子炉施設の火災防護に関する説明書 5.1.2(1)b.項に示すとおり、消防法に準じて選定する設計とする。また、火災感知器の取付方法、火災感知器の設置個数の考え方等の技術的な部分については、消防法施行規則第 23 条第 4 項に基づき設置する設計とする。

火災感知器の種類や設置に関する技術的な部分については、消防法施行規則に則り設置 する設計とする。

また,火災感知器の設置にあたっては,消防設備士によって確認を行う。

なお, 施工にあたっては, 消防法施行規則に則り設置する。

また、消防法認定品でない火災感知器を採用する場合、消防法(火災報知設備の感知器 及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号))に 定められる火災感知器の感知性能を有していることを確認している。

以下 3. 項においては、火災感知器のうち、基本的な組み合わせとなるアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器以外の火災感知器についての種類、仕様及び感知原理等を示す。

以下 4. 項においては、各火災感知器の具体的な設置条件及び消防法に準じて火災感知器 を設置した具合例を示す。

以下 5. 項においては、火災感知器の配置図を示す。

3. 基本的な組み合わせとなるアナログ式の煙感知器及びアナログ式の熱感知器以外の火災 感知器について

(1) 防爆型火災感知器

蓄電池室及び燃料タンクに設置する防爆型火災感知器は,煙感知器と熱感知器であり, これらの感知器の防爆性能について以下に示す。

a. 防爆型煙感知器の概要

防爆型煙感知器の原理を図3-1,外形を図3-2に示す。

動作原理は、感知器内に煙が取込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受 光素子に光が当ることで煙を感知し、受信機へ火災信号を出力する。

防爆型煙感知器は、可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発が生じた場合に、当該感知器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから、防爆性能(耐圧防爆構造*)を有する。

b. 消防法の認定について

防爆型煙感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条(光電式スポット型感知器の公称蓄積時間の区分及び濃度))に定められる感知性能を満足している。

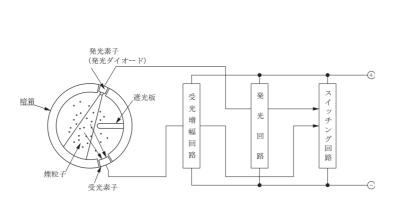


図 3-1 防爆型煙感知器の原理

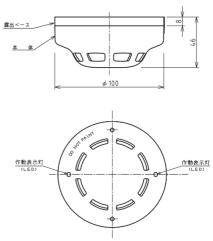


図 3-2 防爆型煙感知器の外形

c. 防爆型熱感知器の概要

防爆型熱感知器の原理を図3-3,外形を図3-4に示す。

動作原理は、感熱素子サーミスタを用いて熱を検出し、周囲温度が一定値以上になったときに受信機に火災信号を発する。サーミスタは温度変化により抵抗値が変化する素子で、一定周期で電流を流してサーミスタの両端にかかる電圧を測定し、温度検出回路にて変換した電圧値を内部制御回路に送り、制御回路にて一定時間内での温度上昇値を測定し、温度上昇率が設定値を超えた場合に火災と判断し、受信機に火災信号を発する。

防爆型熱感知器は、可燃性ガス又は引火性の蒸気が感知器内部に侵入して爆発が生じた場合に、当該感知器が爆発圧力に耐え、かつ、爆発による火災が当該火災感知器の外部のガス又は蒸気に点火しない構造となっていることから、防爆性能(耐圧防爆構造*)を有する。

d. 消防法の認定について

防爆型熱感知器は,消防法認定品であり,消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第14条(定温式感知器の公称差動温度の区分及び感度))に定められる感知性能を満足している。

注記*:耐圧防爆構造(「電気機械器具防爆構造規格」労働省告示第16条)

全閉構造であって,可燃性ガス(以下「ガス」という。)又は引火性の蒸気 (以下「蒸気」という。)が容器内部に侵入し爆発を生じた場合に,当該容器 が爆発圧力に耐え,かつ,爆発による火災が当該容器の外部のガス又は蒸気に 点火しないようにしたものをいう。

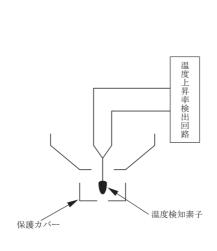


図 3-3 防爆型熱感知器の原理

図 3-4 防爆型熱感知器の外形

e. 地下軽油タンク室に設置する防爆型感知器について

防爆型感知器の設置箇所のうち非常用ディーゼル発電設備軽油タンク、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは地下埋設構造となっていることから、火災感知器の環境条件のうち、結露に対する設計上の考慮について以下に示す。なお、地下埋設構造及び火災感知器の環境条件は同様であることから、地下軽油タンク室を代表に説明する。

地下軽油タンク室に設置する防爆型煙感知器の外形を図 3-5, 防爆型熱感知器の外形を図 3-4 に示す。また、地下軽油タンク室の構造(断面)を図 3-6 に示す。

地下軽油タンク室は出入口としてマンホールが設けられているが、それ以外に外気と接する箇所はなく、このマンホールは水密性を有していることから、通常は外気から遮断されており、急激な温度変化は生じない構造となっている。また、軽油タンク本体は地下軽油タンク室内に設置され、タンク室内天井部に設置した火災感知器によって火災を感知する設計とする。

防爆型煙感知器については煙の流入を感知する感知部と防爆容器で覆われた内部基盤で構成されており、この内部基盤において結露が発生した場合に誤作動する可能性がある。しかし、周囲温度の急激な変化が生じないことから、防爆容器で密閉された感知器内部と周囲温度で急激な温度差が生じることはほぼなく、防爆容器内が結露する可能性は低い。

また、防爆型熱感知器はサーミスタを利用した方式の感知器であり、温度上昇を感知する感知部とその温度上昇によって電流が流れる内部回路で構成される。

防爆型熱感知器では感知部以外は露出しておらず、内部回路において結露が生じた場合、誤作動する可能性があるが、周囲温度の急激な温度変化が生じないことから、 感知器内部と周辺温度で急激な温度差が生じることはほぼなく、内部回路が結露する 可能性は低い。

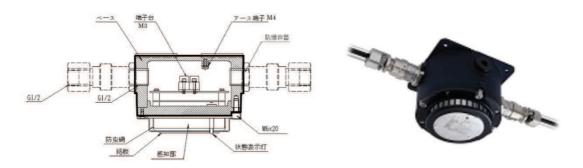


図 3-5 防爆型煙感知器(地下軽油タンク室)の外形

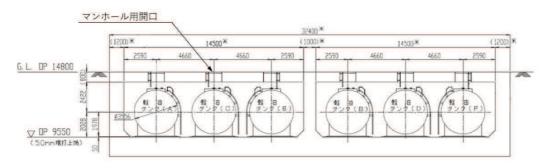


図 3-6 地下軽油タンク室 (断面)

防爆型煙感知器の取付方法を図 3-7, 防爆型熱感知器の取付方法を図 3-8 に示す。 万が一, 地下軽油タンク室内で結露が発生した場合においても, 各感知器は直接天井 部等と接することなく設置されており, 感知器の構造を考慮すると天井部等からの水 滴が防爆容器等で仕切られた内部まで浸入する可能性は低い。

よってそれぞれの感知器は結露を考慮しても地下軽油タンク室における運用に問題ないといえる。

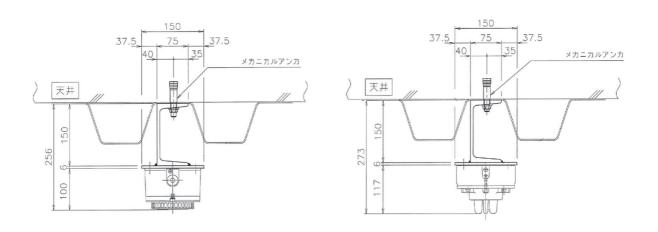


図 3-7 防爆型煙感知器の取付方法

図 3-8 防爆型熱感知器の取付方法

なお,防爆型火災感知器は消防法施行規則に準じ,外観点検及び自動試験機能又は煙等の火災を模擬した機能試験を実施できる設計とする。

(2) 防湿型煙感知器

a. 防湿型煙感知器の概要

防湿型煙感知器の原理を図3-9,外形を図3-10に示す。

動作原理は、感知器に煙が取り込まれると、発光素子の光が煙によって散乱し、受 光素子に光が当ることで火災を感知し、受信機へ火災信号を出力する。また、感知器 の取付用ボックス内にヒーターを内蔵したことにより、非火災の発報の原因となる結 露の発生する場所にも有効な構造となっている。

b. 消防法の認定について

防湿型煙感知器は、消防法認定品であり、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和 56 年 6 月 20 日自治省令第 17 号)第 17 条(光電式スポット型感知器の公称蓄積時間の区分及び濃度))に定められる感知性能を満足している。

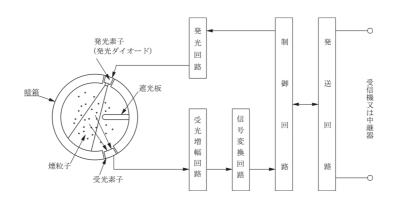




図 3-9 防湿型煙感知器の原理

図 3-10 防湿型煙感知器の外形

(3) 防水型熱感知器

a. 防水型熱感知器の概要

防水型熱感知器の原理を図 3-11,外形を図 3-12 に示す。

動作原理は、温度検知素子を用いて熱を検出し、周囲の温度が一定の範囲内の温度 になったときに受信機へ火災信号を出力する。また、防水構造となっており、結露の 発生する場所にも有効な仕様となっている。

b. 消防法の認定について

防水型熱感知器は、消防法認定品であり、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和 56 年 6 月 20 日自治省令第 17 号)第 14 条(定温式感知器の公称差動温度の区分及び感度))に定められる感知性能を満足している。

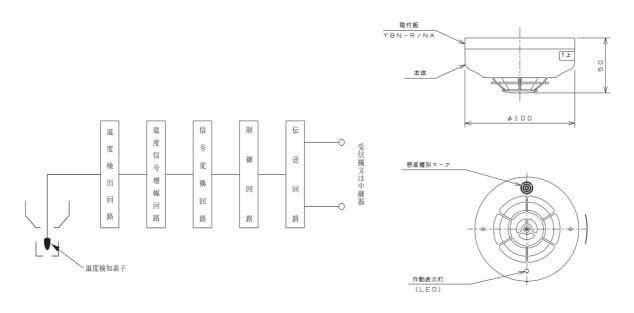


図 3-11 防水型熱感知器の原理

図 3-12 防水型熱感知器の外形

(4) 熱感知器 (金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)

a. 熱感知器 (金属の膨張係数の係数の差を利用したもの) の概要

熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)の原理を図 3-13,外形を図 3-14 に示す。

動作原理は、膨張係数の大きい金属の外筒と膨張係数の小さいストラットを組合せ、 その膨張係数の差によって接点を閉じて火災を感知し、受信機へ火災信号を出力する。 また、炎が生じ、温度上昇した場合にも火災として感知し、受信機へ火災信号を出力 する。

b. 消防法の認定について

熱感知器(金属の膨張係数の係数の差を利用したもの)は、消防法認定品であり、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和 56年 6月 20日自治省令第 17号)第 14条(定温式感知器の公称差動温度の区分及び感度))に定められる感知性能を満足している。

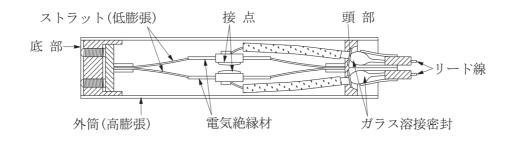


図 3-13 熱感知器 (金属の膨張係数の係数の差を利用したもの) の原理

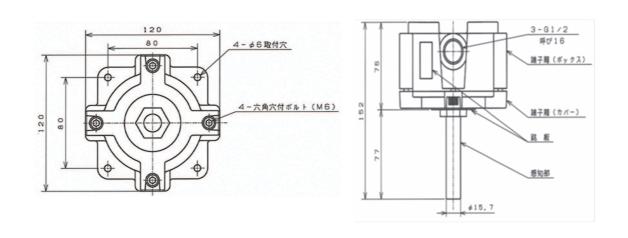


図 3-14 熱感知器 (金属の膨張係数の係数の差を利用したもの) の外形

(5) 炎感知器

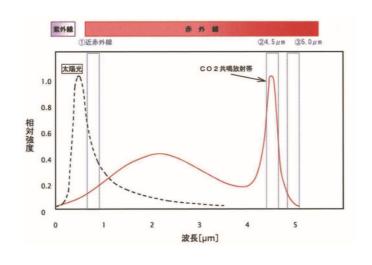
a. 炎感知器の概要

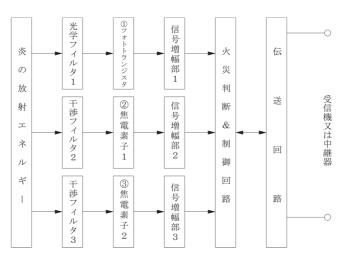
炎感知器の原理を図 3-15, 外形を図 3-16 に示す。

動作原理は、偏光フィルタ及び受光素子により炎特有の波長の赤外線及びちらつきを検知し、受信機へ火災信号を出力する。また、感知原理に「赤外線3波長式」(物質の燃焼時に発生する特有のエネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する)が採用されており誤作動を防止できる。

b. 消防法の認定について

炎感知器は、消防法認定品であり、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器に係る技術上の規格を定める省令(昭和56年6月20日自治省令第17号)第17条の8(炎感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角))に定められる感知性能を満足している。







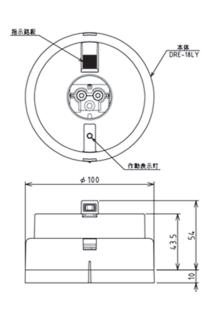


図 3-16 炎感知器の外形

(6) 屋外仕様炎感知器

a. 屋外仕様炎感知器の概要

屋外仕様炎感知器の概要を図 3-17 に示す。

動作原理は、偏光フィルタ及び受光素子により炎特有の波長の赤外線及びちらつきを検知し、受信機へ火災信号を出力する。また、感知原理に「赤外線 3 波長式」(物質の燃焼時に発生する特有のエネルギーの波長帯を 3 つ検知した場合にのみ発報する)が採用されており誤作動を防止できる。

また、平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。

b. 消防法の認定について

炎感知器は、消防法認定品ではないが、消防法(火災報知設備の感知器及び発信器 に係る技術上の規格を定める省令(昭和 56 年 6 月 20 日自治省令第 17 号)第 17 条の 8 (炎感知器の公称監視距離の区分、感度及び視野角)に定められる炎感知器の感度及 び視野角の感知性能が同等以上を有していることを確認している。





図 3-17 屋外仕様炎感知器の概要

(7) 熱感知カメラ

a. 熱感知カメラの概要

熱感知カメラの概要を図 3-18 に示す。

動作原理は、赤外線によって対象箇所が発する熱エネルギーを連続的にとらえ温度を監視し、設定温度を超えると受信機へ火災信号を出力する。

b. 消防法の認定について

熱感知カメラは,消防法認定の感知器ではないが,赤外線感知機能により死角となる場所がないように適切に設置する。



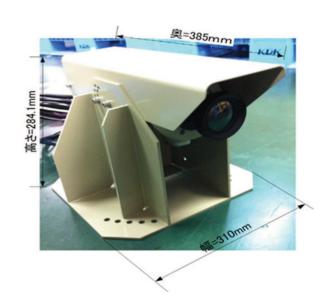


図 3-18 熱感知カメラの概要

4. 各火災感知器の設置条件及び具体例

- 4.1 各火災感知器の設置条件
- 4.1.1 火災感知器の種類と設置個数の考え方

各火災感知器の設置条件を表 4-1-1 に示す。

表 4-1-1 火災感知器の種類と設置個数の考え方

	火災感知器の設置個数の考え方					
火災感知器の種類			取付面高さ	回数の考えの 設置個数 当たりの 床面積	消防法 施行規則	
		1種及び	4m 未満	$150\mathrm{m}^2$		
煙	光電アナログ式スポット型 (防湿型含む)	2種	4m 以上 20m 未満	$75 \mathrm{m}^2$	第 23 条 第 4 項 第 7 号	
感		3 種	4m 未満	50m^2		
知		1種及び	4m 未満	$150 \mathrm{m}^2$		
器	光電式スポット型 (防爆型含む)	2種	4m 以上 20m 未満	$75 \mathrm{m}^2$		
	(例然至日日)	3 種	4m 未満	$50 \mathrm{m}^2$		
	熱アナログ式スポット型	_	4m 未満	70m ² *	第 23 条 第 4 項 第 3 号	
	(防水型含む)		4m 以上 8m 未満	35m^2 *		
熱		特殊	4m 未満	70m ² *		
感	定温式スポット型 (防爆型含む)		4m 以上 8m 未満	35m^2 *		
知		1種	4m 未満	60m ² *		
器			4m 以上 8m 未満	30m ² *		
		2 種	4m 未満	20m ² *		
			4m 以上 8m 未満	_		
炎感知器	赤外線3波長式	公式監視 距離最大 40m 以内	床面から 1.2m の監視空間		第23条 第4項 第7の4 号	
	赤外線3波長式 (屋外仕様)	最大 60m 以内 (試験に て確認)	監視範囲に死角がないように設置		消防法に 適用され ない	
熱感知カメラ	赤外線式	最大 60m 以内 (試験に て確認)			消防法に 適用され ない	

注:上記に記載のない事項については、消防法施行規則等に基づく、火災感知器の設置方 法に従う。

注記*:主要構造部を耐火構造とした防火対象物又はその部分における設置個数当たりの 床面積を示す。

4.1.2 煙感知器の設置条件

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により,はり等が天井より0.6m以上突出している場合は個別の区画とし、それぞれの床面積から煙感知器の必要個数を求める。(図4-1-2-1参照)

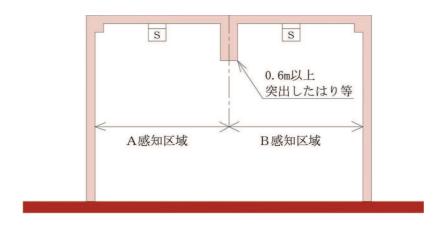


図 4-1-2-1 はり等が天井より 0.6m 以上突出している場合の区域の解説図

消防法施行規則第23条第4項第7号ホの規定により、天井高さから、それぞれの床面積に必要な煙感知器の設置個数を算出し設置する設計とする。 (表 4-1-2-1 参照)

24 1 1 2	XIIII NARCO JAK SALAMBIO KELIMETHI I OMI OMILIK				
感知器の種別	取付面の高さ	4m 未満	4m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満	
	1種	$150\mathrm{m}^2$	$75\mathrm{m}^2$	$75\mathrm{m}^2$	
煙感知器	2 種	$150 \mathrm{m}^2$	$75 \mathrm{m}^2$	_	
	3 種	$50 \mathrm{m}^2$	_	_	

表 4-1-2-1 天井高さから必要な煙感知器の設置個数を算出する場合の床面積

消防法施行規則第23条第4項第7号への規定により、煙感知器を廊下及び通路に設ける場合は、歩行距離30mにつき1個以上の個数を、階段及び傾斜路にあっては垂直距離15mにつき1個以上の個数を設置する設計とする。

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、はり等の深さが 0.6m 以上1m 未満で火災区画が連続する場合、下記図及び表で定める範囲の隣接する感知区域の当該部分を含めて1つの感知区域と見なすことができる。(図 4-1-2-2,表 4-1-2-2 参照)

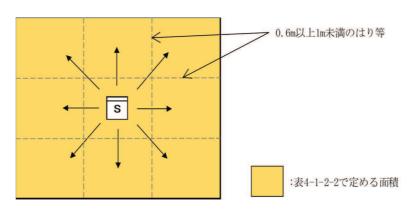


図 4-1-2-2 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(1)

取付け面の高さ	感知面積の合計				
感知器の種別	4m 未満	4m 以上 8m 未満	8m 以上 15m 未満	15m 以上 20m 未満	
1種	$60 \mathrm{m}^2$	$60 \mathrm{m}^2$	$40\mathrm{m}^2$	$40 \mathrm{m}^2$	
2 種	60m^2	60m^2	40m^2		
3 種	$20 \mathrm{m}^2$				

表 4-1-2-2 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、小区画が隣接している場合、はり等の深さが 0.6m以上 1 m 未満で区画された 10m²以下の小区画が 1 つ 隣接している場合は、当該部分を含めて 1 つの感知区域とすることができる。 (図 4-1-2-3 参照)

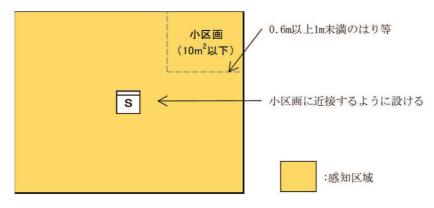


図 4-1-2-3 煙感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(2)

4.1.3 熱感知器の設置条件

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により,はり等が天井より0.4m以上突出している場合は個別の区画とし、それぞれの床面積から熱感知器の必要個数を求める。(図4-1-3-1参照)

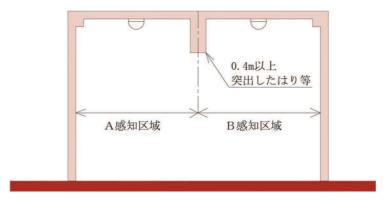


図 4-1-3-1 はり等が天井より 0.4m 以上突出している場合の区画の解説図

消防法施行規則第23条第4項第3号ロの規定により、天井高さから、それぞれの床面積に必要な熱感知器の設置個数を算出し設置する設計とする。 (表 4-1-3-1 参照)

取付面の高さ建築物の構造		 4m 未満		4m 以上 8m 未満	
感知器の種別	の構造	耐火	非耐火	耐火	非耐火
差動式スポット型 補償式スポット型	1種	90m^2	$50\mathrm{m}^2$	45m^2	$30 \mathrm{m}^2$
	2種	70m^2	$40 \mathrm{m}^2$	35m^2	25m^2
定温式スポット型	特種	70m^2	$40\mathrm{m}^2$	35m^2	$25 \mathrm{m}^2$
	1種	$60 \mathrm{m}^2$	$30 \mathrm{m}^2$	30m^2	$15\mathrm{m}^2$
	2 種	$20 \mathrm{m}^2$	$15\mathrm{m}^2$	_	_
勢アナログ式スポット型		70m ²	40m ²	$35m^2$	$25m^2$

表 4-1-3-1 天井高さから必要な熱感知器の設置個数を算出する場合の床面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、定温式スポット型熱感知器(特殊)は、短辺が3m未満の細長い居室等に熱感知器を設置する場合は、歩行距離が13mにつき1個以上の個数を設置する設計とする。

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、はり等の深さが 0.4m 以上1m 未満で火災区画が連続する場合、下記図及び表で定める範囲の隣接する感知区域の当該部分を含めて1つの感知区域と見なすことができる。(図 4-1-3-2,表 4-1-3-2 参照)

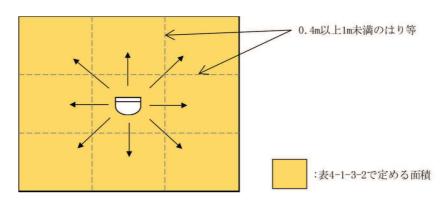


図 4-1-3-2 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(1)

感知区域		合計面積		
感知器の種別	物の構造	耐火	非耐火	
差動式スポット型 補償式スポット型	1種	$20 \mathrm{m}^2$	$15\mathrm{m}^2$	
	2 種	$15\mathrm{m}^2$	$10\mathrm{m}^2$	
定温式スポット型	特種	$15\mathrm{m}^2$	$10\mathrm{m}^2$	
	1種	$13 \mathrm{m}^2$	$8 \mathrm{m}^2$	
熱アナログ式スポット型		$15\mathrm{m}^2$	$10\mathrm{m}^2$	

表 4-1-3-2 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる面積

日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書により、小区画が隣接している場合、はり等の深さが 0.4m以上 1m未満で区画された 10m²以下の小区画が 1つ隣接している場合は、当該部分を含めて 1 つの感知区域とすることができる。(図 4-1-3-3 参照)

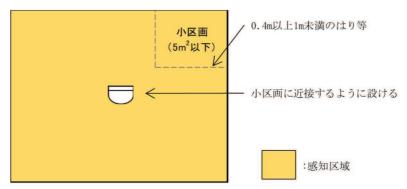


図 4-1-3-3 熱感知器における1つの感知区域と見なすことができる解説図(2)

4.2 火災感知器を設置した具体例

4.2.1 消防法に準じて感知器を設置した具体例

消防法施行規則第 23 条第 4 項に基づき,建屋等に設置する熱感知器,煙感知器及び炎感知器について,各建屋等の火災区域毎に整理した一覧表と配置図を別紙 1 に示す。

なお、消防法施行規則第 23 条第 4 項第 8 号の規定により、 の空気吹出し口から 1.5m 以上の離隔距離を満足する設計とする。 換気口等の空気吹 出し口からの離隔距離については、公益財団法人東京防災救急協会 予防事務審査・ 検査基準により確保する。(図 4-2-1-1、図 4-2-1-2 参照)ただし、吹出し方向が固 定されている場合で、感知器に直接風圧等がかからない場合はこの限りではないもの とする。

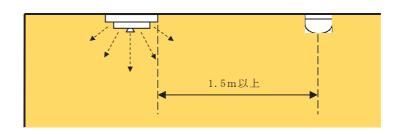


図-4-2-1-1 換気口等の空気吹出し口が天井面に設けられている場合

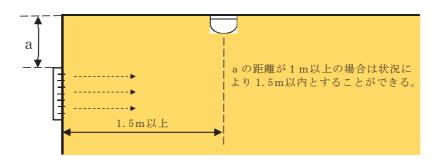


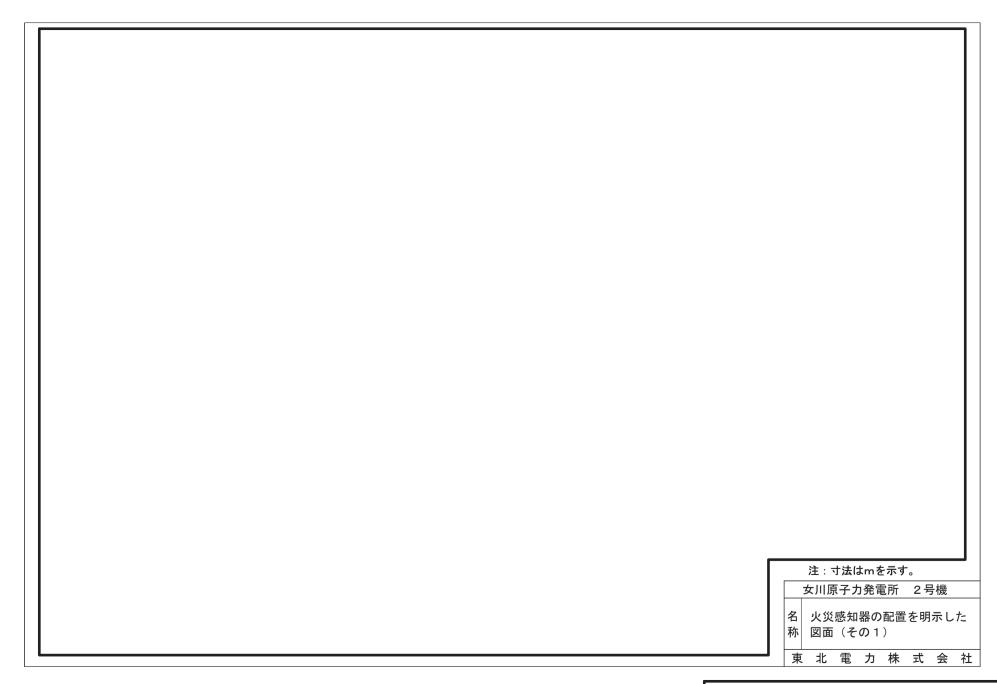
図-4-2-1-2 換気口等の空気吹出しが天井面から 1 m以上離れた壁体に 設けられている場合

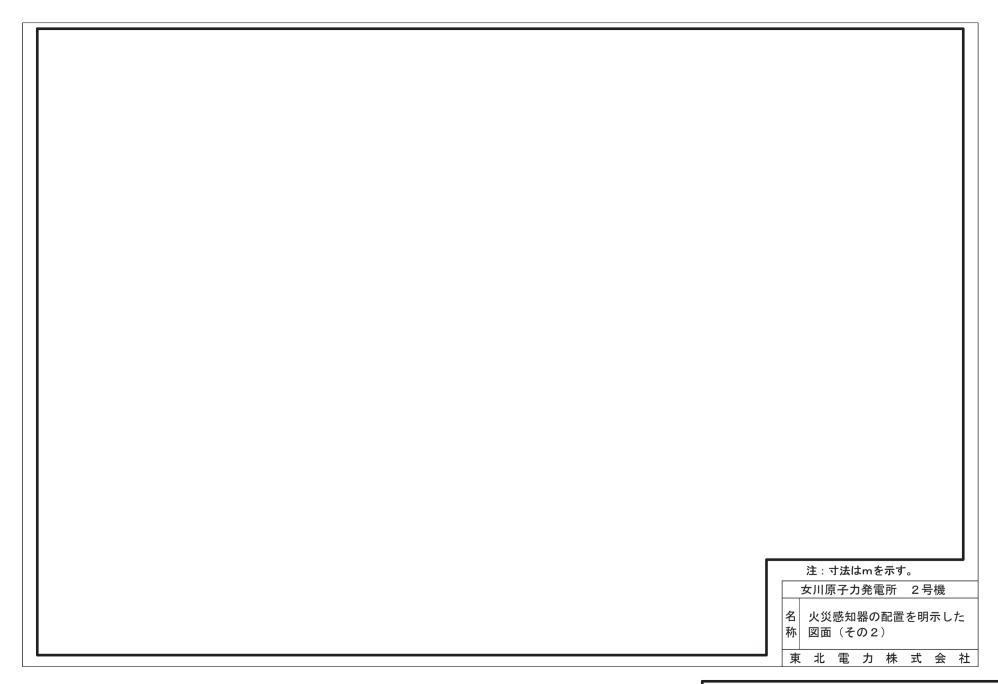
4.2.2 その他エリアの火災感知器を設置した具体例

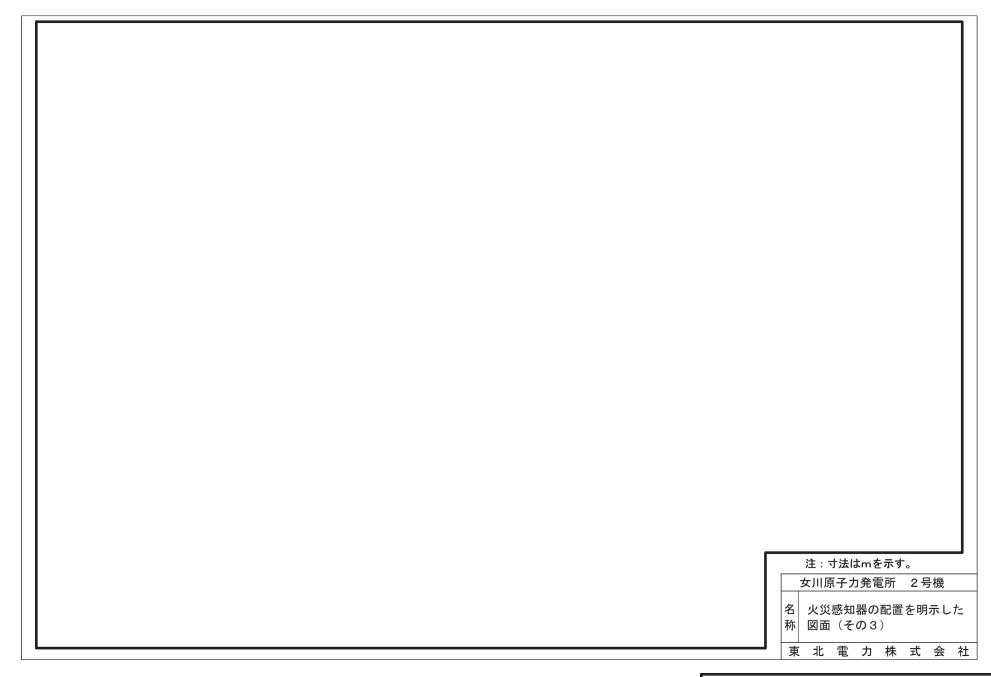
その他エリアとして、屋外に設置する屋外仕様炎感知器と熱感知カメラ、復水貯蔵 タンク/連絡トレンチ/バルブ室に設置する熱感知器と煙感知器について、配置図を 別紙2に示す。

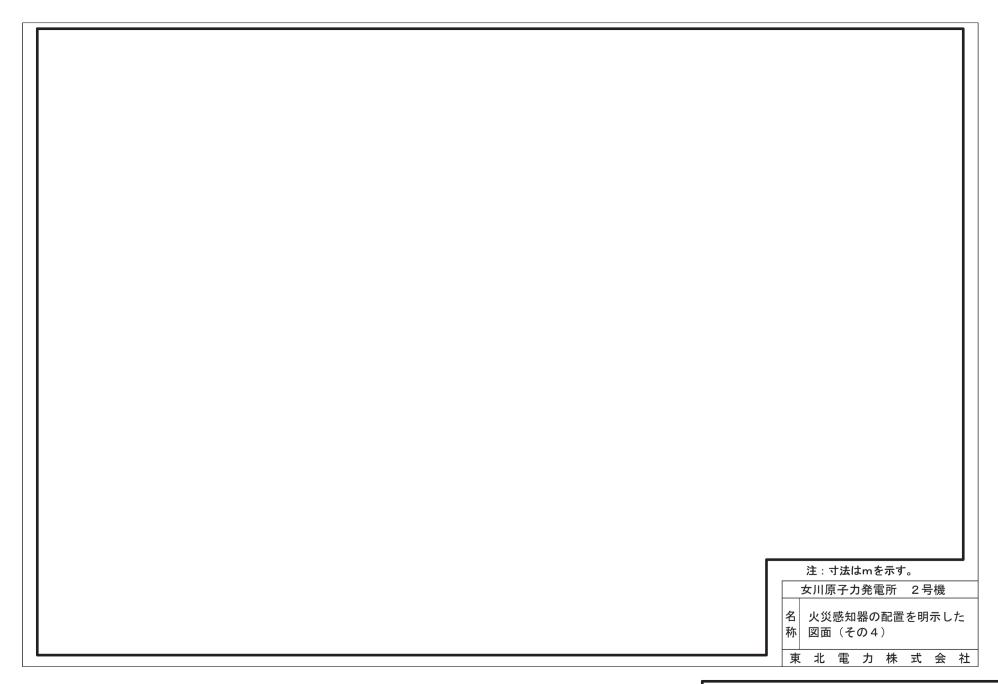
5. 各火災感知器の配置図

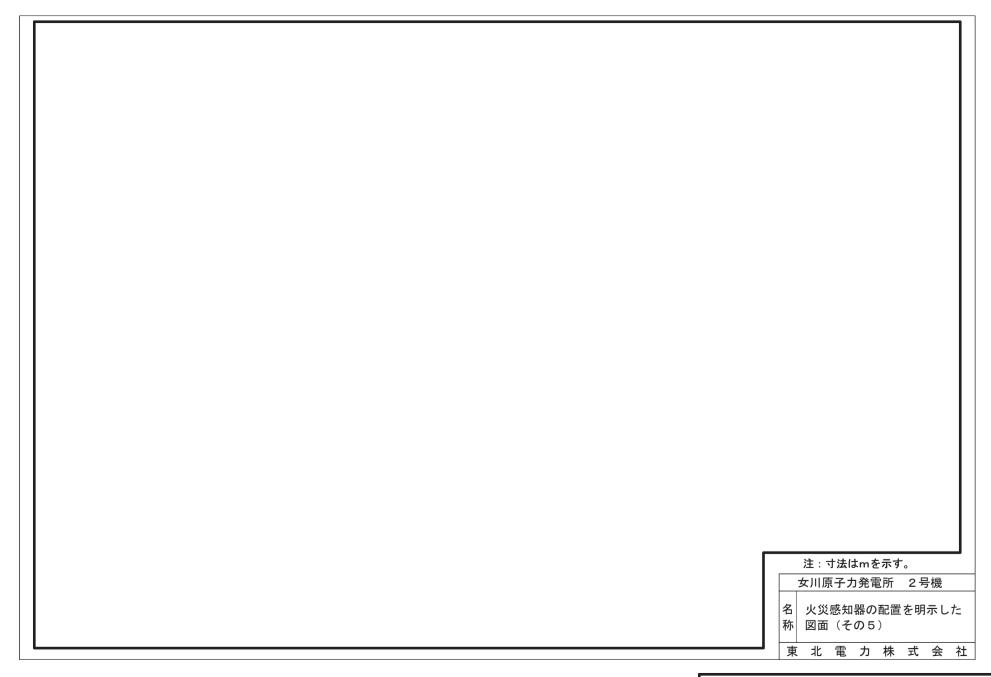
各火災感知器の配置図を以下に示す。

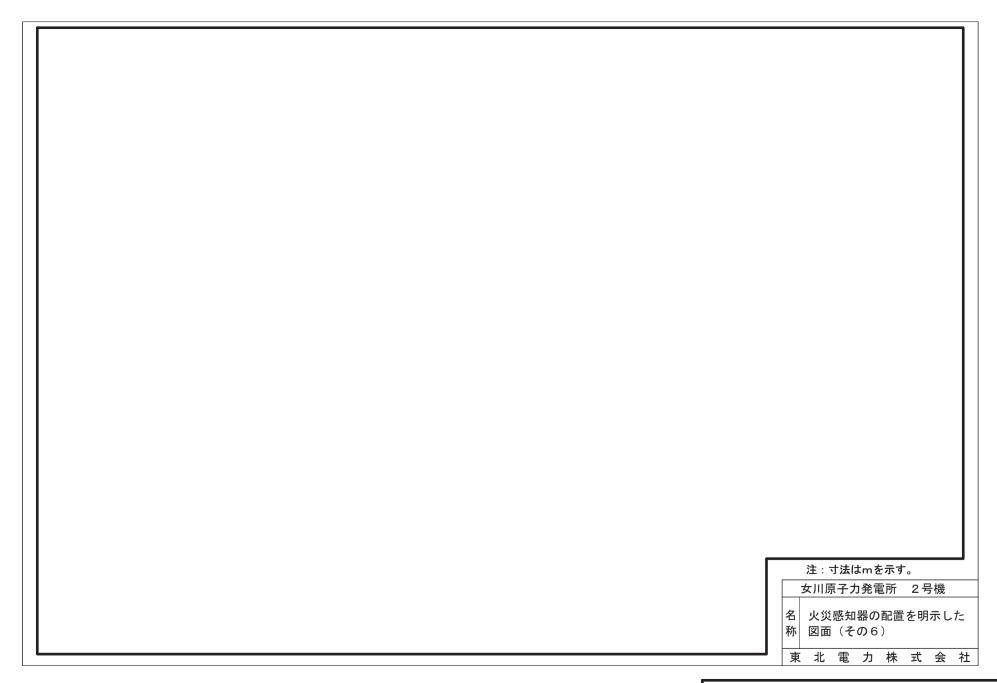


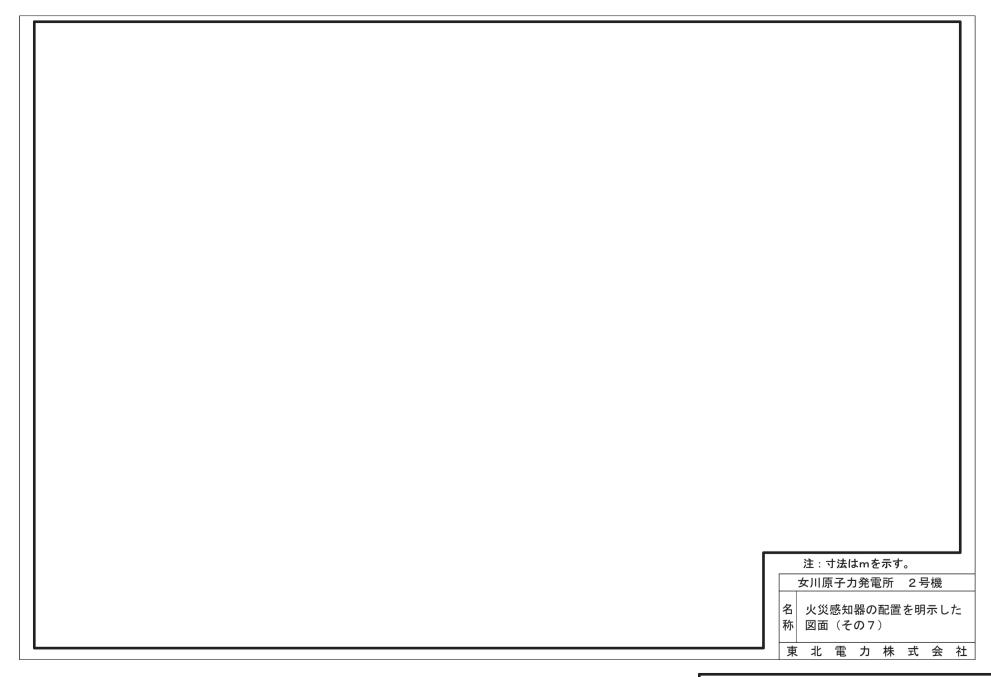


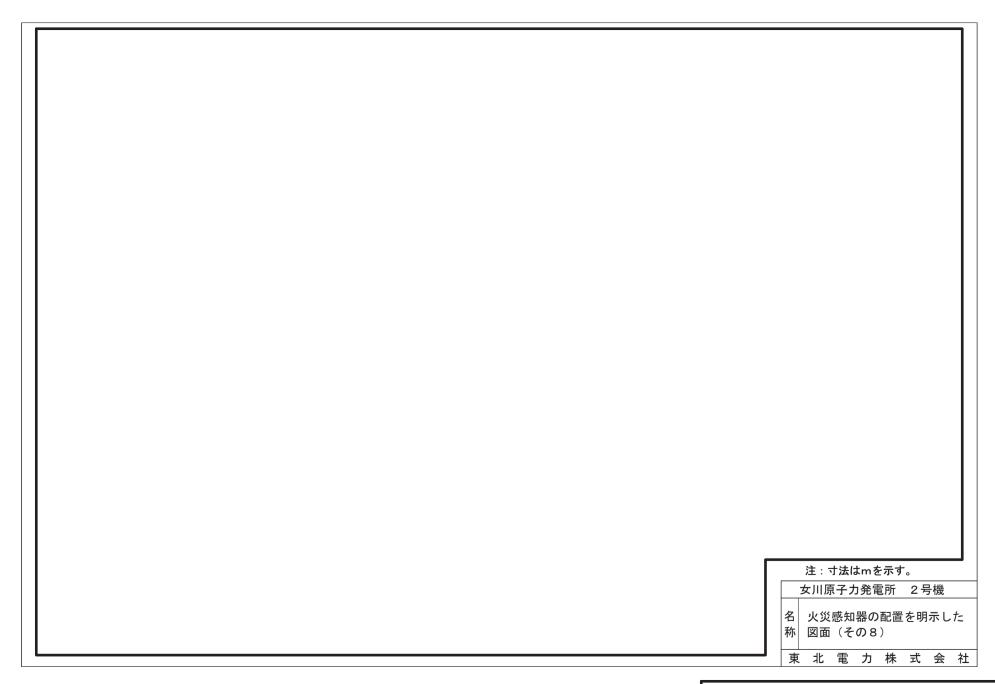


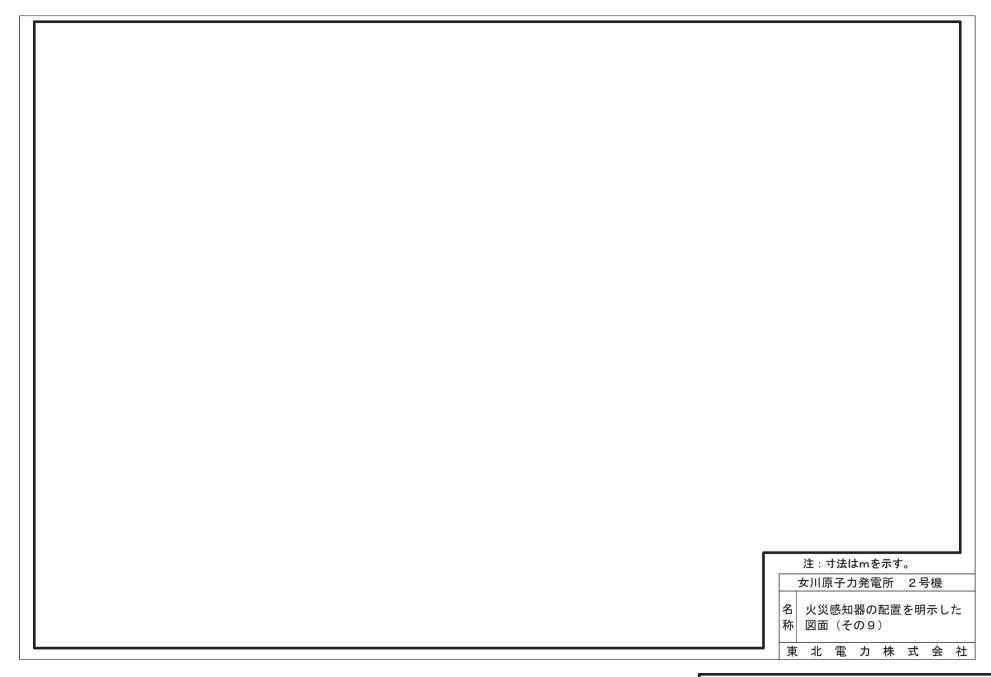


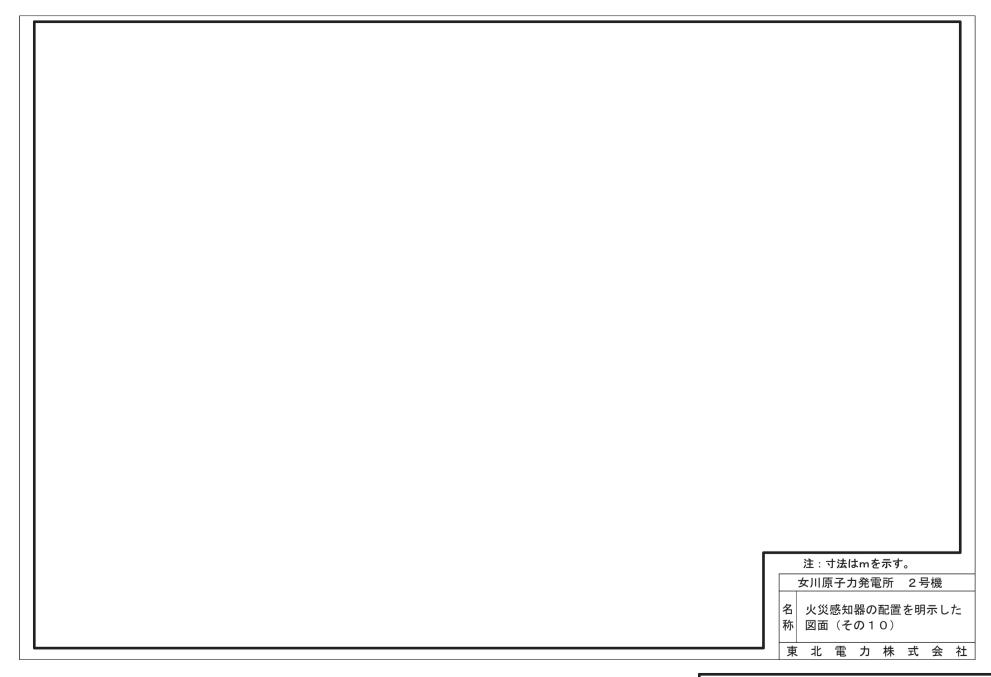


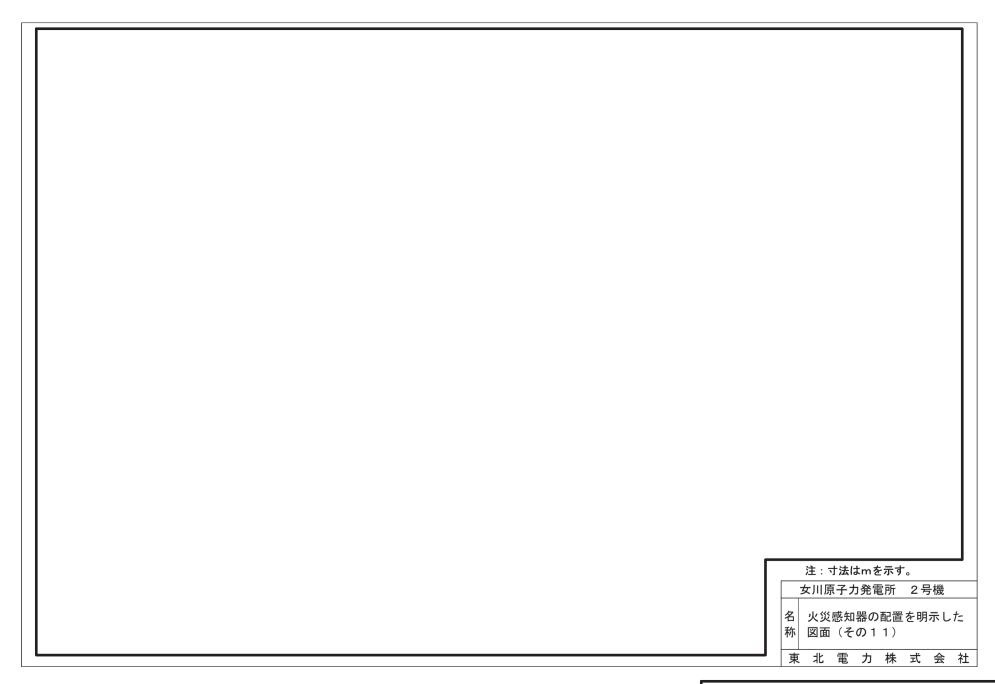


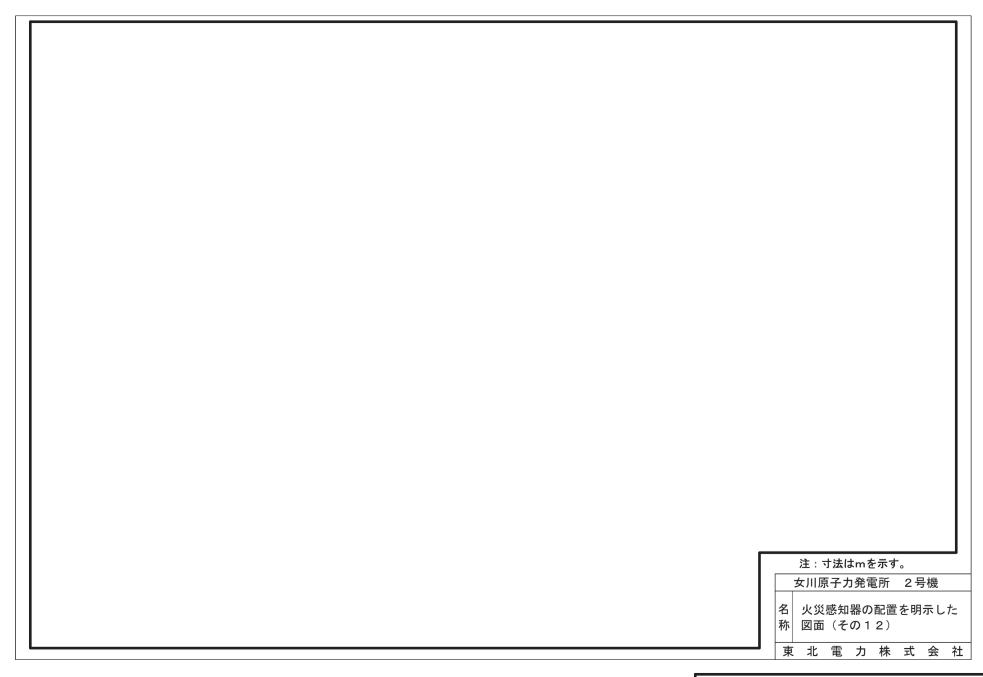


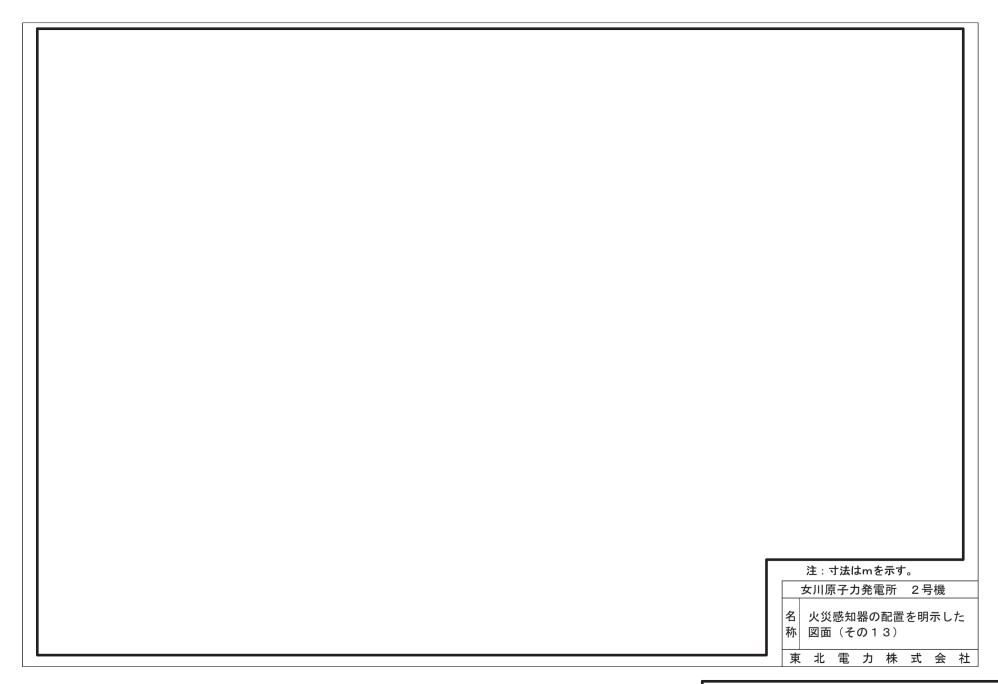


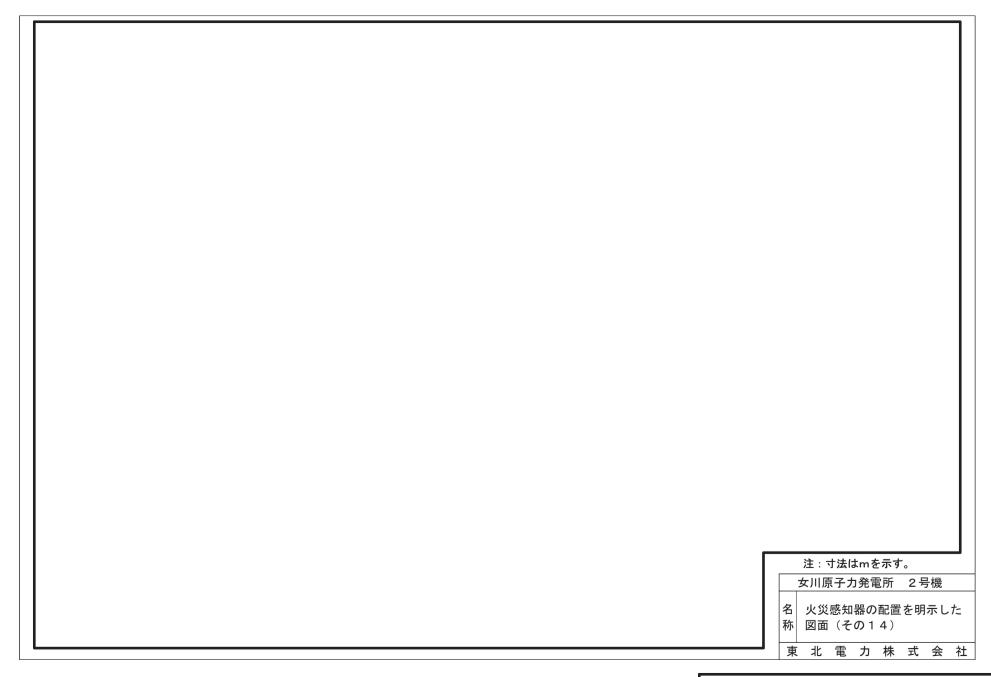


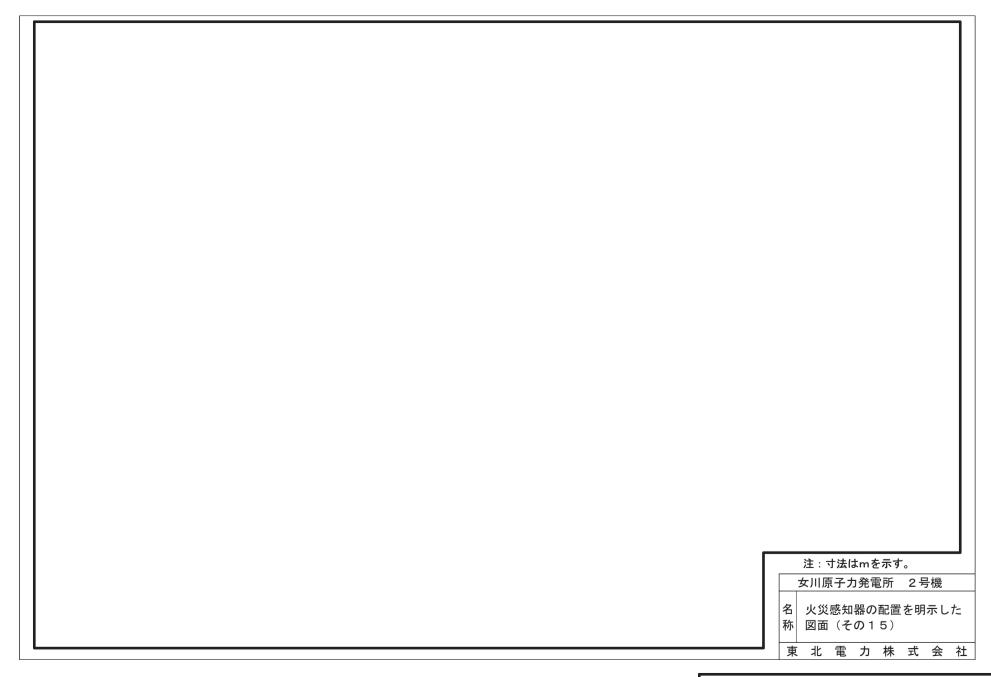


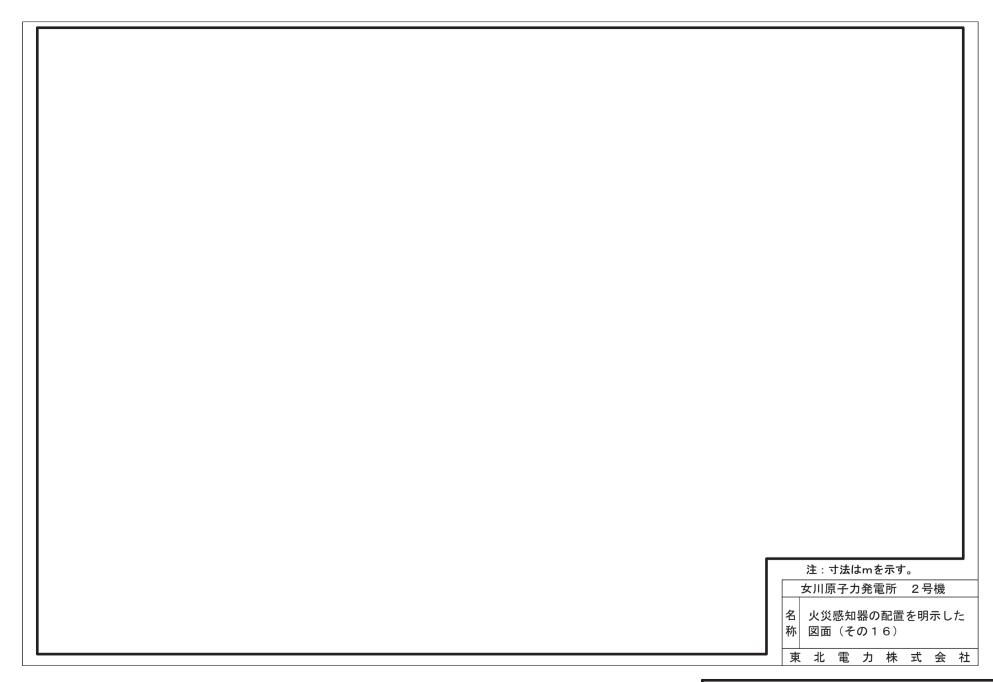


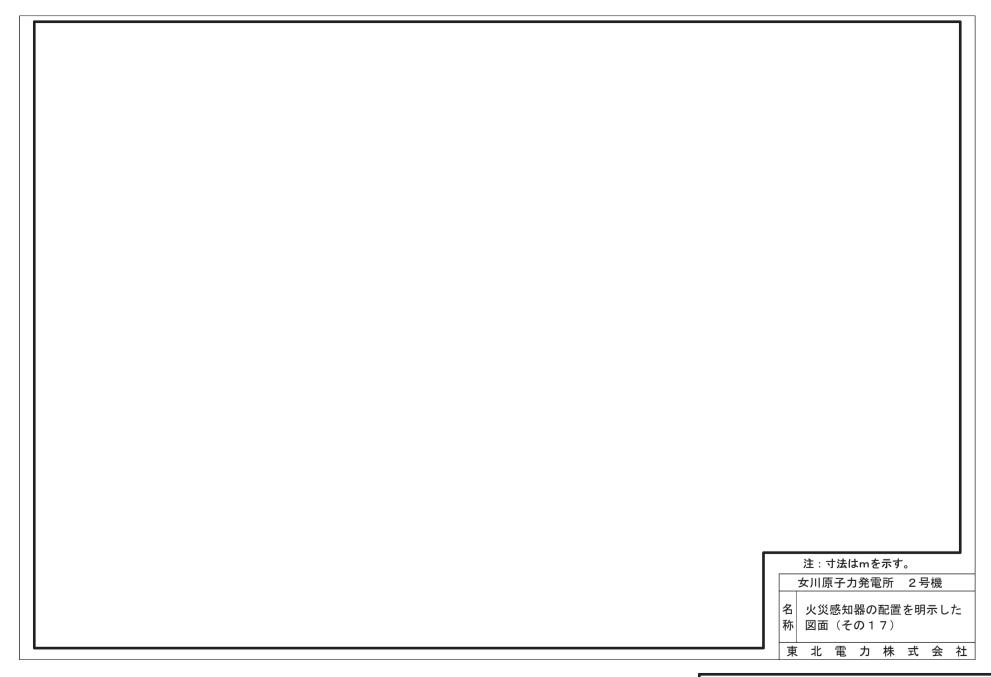


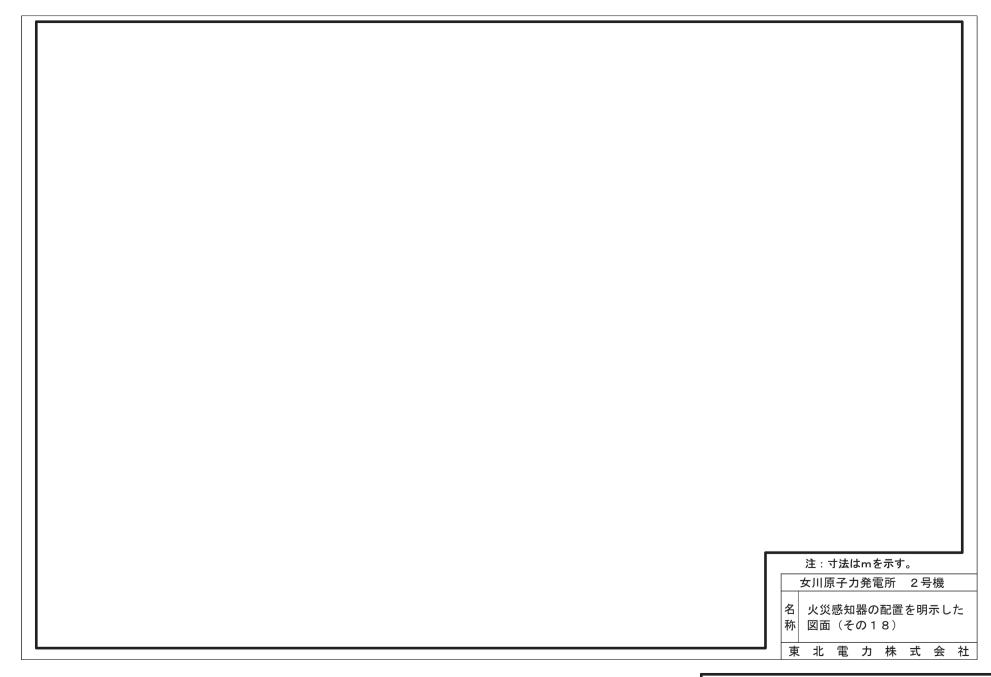


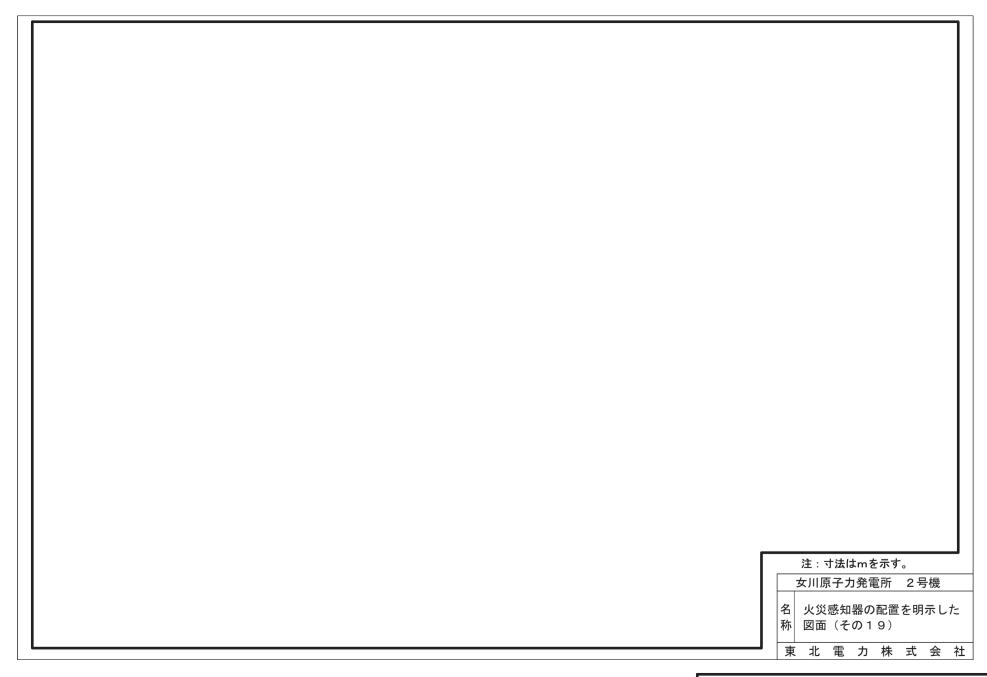


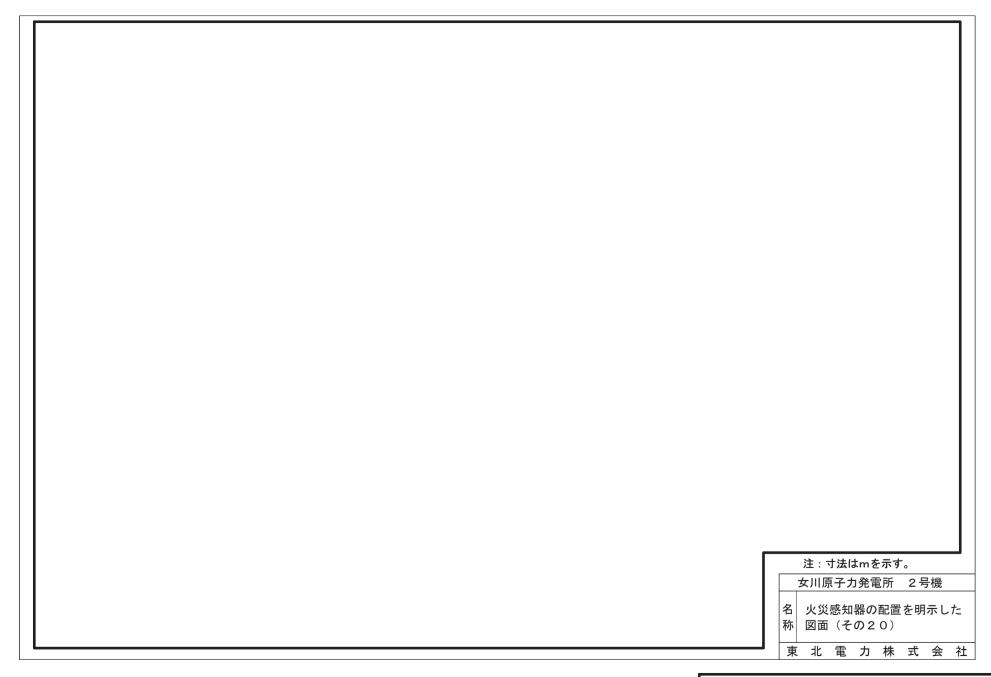


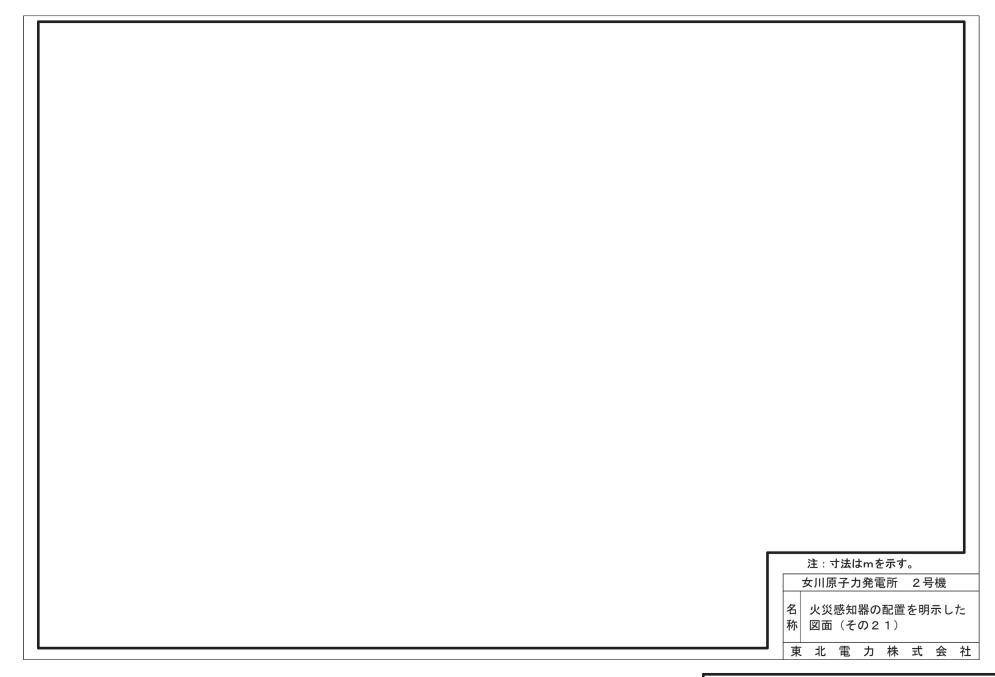


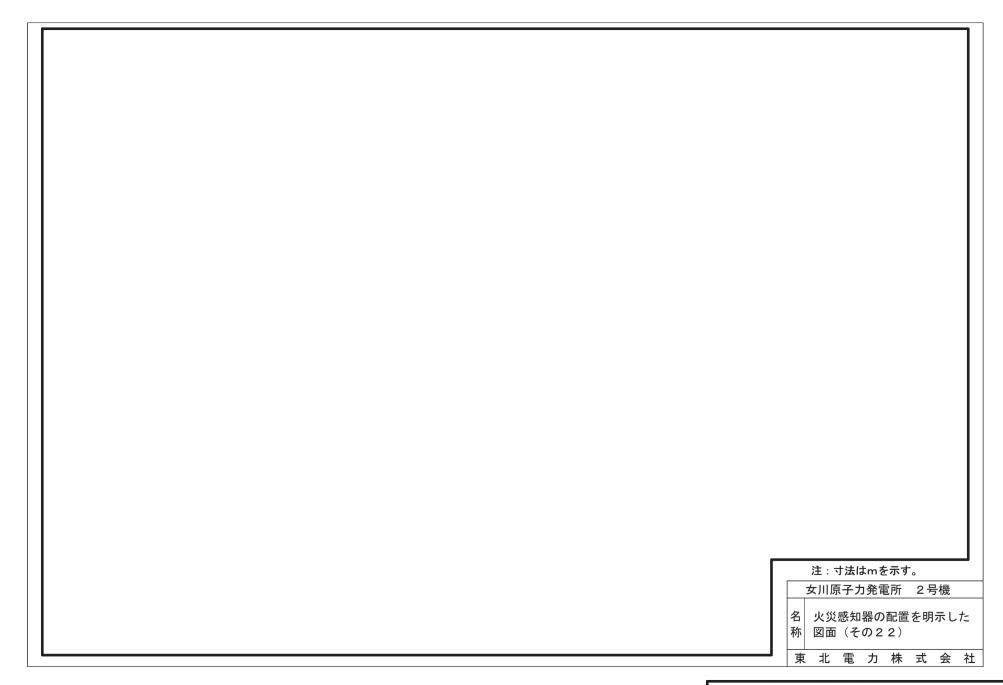


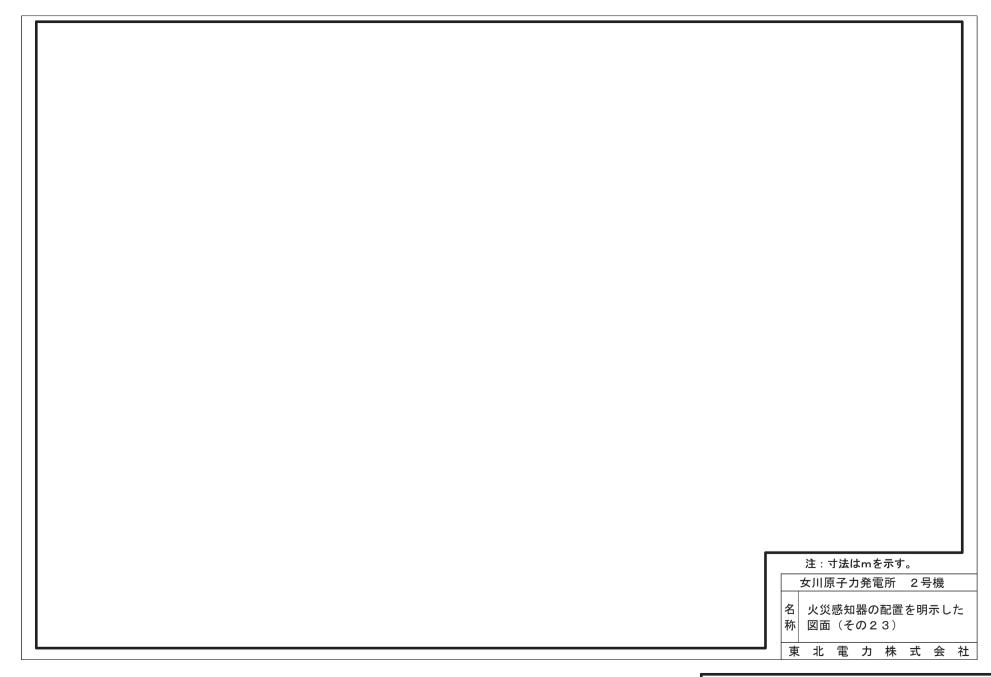


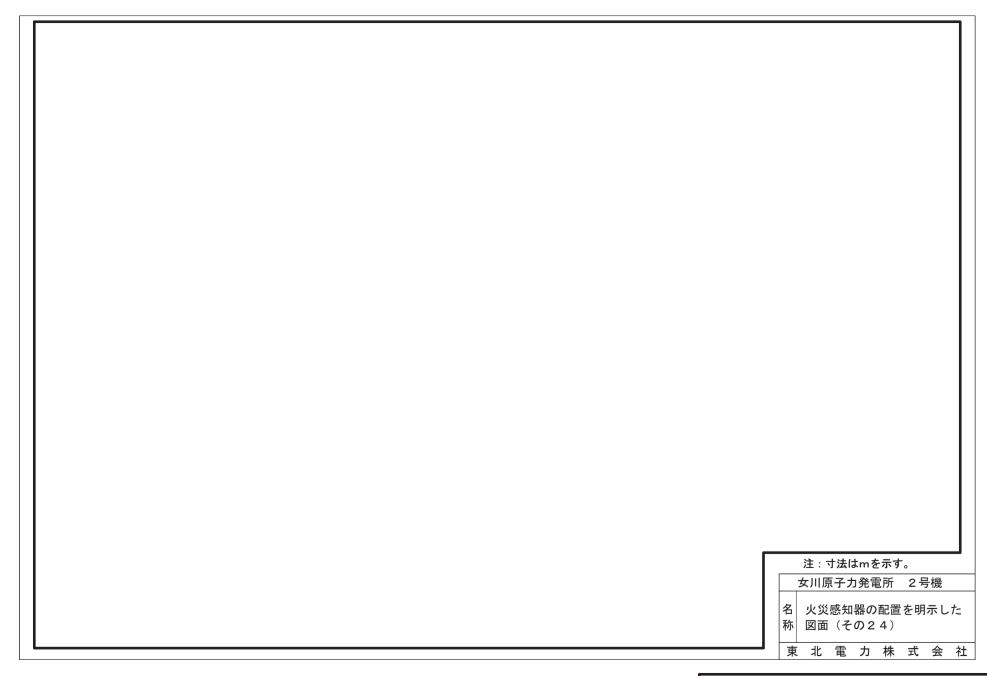


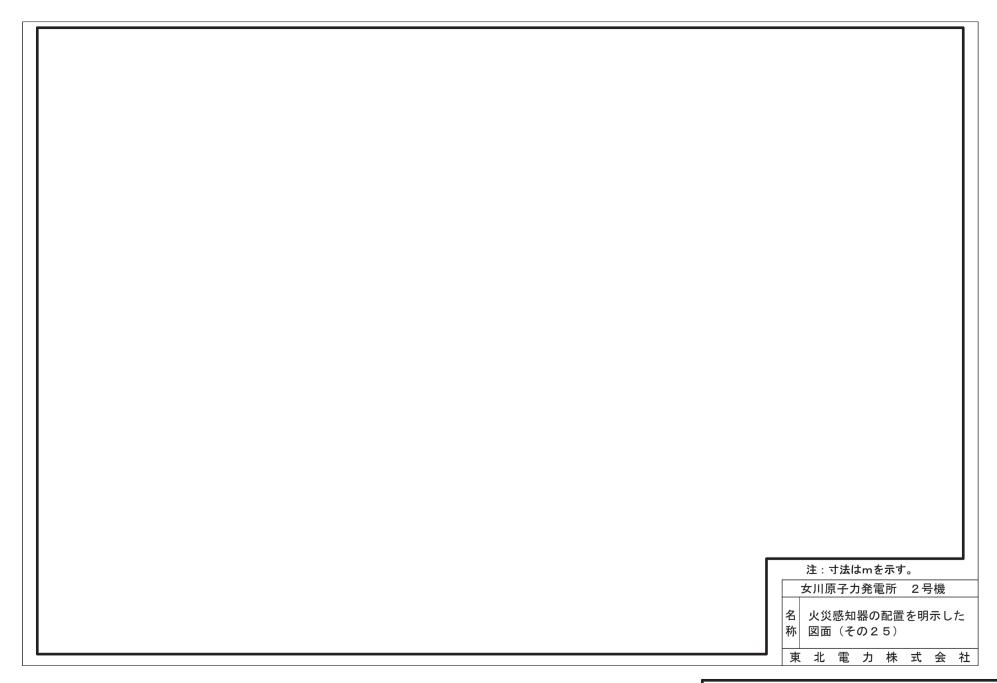


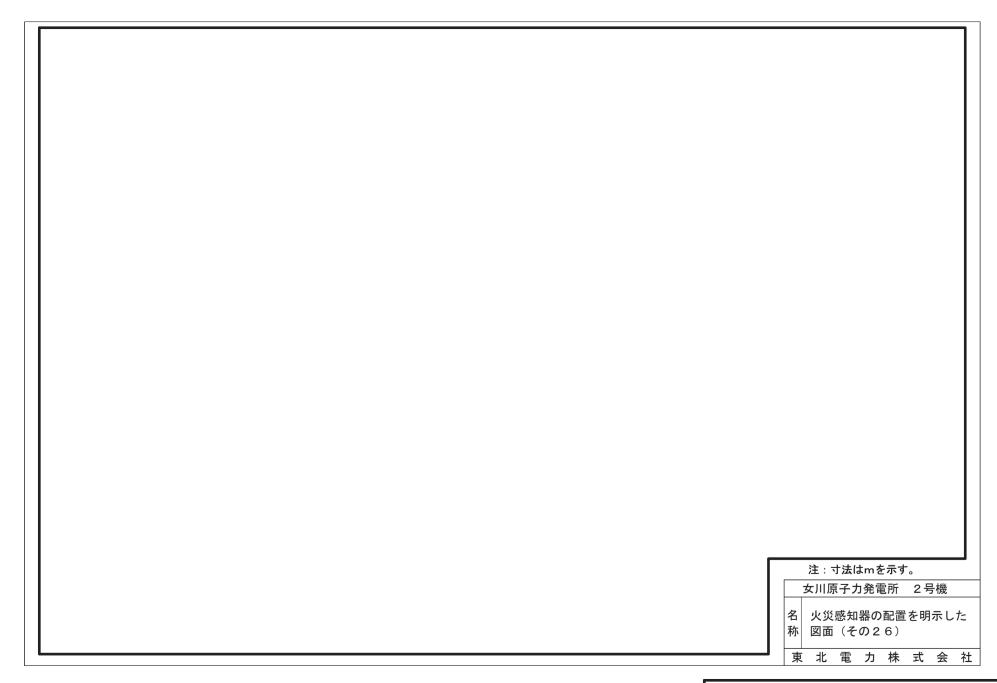


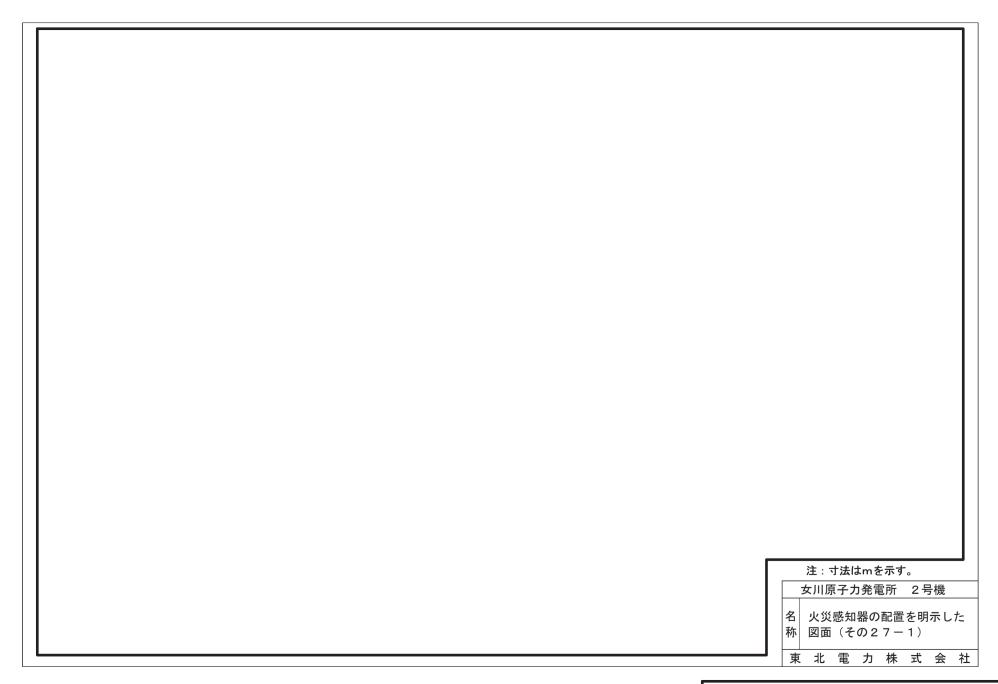


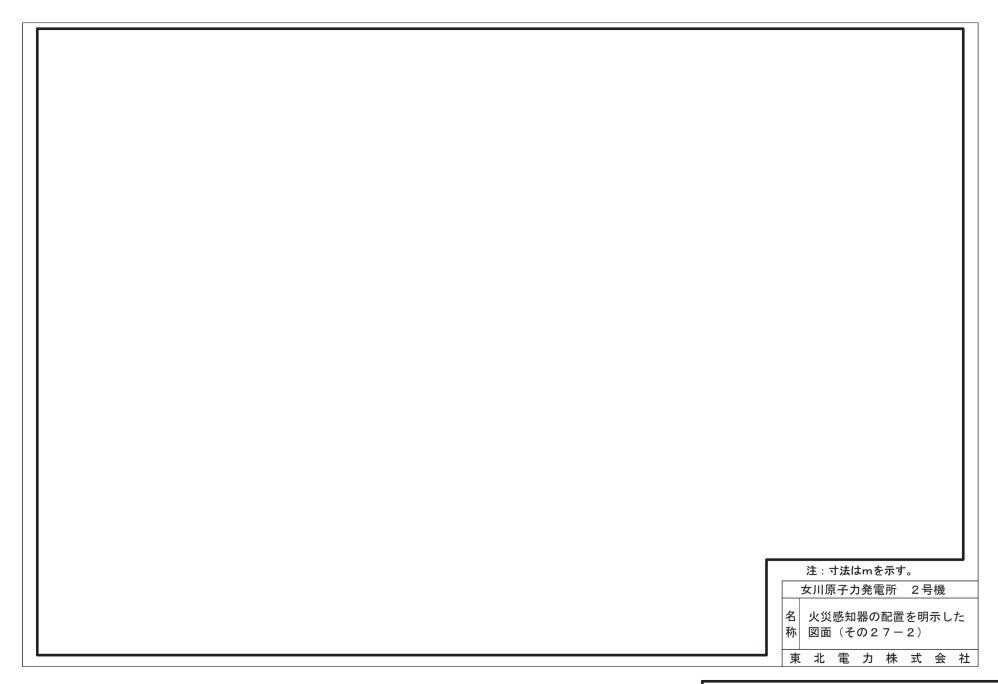


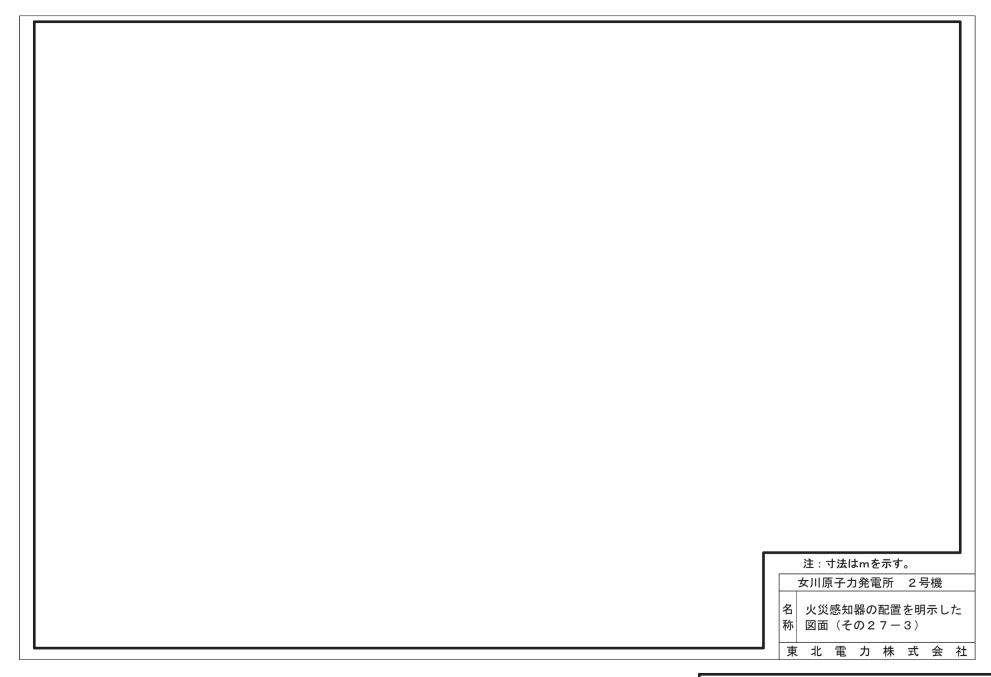


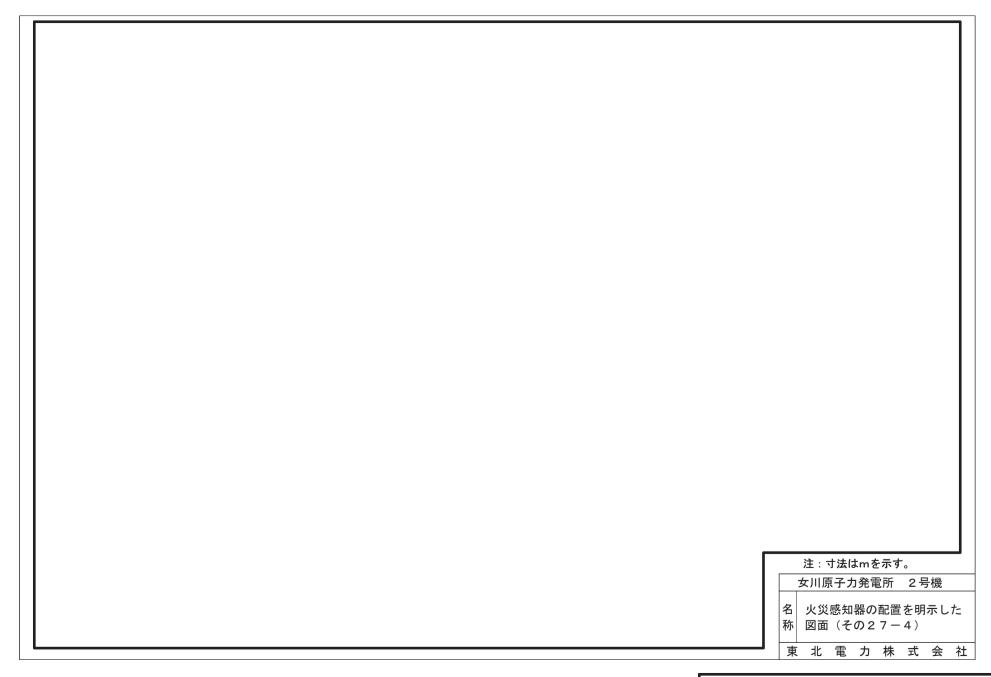


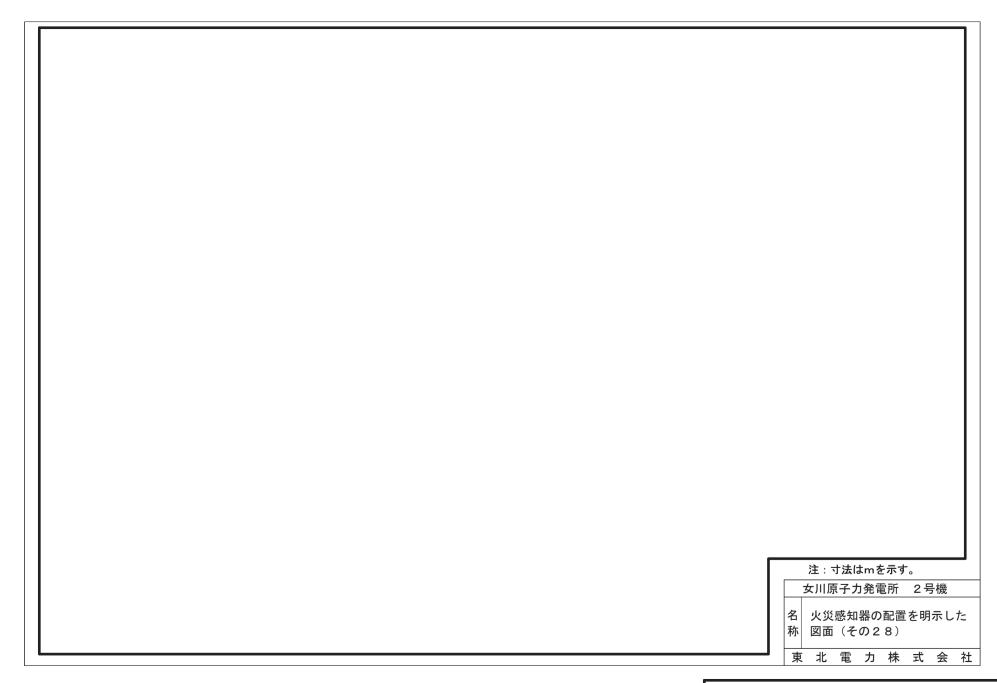


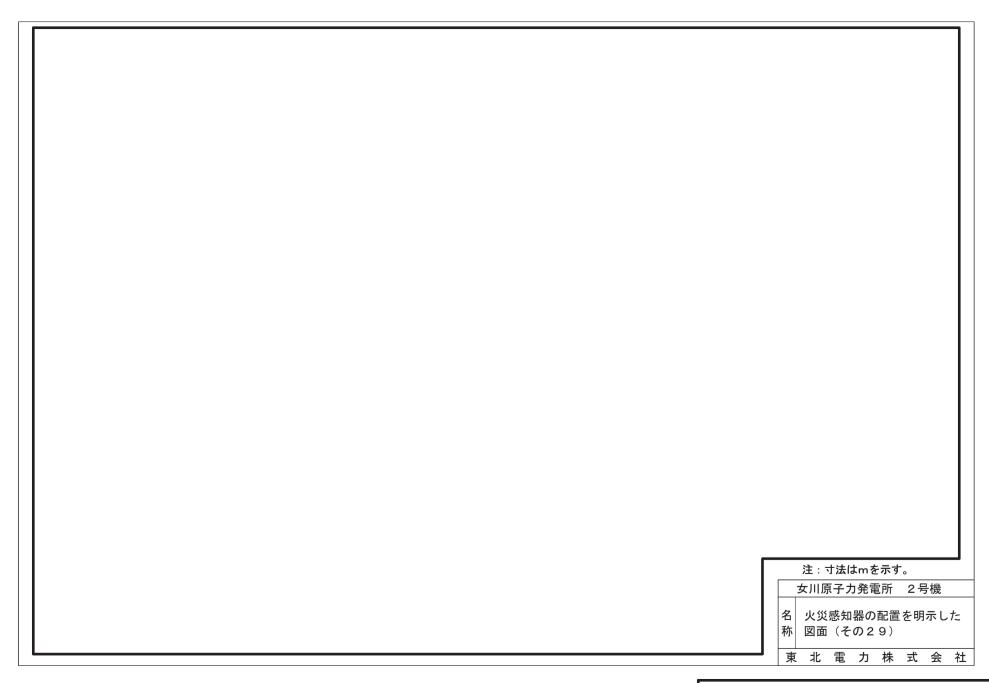


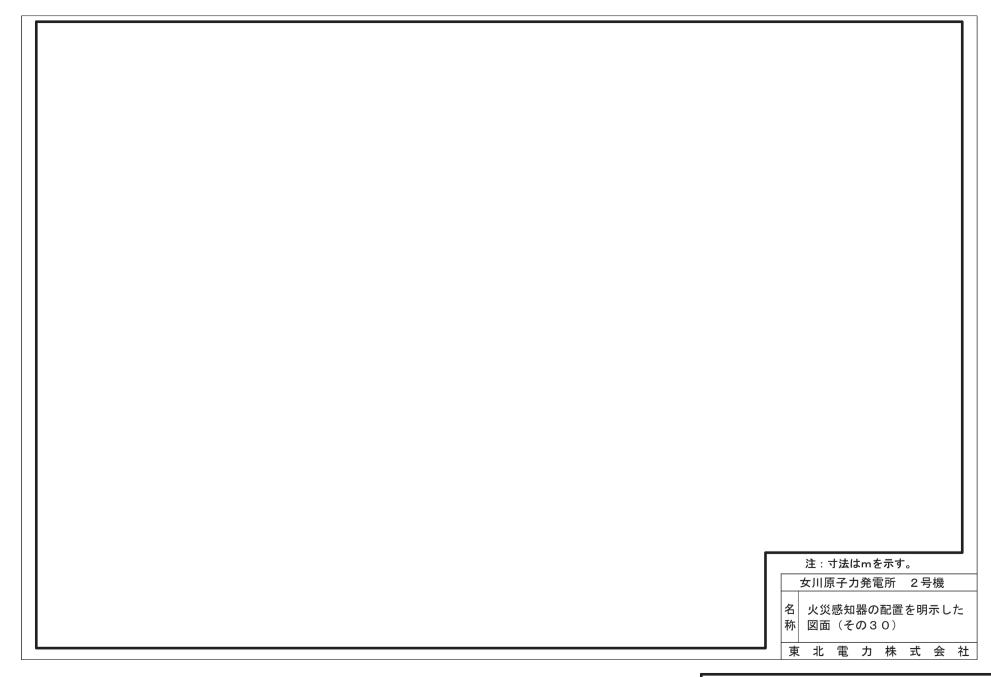


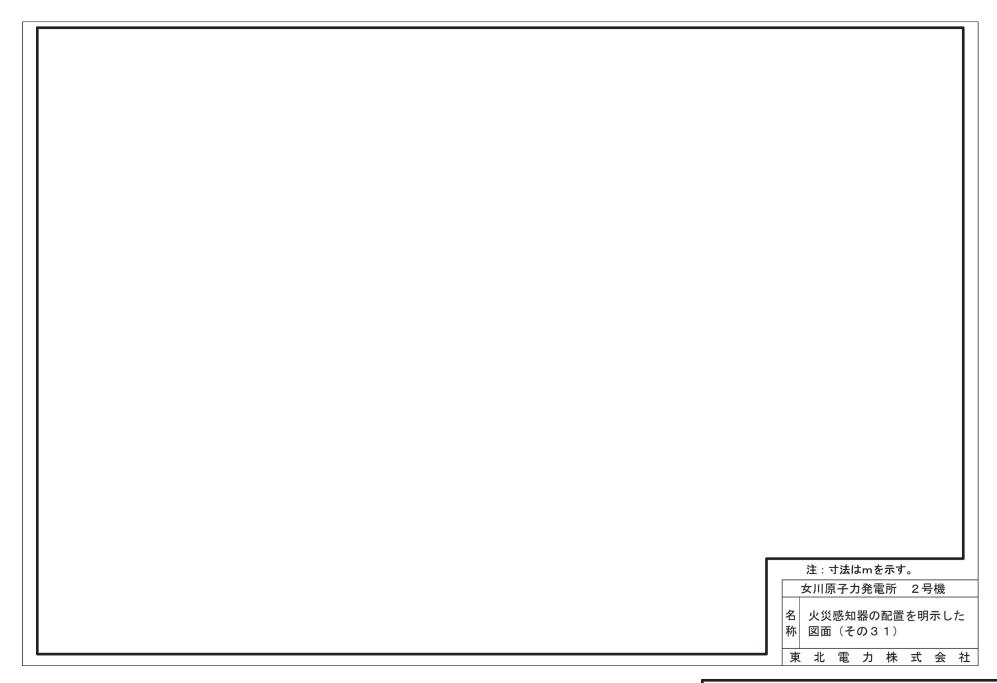


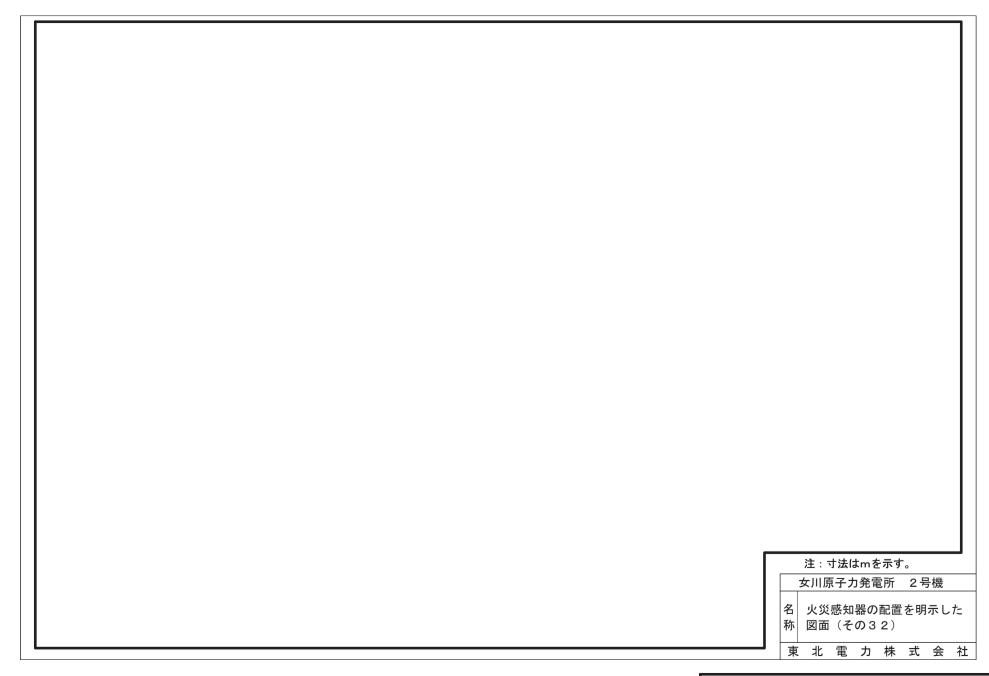


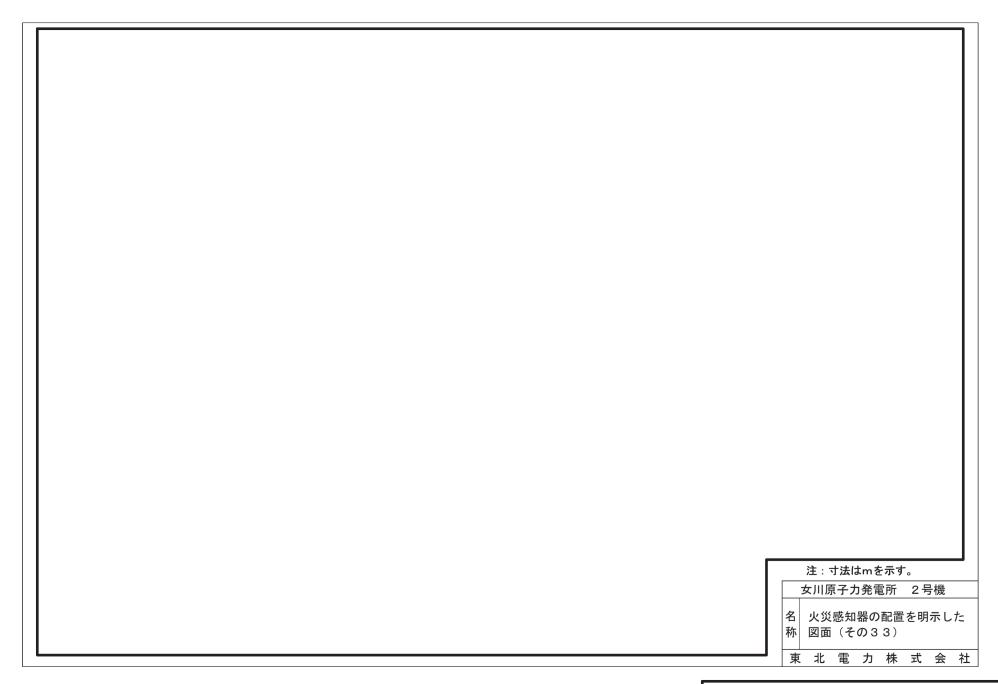


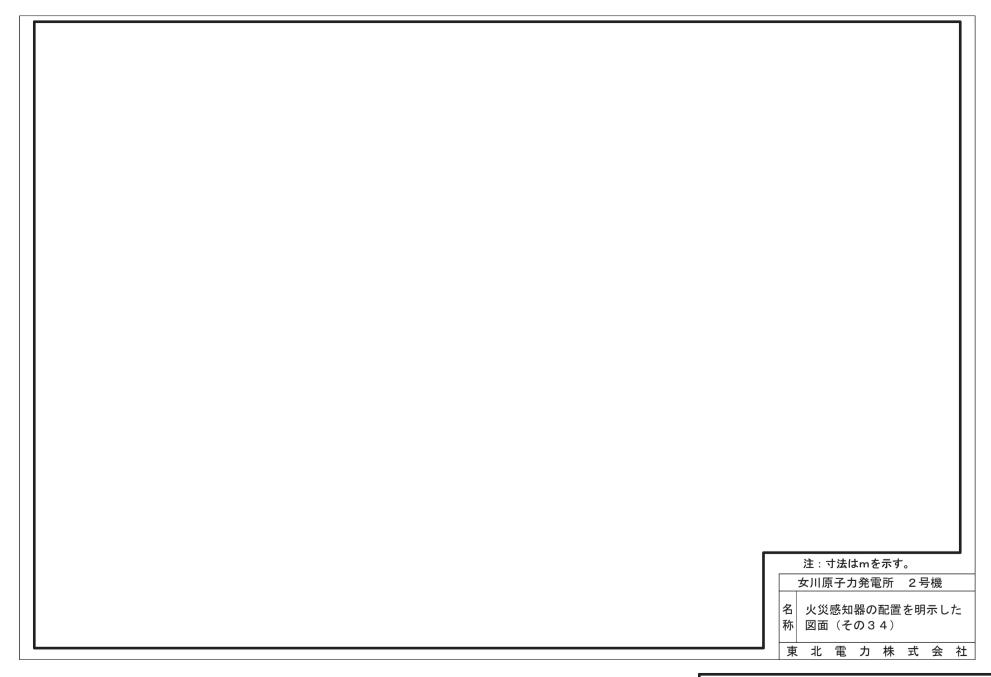






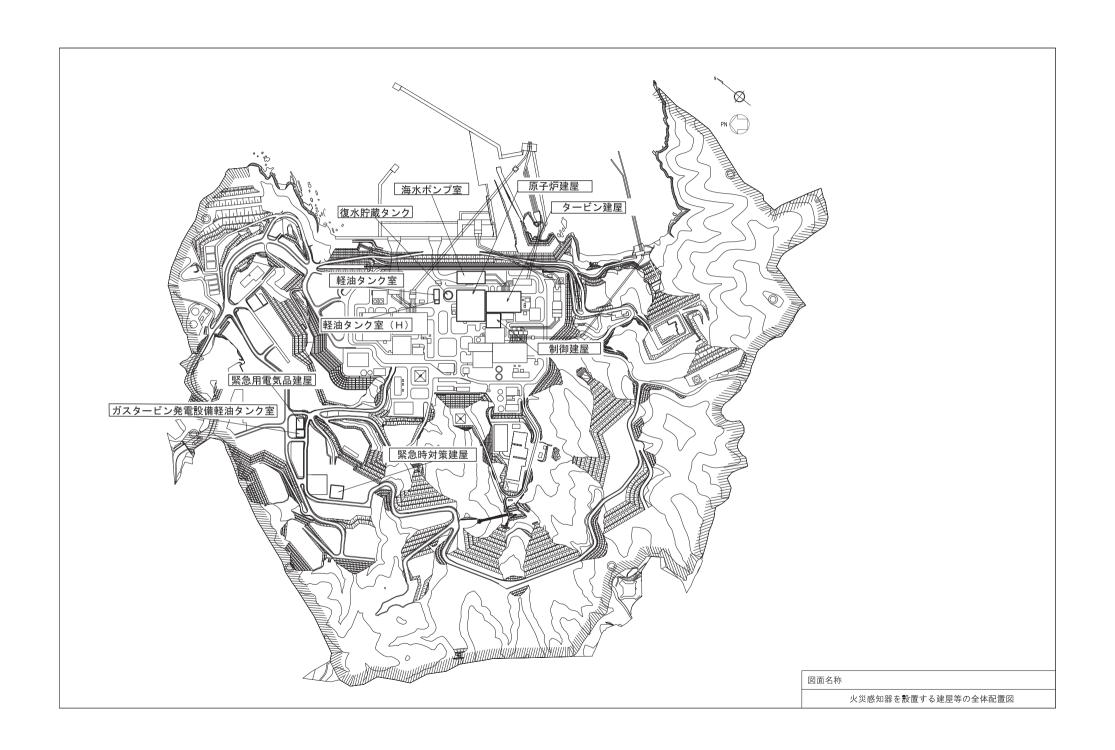






別紙1

消防法施行規則第23条第4項に従い設置された 火災感知器の設置状況について 原子炉建屋、タービン建屋、制御建屋、緊急用電気品建屋、緊急時対策建屋及び地下タンク室に設置する火災感知器について、建屋等毎に火災感知器の配置を示した一覧表と火災感知器の配置図について以下に示す。なお、建屋毎に代表1箇所の断面図を示す。また、各建屋などの配置を全体配置図に示す。



消	防法に	準拠し	た火災	感知器	の配置を	示した-	一覧表(対象:消	防法施	行規則	第23	3条第	4項に認	《当する	火災原	蒸知器)【原	一	屋】													
								煙感	知 器														熱感	知 器							炎感知器	備考
- 1\							消	防法	施行	規則												消防	5 法 前	恒 行 規	則						消防法施行規則	ин ₹
		壁の 第感を収 4 mm キーはな取 4 mm 4	個数を、第4項目 23条以高さ、 23条以高さ、 23条以高さ、 20回り 20回	から0.6m感 下の 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1	以上突出した 知するよう設 は及び傾斜路 るように設け面和 1500m つのないもの 自動火災報勢 上1m未満面積 60m (はり等のる)	ける。 路を除く感失 る責では、はり高さ 知火 横	ロ区域ごとに さ1m以上と き基準書 で連続する場	れた部分ごと、感知器の対する。	:に、感知器 種別及び耶	器の種別及 な付け面の なもの関	高さに応	じて次の 第知区域:	表で定める	5床面積に を含めて1	つき1個以 つの感知	J上の個 I区域と	壁1取44* 日はと 小感 日細短 又似けまり後 本等で 区知 本長び	以上高流 上のさ 高流上と (らO. 4m以 を を 、 満 り ま り ま り ま り ま り ま り ま り こ く り 、 り 、 り 、 き り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	有効感知面が 原面が(35mm)に 35mm(35mm	るよう設ける 特種) 特種) は、はり高さ に以ばが連 と と ながO.4m の設備工事 は で ながO.4m の ながの、4m の ながの、4m の ながの、4m の ながの、4m の ながの、4m の ながの、4m の ながの。4m の ながの。4m の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	って区画され 1m以上と3 基準書 続する場合。 n以上1m未 基準書	た部分ごと する。 隣接する。 満で区画さ	とに、感知器の 感知区域を該当 なれた5㎡以下	種別及で 当部分を の小区 E	含め15㎡以	内であれば	ぱ1つの感失 合は、当該f	口器区域と	見なす	瀬岸準を 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	
	\	\	知区域とす 23条第4項 知器は、廊7	i t へ	画路、階段及にあっては歩	なび傾斜路) 行距離30r) mにつき1個	以上の個数	を、階段及	なび傾斜路(にあって1	は垂直距	離15m/こ	つき1個以	上の個数	を設け	ÆāCI~i	記載のない	· 洞防 法施 f	う規則につ し	、くも牛売し	、C感知器を	設直 りる。								知器となる。	
		上記	に記載のな	い消防法族	厄行規則につい	いても準拠し	して感知器を	上設置する。																								
	災区画		n ¢	1	è	1	ļ	の高さ (0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <75㎡</td><td>総面積 (1+1)</td><td>(1+n)</td><td>消防法設置数</td><td>減数設置適用</td><td>設置数</td><td></td><td>感知 _</td><td></td><td></td><td>ŧ</td><td></td><td>はり等</td><td>の高さ (0.4m<x< td=""><td>小区画 総i 面積 〈3</td><td>自積 (</td><td>面積 総面和 1+1) (1+n)</td><td>消防法設置数</td><td>減数設置適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1)	(1+n)	消防法設置数	減数設置適用	設置数		感知 _			ŧ		はり等	の高さ (0.4m <x< td=""><td>小区画 総i 面積 〈3</td><td>自積 (</td><td>面積 総面和 1+1) (1+n)</td><td>消防法設置数</td><td>減数設置適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>	小区画 総i 面積 〈3	自積 (面積 総面和 1+1) (1+n)	消防法設置数	減数設置適用	設置数	合 計	合計	
階	部屋番	号 -~	(~4m)	(4∼8m		(15~20m)	(0.6m>)	<1m)			+10m	<60m²			<u> </u>			(∼4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	<1m)			-5m ² <15m			L			
	-	1 1	+=	0	0	=	0	0	1453.4 75	1453.4 75	=	=	42 3	=	42 3		1		0	0	=	0	0	1453.4 145 75 7		= + =	106	+=	106 4	106	=	大ばり3区画
		3 ①		0	=	=	=	0	75	75	=	_	3	=	3	3	1	=	Ö	_	=	_	Ö			= =	4	=	4	4	ı	大ぱり3区画
	-	4 ① 5 ①		0	+=	=	=	0	61 61	61 61	+=		3		3	•	①	=	0	_	=	_	0			= =	3	+=	3	3		大ばり3区画 大ばり3区画
		e 1	† –	Ö	-	-	0	ő	107	172	—	_	2	_	2	4	1	-	ő	-		0	Ö	107	72	- -	6	_	6	10	_	中ばり6区画
		0 2		0	_		0	0	65	1/2	_	_	2	_	2	*	2	-	0	_	_	0	0	65			4		4	10	I	中ばり4区画
		7		0	_	=	0	0	65 239	304	_		2		2	7	1	_	0	_	-	0	0	65 239			14		14	18	_	中ぱり4区画 中ぱり14区画
	l 1	8 ①	+=	0	+=	=	_	0	97	97	+=	=	2		2	2	(I)	=	0	=	=	_	0			= =	4	+=	4	4		大ばり2区画
	l 1	9 ①		0	_	_	<u> </u>	Ö	77	77	 		2	_	2	2	(1)	-	Ö	_	_	_	0			_ _		-	4	4	_	大ばり2区画
	l f	1	T -	Ö	_	_	 	Ö	38		-	_	1	_	1		1	-	Ö	_	_	_	0	38			2	_	2		_	
		10 ②	_	0	_	_	_	0	93	172	_	_	2	-	2	5	2	_	0	_	_	_	0				4	_	4	8	-	
	-	3		0			<u> </u>	0	41	10	+-	_	2		2		3	_	0	_		_	0	41			2	 -	2		_	大ばり2区画
	-	11 ①	+=	0	=	=	=	0	19 54	19	-	=	1	=	1		① ①	=	0	=			0	64	-	= + =	2	-	2	1		l
		14 ②	+=	0	+=		+=-	0	59	113	$\vdash \equiv$		2		2	3	2		0		=	=	0	59 1		= =	2	+=	2	4		大ばり2区画
	l 1	1	_	_	_	0	_	- i	6.2		† –	_	_	_	_		(1)	-		_	0	_		6.2				_			1	煙感知器はR-2-3①と兼用
		15 ②	0	_	_	_	_	0	307.8	366.4	_	_	14	_	14	15	2	0	_	_	_	_	0	307.8 36			10	_	10	10		
		3			0		0	_	52.4			_	1	_	1		3	_	_	0	_	0	_	52.4					<u> </u>		2	
	-	16 ①							25.6	25.6 13.7	+-	_	1		1	1	1	0	_	_		_			5.6 3.7		1		1	1		
	l 1	19 ①	0	+=			+=		27	27	+=	=	1		1	1	1	0								= =	1	+=	+	1		
1	F	20 ①	0	_	_	_	_		27	27	+=	=	1	_	1		1	0		_		_	_				1	 -	1	1		
1	[21 ①	Ö	_	_	_		_	19	19	_	_	1	_	1	1	Ű	Ö	_	_	_		_				1		1	1	_	
B3F	R-1-	22 ①	0	<u> </u>	_ = _	<u> </u>	L = _		30	30	1 =		2	_=	2	2	1	0	_		_				80	_ =	2	↓ = 1	2	2	_	
	-	23 ①	0	-	=	=	=		24	24 24	=	=	1	Н	1		1	0		_		_				= =	1	=	1	1		t
	-	25 ①	0	-	-	=	=	=	11.3	11.3	+=	=	1	=	1	1	1	0		=	=	=	=		_	= =	1	+ =	1	1		[
	I L	26 ①	Ö					_	42	42	_	_	1	_	1	1	1	Ö	_	_	_	_	_	42 4	12		1	_	1	1		
		27 ①	0	_	_	_		_	20	20	_		1		1		1	0	_	_	-		_				1		1	1	_	
	-	28 ①	0	+=	+=	=	=	=	20	20	+=	=	1	=	1	1	① ①	0	=	=	=		=			= + =	1 1	+=	1 1	1 1	==	
	H	29 (I)	0	+=	+ =	=	+=	$\vdash \equiv \vdash$	28		+ =	=	1	-	1	-	1	0						00	-	= =	+ +	+=	+ +	_		
		31 2		-	0	=	0		16	44	=		1	=	1	2	2	_		0	=	0	=	16		= =	+ -	 	† -	1	2	
	[32 ①	0	_	_				28	28	_	-	1	_	1	1	1	0	_	_		_	_				1		1	1		
		33 ①	0	_	_	=		_	28	28	_	_	1	_	1	1	1	0	_	_			-				1		1	1	_	
	-	34 ①	0		+=	=	=	_	26 15	26 15	=	=	1	П	1	1	1	0		_		_				= =	1	-	1 1	1		
1		35 U		+=	+=	=	-	=	18.4	18.4	+=	=	1	=	1		1	0		=	=					= =	1	+=	+	1		
		38 ①	ő	-	-	-	-	-	47	47	-	_	1	_	1		1	Ö	_	_	-	_	_				1	† –	1	1	_	
	l f	1	_	0	_	_	_	0	48		_	_	1	_	- 1		1	_	0	_	_	_	0	48			3	_	3		_	
		39 2	+ -	0	+-	-	0	_	97	459	_	_	2	_	2	11	2	-	00	_	_	0	_	97 4		- -	4		4	25	_	中ばり14区画
1		3	+=	0	+=	-	 -	0	249 65	+	-	=	6		6		3 4	=	0	=			00	249 T		= + =	14	$\vdash =$	14		==	中はり14区画 中ばり4区画
1	F	40 (1)	+=	0	+=	+=-	+=-	0	71	71	+=	=	2		2	2	1)	=	0	_	=	=	0			= =	3	+=	3	3	= =	大ばり2区画
1		41 ①	—	0	_	_	-	-	50	50		_	1	_	1		1	_	Ö	_	_	_	_				2		2	2	ı	
1	[42 ①	_	0	_	_		_	22.1	22.1	_		1	_	- 1	- 1	1	_	0	_		_	_	22.1 2			- 1	_	- 1	1	_	
1	-	43 ①	+=	0	+=	+=	+=-	=	22	22	+=	=	1		1	1	1	=	0	=	=	_	=	O.E.			1 -	+=	1	1		煙感知器、熱感知器はR-1-44②と兼用
1		44 ①	-	0	+=	+=-	+ = -	$-\equiv$	25	50	H=	=	1		1	1	1	_	0			= +		25	50	= + =	-	+=	- 2	2		AERICANTE、TCHTANTETICT「1744人C本川
		- 50					•				•						av I															

111	91121	- 	ノルノヘグ	くだけていた。	/>HLIEI-G	を示した・	見八(対象:消	別伍旭	11 7元只	1 5H20)*\m'	世界(一郎	×== 9 %))\\	가니	油ル	K J M X	生工														
Λ								煙感	知 器	ļ													熱感	知 器								炎感知器	備考
1\							消	防法	施行	規則						_						消	坊 法 が	恒行 規	則	-						消防法施行規則	IH →5
		・壁の 第感を取 4 n n を 第 見 見 取 4 n n を 第 余 の 令 第 を 取 4 n n を 第 余 の 令 第 6 n n n n n n n n n n n n n n n n n n	個 523知、付 n n k 複 か 条	加ら0.6ml 災に有効に 頂下、通際知する の加未満さ の加未満さ の加まさ の加まさ の加まさ のが0.6m以 しは のが0.6m以 しまる。	知 対 対 な 及 及 な し に に に の の の の の の の の の の の の の	投付る。 解答を除く感 解析 に は 以 無 以 の の の の の の の の の の の の の の の の の	なって区画されて区画されて区画されて区画されて区画されています。 知区域ごとに さ 1 m以上と 本基準書 が連続する 境 が連続する 境 に いいしょう に いいしょう はいいい しょう はいしょう はいまり はいまりま はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいこと はいしょう はいしょう はいままりまする はいままりまする はいまりまりまする はいしょう はいまりまする はいまりまする はいまり はいまりまする はいまり はいまりまする はいまりまする はいまりまする はいまり はいまりまする はいまりまする はいまりまりまする はいまりまりまする はいまりまする はいまりままりまする はいまり はいまりまする はいまりままりまする はいまりままりままりまする はいまりままりまする はいまりままりままりままりまする はいまりままりままりままりままりまする はいまりままりままりままりままりままりままりままりままりままりままりままりままりま	れた部分ごと こ、懸知器の する。 する。 会、取付面が 未満で区面さ	をに、感知を 種別及び耳 高さに応じ	器の種別及 な付け面の た範囲の降	高さに応 韓接する恩 区画が1つ	じて次の §知区域。)隣接して	表で定める	5床面積に かを含めて は、当該音	つき1個以 つの感知 ³ 分を含め	↓上の値 □区域と で1つ	壁100 mm を 1 mm	以上の個数 ・未以り数とのは、 ・大学でで、 ・本学でで、 ・本学でで、 ・本学でで、 ・本学でで、 ・本学でで、 ・本学でで、 ・本学でで、 ・本学でで、 ・本学で ・本学、 ・本学で ・本学、 ・本学で ・本学で ・本学で ・本学で ・本学で ・本学で ・本学で ・本学で ・本学	から0.4m以 対を、火災に 未満 末はり高さに 最高さに 最高さに 最近の1.4以 場合き 提の2.4以 より場合き 提の6.4 最高と 最近の1.4 よりは 最近の1.4 よりは 最近の1.4 よりは 最近の1.4 よりは まりは まりは まりは まりは まりは まりは まります。 まりは まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まります。 まりまず。 まりまする。 まりまず。 まりまず。 まりまず。 まります。 まりまず。 まります。 まりまず。 まりまず。 まりまず。 まりまな。 まりまず。 まりまな。	以上突出した大力の成功を知った。	るよう設ける 特種) 特種) ま、はり高さ コ設備工事 炎区域が連 にながO.4m コ設備工事 コ 設備工事 コ 式 スポット 型	って区画され 1 m以上と 基準書 続する場合 n以上1 m オ 基準書	れた部分ごと する。 、隣接する影 き満で区画さ	とに、感知器 感知区域を記 なれた5㎡以	の種別	↑を含め1: 区画が1つ	ō㎡以内で 隣接してい	あれば11	⊃の感知	器区域と	:見なす	州防法地で規則 開防法地で規則 により により により により には、 は、 は、 は、 は、 には、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	
火	ΣŒi		に記載のな	ない消防法施 高		ついても準拠	1	を設置する。 手の高さ	小反面	松丽锦	総面積	総面積	海野生生	油料奶煲			sit do		高	ŧ		はり等	の高さ	小豆面	公面待	総面積	念面積 ;;	Pt:± is	*************************************				
階	部屋	番号 感知	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m	n) (15~20m	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	(1+1) +10m²	(1+n) <60m²	消防法 設置数	減数設置適用	設置数	숨 위	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	小区画 # 面積	総面積 <35㎡	(1+1)	(1+n) /	防法 置数	数設置 適用	設置数	合 計	合計	
B3F		45 ①	_	_	0	_	0	_	23	23	_		1	_	1	1	1	_	_	0	_	0	_		23	_	_	- 1	_	_	_	4	
501		46 ①	0		=		=	_	9.2	9.2	+=	=	4	_	1 4	1 4	1	0	=	_			_	9.2	9.2		=+	7		7	7	- = -	-
		48 ①		=	_	_	=	_	16	16	ΙĒ		4	=	4	4		=	=	=	_	=	_	16	16	= 1		7		7	7	=	
		49 ①	_	_	_	_		_	11.7	11.7	_	_	5	_	5 4	5 4	1	_	_	_	_		_		11.7	=		7	_	7	7		
階段		52 ①	+=			+=	+=		11.2	12	+=	=	4 3	$\vdash \equiv$	3	3	1	$\vdash \equiv $	=		=	=	=	12 11.2	11.2	= 1	=+	5	-	- 8 - 5	- 8 - 5	 	
1212		53 ①	_	_	_	0	<u> </u>	_	11.2	11.2			2	_	2	2		_	_	_	0	_	_	11.2	11.2	_		3	_	3	3	_	
		54 ①	_	_	_		_	_	11.5	11.5	_	_	6	_	6	6	1		_	_	_		_		11.5	_	_	9	_	9	9		
	R-1-	61 ①		+=	+=		+ =	=	4.7	4.7	+=		4	-	4	4		-	=	_	=	=	=		4.7	_	=+	7		6 7	6	 	——
		63 (T)	+ =	+=	0	+=	0	=	34	34	+=	=	1	=	1	1	(1)	=	=	0		-0	=	34	34	=	-	_	=	-	_	4	
		64 ①	_	_	Ö	_	Ö	_	34	34	_	_	1	_	1	1	1	_	_	Ö	_	Ö	-	34	34	_	_	_	_	_	_	4	
		65 ①	_		0		0	_	34	34		_	1	_	1	- 1			_	0	_	0	_	34	34	_			_		_	4	
B3F		66 ①	+=	+=	0	+=	0	=	23	23	+=	=	1	=	1 1	1	1	=	=	0	=	0	=	23 22	23	=		=+	=	⊢=	=	4	——
		68 ①	+ =	-	_	+=		+=	18.2	18.2	+=	+=-	1	-	1	1	1		0	_		_	=		18.2	=	=+	1	=	1	1	-	
		69 ①	_	Ö	-	_	_	_	18.2	18.2	<u> </u>	_	1	_	1	1	1	_	Ö	_	_	_	-		18.2	_	_	1	_	1	1	_	
		70 ①		_	_	_	0	_	157	157	_		2	_	2	2	1	0	_	_	_	0	_	107	157		_	5	_	5	5	_	細長い居室等を適用
		1, 0	+=	0	=			0	79 112	238.8	\vdash	=	2	-	2 8	12	(2)	=	0	_			0	79 112	238.8		= +	3		3 8	12		
		(3)	+=	0	=		+=	0	47.8	230.8	$\vdash \equiv$	=	8 2	-	2	12	(3)	H =	0	=		=	0	47.8	230.0	= 1	_	2		2	13		
		, 1	-	Ö	-	-	0	<u> </u>	18	30	-	-	1	-	1	2	1	_	Ö	_	-	0	_	18	30	-		1	_	1	2	<u> </u>	
		² 2	_	0	_	_	0	_	12		_	_	1	_	- 1		2	_	0	_	_	0	_	12		_	_	1	_	1	_	_	
		3 ①			0	+=	0	=	44.5	44.5 11	+=	_	2	=	2	2	1	=	_	0	=	0	=		44.5 11		_			1		6	
		4 ① 5 ①	-	0	=	+=	+=	=	11 94	94	+=	=	2	=	2	2	1	-	0	=			=	11 94	94	=	=+	3	_	3	3		
MB3F	R-2-	6 (1)	ΙĔ		0	<u> </u>	0	_	30	30	-	_	L i	<u> </u>	1	1	1	Ĕ	<u> </u>	0		0	_	30	30	_	$=$ \vdash	ΞŤ	_	-	_	4	
		9 ①	_	_	Ö	_	Ö	_	30	30	_	_	1	_	1	1	1		_	Ö	_	Ö	_	30	30	_		_	_	_	_	4	
1		10 ①	_	0	_		0		45	45		_	1		1	1	1		0	_		0		45	45			-	-	-	_	4	
		11 ①	+=		0	+=	0	=	30	30 30	=	=	1	_	1 1	1	1	-	=	00		00	_	30 30	30		=+	= +		┢═	=	4	
		15 ①	+=	-	_	+=		=	23.3	23.3	+=	=	1	=	1	1	①	+=	0	_		_	=		23.3	=	=+	1		1	1	4	
		16 ①		0	_	_	-	_	72.2	72.2	-		3	_	3	3	1	_	Ö	_	_	_	_	72.2	72.2	_	- 1	3	_	3	3	_	
1		17 ①	_	0	_	_	0		49	49	_	_	1	_	- 1	1	1	_	0	_	_	0	_	49	49	_	$-\top$	=	_	_	_	4	
\vdash		19 ①	0	<u> </u>	-	+=	+ =	_	103.7 57.8	103.7 57.8	+=	_	2	-	2	2	1	0	_	=	=		_		103.7 57.8	_	=+	3		3	3		
		2 ①		0		+=	+=	0	57.8 49	57.8	+=		2	-	2	2			0				0	57.8 49	57.8 49			3	_	3	3	H =	大ばり2区画
		3 ①	1 -	0	T -	-	† –	Ö	52	52	-	_	3	<u> </u>	3	3	1	_	0	T - 1	-	_	Ö	52	52	-		4	_	4	4	_	大ばり3区画
		4 ①	_	Ö	_	_		Ō	55	55	_	_	3	_	3	3	Ũ	_	Ö	_	_	_	Ö	55	55	_	- [3	_	3	3	_	大ばり3区画
B2F	R-3-	5 ①	_	0	_			00	274	274	_		5	_	5	5	1		0	_			0		274	_	_	10	_	10	10		大ばり5区画
		6	+ =	0			+=-	0	111 32	143	$\vdash \equiv$		3		3	4	(1)		0				0	111 32	143		= +	5		5	7		大ばり3区画
1		- (1)	0		+=	+=	+=	0	16	H	t =	ΗĒ	H	⊢ =	+		1	0	-	+ -	=	=	0	16		=	=+	1		1		1	
		7 2		0	_	_	_	0	43	59	_	-	4	_	4	5	2	_	0	_	_	_	0	43	59	_	_	4	_	4	5	_	大ばり4区画
		8 ①	_	Ö	_	_	_	Ō	82	82	<u> </u>	_	2	_	2	2	1	_	Ö	_	_	_	Ö	82	82	_	- 1	4	_	4	4	_	大ばり1区画

消	防法に	準拠し	た火災	感知器の)配直を	示した-	一覧表()	对象:消	阞法施	行規則	弗23	3余弟	4項に認	& 当づる	3火火/	憨知者	各人【店	十分炉建	「座」													
\								煙感	知 器														熱感	知 器							炎感知器	備考
1\							消	防法	施行	規則												消	5 法 施	行 規	則						消防法施行規則	υ# - 7 πυ
		壁の 第 (((((((((((((23条第4面が 現は取を、4年で 23器は、4年で 23器は、4年で 23器は、4年で 23器は、4年で 23器は、4年で 23器は、4年で 23器は、4年で 23器は、4年で 24まで 25年で 2	N-50.6 mlb (に有効的に	urj るよう設 及及び傾斜と が が が が のない が のない が のない が のない が のが のが のが のが のが のが のが のが のが	ける。 路を除く感怒 おる責 い: は 知火災 ・ は 知火災 ・ 深さが O. Gr	ロ区域ごとに *1m以上と 基準書 連続する場 m以上1mオ	こ、感知器の する。 計合、取付面が 未満で区面さ	種別及び耶 高さに応じか	な付け面ので た範囲の隣 以下の小□	高さに応 接する恩 医画が1つ	じて次の	表で定める を当該部分 でいる場合	5床面積に かを含めて は、当該額	つき1個以 1つの感知 ポ分を含め	以上の個ロ区域と	壁1取4m. ◆ はと 小感 日細短 ・ はと 小感 日最近	以上のされます。 は大きな、 は大きな、 は大きな、 はいまする。 はいまなる。 はいなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。 はなる。	から0.4m以に 対を、火災に 未満高さに 未満高さに 根機の.4以に その。 その。 その。 その。 大の。 大の。 大の。 大の。 大の。 大の。 大の。 大	有効感知の () () () () () () () () () (るよう設ける 特種) 特特種) りり工がの、4r 型数と では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	5. 5.1m以上とで 基準書 続する場合 加以上1m未 基準書 型感知器(特	する。 、隣接する是 満で区画さ	感知区域を診 れた5㎡以 ̄	亥当部分 下の小回	及び取付面の; を含め15㎡」 区面が1つ隣接 13㎡につき1	以内であれば	ば1つの感気 合は、当該	日器区域と	見なす	河防準地で、 東京 を 東京 を 東京 を 東京 を 東京 を 東京 を 東京 を 東京 を 東京 で 東京 で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま で ま	
		上記	に記載のない	ハ消防法施:	行規則につい	いても準拠し	して感知器を	を設置する。																								l
火	災区画	成如			à			の高さ	小区画	総面積	総面積		消防法	減数設置			成如		高	ż		はり等	の高さ	小区画 #	総面積	総面積 総面		減数設置	,			
階	部屋番号	区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	和 《75m	(1+1) +10m²	(1+n) <60m²	設置数	適用	設置数	合 計	区域	(∼4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 		கய்பு (35mi	(1+1) (1+n +5m² <15r	設置数	適用	設置数	合 計	合計	
		1	-	0	-	_	0	0	56		-	-	1	-	1		1	-	0	-	_	0	0	56		_ _	2	_	2		-	
		9 3	=	0	_	_	0	0	76 47	287	=	=	2	=	2	6	3		0			0	0		287	= =	3 5	=	3 5	14		中ぱり6区画
		4	-	0	=	_	0	0	57 51	1	=	=	1	=	1	1	4	=	0	_	_	0	0	57 51		= =	2		2			
		2 ①	0	_	=	=		_	23	23	⊨	+=	1	=	1	1	1	0	_	=	_	_		23	23		1	<u> </u>	1	1	==	
	l .	3 2	0	0	=	=	=	0	206 32	249	=	=	11	=	11	14	2	- 0	0	_		=	0	206 32	249	= =	12	=	12	15	==	大ばり8区画 大ばり2区画
	Ľ	3	Ĕ	0	_	_	_	0	11	2.0	_	_	1	_	1		3	Ě	0	_	_	_	0	11	2.10		1		1		_	
	1	15 (2)	+=	0	=	0	=	0	16 24	54	$\vdash =$	=	1	=	1	2	(1)	=	0	=	0	_	0	16 24	54	= =	3	+=	3	4	<u>2</u>	煙感知器はR-5-23②と兼用 中ばり3区画
		3	0	=	_	_	=	0	14		=	=	1	=	1		3	0	=	_	-	_	0	14		= =	1	=	1		_	煙感知器はR-5-69②と兼用
	1	16 ②	=	0	=	0	=	0	16 24	54		=	1	=	1	2	2	_	0	=	0	_	0	16 24	54	= =	3	<u> </u>	3	4	2	中ばり3区画
		3	0	0	=	=	=	0	14 461		+=		10	-	10		(1)	0	-	_	=	=	0	14 461	-	= =	1 16	=	16		==	大ばり8区画
		7 2	_	_	_	_	_	Ö	4	465	_	_	1	_	1	11	2	_	_	_	_	_	0	4	465		_	_	_	16	1	
	H	(1)	+=	0	=		=	0	72 10.3	72	⊢=	+=	2	=	2	2	1	-	0	=	=	=	0	72 10.3	72	= =	3 —	 -	3 —	3	1	大ばり2区画
B2F	R-3-	19 ②	0	_	=	=	=	_	71.4	92.9	=	=	1 1	=	1 1	3	2	0	- 0	=	=	_	=	71.4	92.9	= =	3	=	3	4	=	
		1	0	_	=	=		=	11.2 9.6		+=	=	1	=	1		1	0	_	=		=		11.2 9.6		= =	1	+=	1		==	
		2	=	0	- 0	_	_		15.3 25.2	I		=	1		1	1	3	=	0	- 0		_		15.3 25.2		= =	1	_	1		- 2	
	2	25 4	=	0	_	=	=	_	24	135.6	_	=	1	=	1	7	4	=	0	_	=	_	=	24	135.6		1	_	1	6		
		6	+=	0	=	=	=	=	24 37.5	ł	=	=	2	=	2	ł	6	=	0	=	=	_	=	24 37.5	- 1	= =	1 2	-	2		==	<u> </u>
		26 ①	0	0	=	=	=	=	5.8 6.8	5.8 6.8	=	=	1	=	1	1	1	0	_	=		_	=		5.8 6.8	= =	1		1	1		
		28 ①	=	Ö	_	_	0	0	55	55	_	_	1	_	1	1	1	_	0	_	_	0	0	55	55		2	_	2	2	==	
		9 1	- 0	0	_	=	=		48.5 3.5	48.5 3.5	=		1		1	1	1	- 0	0	_		_			48.5 3.5		2	=	2	2		
		36 ①		0		_	0	_	31.7	31.7			i		1	1			0	=		0		31.7	31.7		i	_	1	1	==	
		37 ① ①	+=-	0	=		0	=	31.7 6.8	31.7	⊢=	=	1	-	1	1	1	-=-	0	=		0		0.0	31.7	= =	1	+=	1	1	==	t
		2	0	_	=	=	0	=	6.7	13.5	_	=	1	_	1	2	2	0	_	_	_	0	_	6.7	13.5	= =	1	_	1	2	_	
	3	39 ②	_	0	-	_	<u> </u>	_	4.4 7.1	11.5	=	_	1	=	1	2	2	=	0	=	=	<u> </u>	=	7.1	11.5		1	=	1	2	=	
		10 ①	=	0	=	=	=	=	6.7 3.9	6.7 3.9	=		1	=	1	1	1	=	0	=	=	=			6.7 3.9	= =	1	=	1	1	= =	
		1 1	0	_	_	-	=	_	10.7	10.7	=	=	1	_	1	1		0	_	=	_	=	_	10.7	10.7		1	<u> </u>	- 1	1	-	
		3 2	0	=	0		=	0	123 10	164	=	=	1	=	1	7	(1)	0	=	0			0	123	164	= =	4	-	4	6	1	大ばり4区画
		3	0	=		_	=	O O	31	44		=	2	=	2	2	3		=		=	=	Ö	31	44	= =	2	_	2	2	=	大ばり2区画
MB2F	R-4-	7 ①	0					Ö	31.2	31.2	<u> </u>	=	2		2	2	Ű	0			=		0	31.2	31.2	_ _	2	<u> </u>	2	2	==	
		8 ① 9 ①	0	=	=	=	=	0	33.5 20.5	33.5 20.5	=	=	2	=	2	2	1	0	=	=	=	=	0		33.5 20.5	= =	2	=	2	2	=	
		1 1	ŏ	_	=	_	_	–	29.4	29.4	_	_	1	_	1	1	1	Ō	_	_	_	_		29.4	29.4		1		1	1	_	
1	H	12 ①	0	=	_	=	=	=	284.8 5.6	284.8 5.6	+=	_	13	=	13	13			_	_	=	=	=		284.8 5.6	= =		 -	14	14	==	
L		v, w					-		0.0	J.U							w							0.0	0.0		+ -		+ -			

消防法に単	隼拠し7	た火災原	函知器∅)配置を示	ドしたー	一覧表(対象:消	防法施	恒 行規則	』第2	3条第	4項に請	亥当する	火災原	感知器)【原	子炉建	屋】														
\							煙感	知 器	D d													熱感	知 器								炎感知器	備考
1\						消	防法	施行	規則												消防	5 法 旌	5 行 規	則							消防法施行規則	UHI →5
	型の 第2知:付え を を を を を を を を を を を を を を を を も は な 取 の の 窓 の の の の の の の の の の の の の の の の	国 23器以前未以数 本等に 1 以 項下効 が 1 以 項下効 が 1 が 2 が 3 に 以 3 ない 1 に 可以 1 で 1 に 可以 2 3 と 4 項 2 3 と 4 項 2 3 と 4 項 2 3 と 4 項 2 3 と 4 項 3 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に 1 に	No.0.6 mkm No.0.6 mkm いたに 七通感 満 で 会以 は 機のる。 満 いるが へ のる。 満 いるが へ	上生突出したはいたはいます。 足及び傾斜路ない、 に取ける積積 のないものが、 のないものが、 のないものが、 はい等の深さ、 ははりなが、 ははりなが、 ははりなが、 ははりなが、 ははりなが、 はなが、 はなが、	る。 を除く感知 、はり高 事が 、設備工域が が さが の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の ・ の	1 区域ごとに 1 m以上と 基準書 連続する場	こ、感知器の でする。 では、取付面 でという。	種別及び順高さに応じ	取付け面の	の高さに応 隣接する原 区画が1・	感知区域 で隣接し	表で定めるを当該部分でいる場合	る床面積に かを含めて は、当該音	つき1個以 つの感知 3分を含め	J上の個 区域と て1つ	壁1取44* ◆はと 小感 日細短 又個付来以複 本等で 歴知 本長辺	以上高端 上高端 上面 報と 火変深る 勝を が域 災害の をできますが がまままます。 大変できまずますが できますが できますが 様と 報等法 報等法 報等法 報等法 報等法 がいがい	100.4m以に 100.4muに 100	以上突出した。 は上突出した。 東に面積 70㎡(4 35㎡(4) のないも、銀火 35㎡(4) のないも、銀火 35㎡(4) 35㎡(4) 35㎡(5) 35㎡(5) 35㎡(6) 35㎡(7) 35㎡	るよう設ける 特種) 特種) は、はり高さ 可設備工事 が 変区域が連 にながの、4m 可設備工事 は で で で で の の の の の の の の の の の の の の の	3。 1m以上とす 基準書 続する場合、 n以上1m未 基準書 型感知器(特	する。 隣接する 満で区画さ 殊)を設ける	8.知区域を れた5 ㎡以	該当部分 下の小!	♪を含め1! 区画が1つ	ō㎡以内で 隣接してし	あれば1	つの感知	器区域と	見なす かて1つ	消防進行規制 排防性 排放性 排放性 素質 素質 素質 素質 素質 素質 素質 素質 素質 素質	
· ·	H 921-	こ記載のない	/消防法施/	う規則につい?	でま,準城口	ア威知器を	を設置する。																									1
火災区画	121010	C10407780		†	C 0+26C		手の高さ		1	総面積	総面積			1				亩	ż		はり等の	の高さ			総面積 組	総面積						
階部屋番号	医知 区域	(~4m)	(4~8m)	г т	15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <75㎡</td><td>(1+1) +10㎡</td><td>(1+n)</td><td>消防法 設置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>感知 区域</td><td>(∼4m)</td><td>(4~8m)</td><td></td><td>(15~20m)</td><td>(0.4m>)</td><td>(0.4m<x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1)</td><td>(14m) /F</td><td>防法 置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡	(1+1) +10㎡	(1+n)	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(∼4m)	(4~8m)		(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1)</td><td>(14m) /F</td><td>防法 置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>	小区画 面積	総面積 <35㎡	(1+1)	(14m) /F	防法 置数	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
10	6 ①	0	_	-	_	0	<1m) —	24	24	+-	-	1	_	1	1	1	0	_	_	_	-	<1m) O	24	24	-		2	_	2	2	_	
1	7 1	0	=	=	=	_	=	17.6 24	17.6 24	=		1		1	1	1	0	=	=	=	_	=	17.6	17.6 24	=	_	1	=	1 2	1 2		
MB2F R-4- 19	9 ①	ő	_	-	_	Ĕ	_	19.3	19.3	_	_	i	_	1	1	Ű	ŏ	_	_	_	- ŭ	_	19.3	19.3	- 1	-	2	_	1	1	=	
20	20 ①	0	=	_		=	=	17.6 19.3	17.6 19.3	+=	+=	1	-	1	1	1	0		=			=	17.6 19.3	17.6 19.3	=	=+	1		1	1		<u> </u>
24	24 ①	Ö	_	_	=	-	-	42.9	42.9	_	_	1		1	1	1	0	=	_	_	_	_	42.9	42.9	_		3		3	3	1	
	2	 =	0	0		0	0	25 164	+	-	+=	3	-	3		1 2	=	0	0	=	0	0	25 164		=		6	_	6		2	
	3	=	=	0	_	0	0	107	1	=	=	4	=	4		3 (4)	_	=	0	_	0	0	107		_	_	=	=	=		7	
	(5)	=	0	0	=	0	0	143 284	+	=		7	-	7		(5)	=	0	0	=	0	0	143 284		=		15		15		3	
	6	_	-	0	-	0	0	123	7	_	-	3	_	3		6	_	_	0	_	0	0	123		=		-	-	-		3	
1	1 8	0	=	0	=	0	0	201 75	1736	+=	+=	4	=	4	46	8	0		0	_	0	0	201 75	1736	=		5		5	48	4	
	9	=	_	0		0	0	12	7	=	_	_	=	-		9	_	_	0	_	0	0	12		_		4	_	_ 4		1	煙感知器はR-5-1⑦と兼用
	10	=	-	0		0	0	74 50	+	-	+=	2	-	2		10	=	<u> </u>	0	=	0	0	74 50		=	_	4		4		3	
	(12)	-	0	- 0	_	0	0	288 67	7	_	=	8 2	=	8		(12) (13)	_	0	_ 0	_	0	0	288 67		=		14	=	14		_	
	(14)	+=-	0	_	=	0	0	29	+	-	+=	1	=	1		(14)	=	0	_	=	0	0	29		=+		1		1		3	
	(f) 3 (1)	_	0	=		=	=	94 22	22	=	=	2		2	1	(§)	_	0	=	=	=	=	94 22	22			3	=	3	1	_	
	5 ①	_	0	=	=	=	-	165	165	+=		3		3	3	1	_	-	=	_	=	=	165	165	\vdash		5	=	5	5		
7	7 ①	_	0	-	_		_	7.3	7.3	Ψ-	_	1	_	1		1	-	0	_	_		_	7.3	7.3	-		1		1	1		
	9 ①	0	=	0	=	=	=	7 38.8	38.8	$\pm \pm$		1	=	1	1	1	_	=	0	=	=	=	38.8	38.8	=		1	=	1	1	2	
1	14 ① 15 ①	- 0	0	=	=	=	=	24 60	24 60	+=	+=	1 3	=	1 3	1 3	① ①	- 0	0	=	=	=	=	24 60	24 60	=	=	3		1 3	1 3		<u> </u>
B1F R-5-	16 ①	0	=	_	_	=	=	16	16		_	1	_	1	1	1	Ō	_	_	_	_	_	16	16	_	-	1	_	1	1		
	1		0	_	-	0	0	394	407	_	-	12		12	10	1		0			0	0	394	40.7	- 1		19	_	19	00	_	大ばり10区画・中ばり9区画 大ばり3区画
'	17 <u>2</u> <u>3</u>	=	0	_	=	0	0	77 26	497	=	+=	3	=	3	16	(3)	_	0	=		0	0	77 26	497	=		3		3	23		人は93区画
10	18 ①	0	Ť	-	-	Ě	-	37	37	-		2	-	2	2	1	0	_	_			_	37	37	-	-	2	=	2	2		
	9 ① 20 ①	0	- 0	_		0	0	19.7 159.8	19.7 159.8	+=		1 4	=	1 4	1 4	① ①	0	0	=	_	- 0	0	19.7 159.8	19.7 159.8	=		1		1 4	1 4		
	21 ①	=	Ö	_	-	Ö	0	22.5	22.5		_	1	-	- 1	1	1	_	0	_	_	Ö	0	22.5	22.5	_	-	3	_	3	3		
22	22 ①	- 0	0	_		=	0	33.5 18	33.5	+=	=	1		1 1	1	1	- 0	0	_	_	_	0	33.5 18	33.5		_	1		1	1		
23	23 ②	_	0	-	_	-	_	42	60	_	_	1	_	1	2	2	_	0	_	_	_	_	42	60	_	-	<u>- 1</u>	_	_	1	2	
2	27 ①	0		- 0	_	=	0	38 49	38	+=	+=	1		1	1	1	0		<u> </u>	_	_	-	38 49	38		_	1	=	1	1		
	2	=	0	-	_	_	0	73	335			2	_	2	7	2	_	0	_	_	_	0	73	335	- 1		3	_	3	7	- 1	
	3	=	_	0		=	0	97 116	333	=	-	2		2	′	3 4	_	- 0	0	_	_	0 0	97 116	333			_	=	_ 4	,	8	大ばり2区画
25	9 1	ΕĒ	0					132	132	$\pm \equiv$	ΙĒ	4		4	4	1	=	0					132	132	=		4	=	4	4		
30	30 ①	=	_	0	=		0	77 156	77 156	=	=	2		2	2	1	=	_	0			0	77 156	77 156	=		5	=		_	2	大ばり2区画
	or L W					-	+=-		156			4	-	4	4	0		0			=	=	156	193			6		6	6		
33	32 ①	_	0		_	_	_	193																								1
33	32 ① 33 ①	=	0	_ _ 0	\equiv	=	-	130	130	_	_	2	=	2		1	_	0	_ 0	=	=	_ _ 0	130	130	_	-	4	=	4	4	= =	大ばり2区画

消	防法に	二準拠し	た火災	感知器0	り配置を	示した-	一覧表(対象:消	防法施	行規則	第2	3条第	,4項に	&当する)火災恩	※知器	計)【店	八十炉建	屋】														
Λ								煙感	知 器	ļ													熱感	知 器								炎感知器	備考
1\							消	防法	施行	規則												消	防法加	包 行 敖	見則							消防法施行規則	ura - 7
		壁3 上の ◇第	個数を、火 23条第4項 知器は、廊	から0.6ml 災に有効感知 したホ 下、通路、階	以上突出した 知するよう設! 段及び傾斜器	ける。 各を除く感失											壁又 き1個 取付 4m2 4m1	以上の個数 ·面高さ 未満 以上~8m:	nら0.4m以 なを、火災に 未満	以上突出した 有効感知す 床面積 70㎡ 35㎡(るよう設ける 特種) 特種)	5.	れた部分ごと	とに、感知器	の種別	及び取付店	面の高さに	応じてか	の表で定	める床面	積につ	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 ・炎感知器に設 置数が記載されて いる同じ部屋番号	
\	\	取f 4m 4m * *	付面高さ n未満 n以上~20 複数区画の	m未満 はり高さにC	床面利 150m 75㎡ のないものに	た d よ、はり高さ		する。									◆日本 はり ことが	大災報知等の深さが できる。	機工業会 0.4以上1	自動火災報知 m未満で火き	ロ設備工事 災区域が連	基準書 続する場合	合、隣接する!									に設置数が記載されている煙感知器 スは熱感知器が、 炎感知器と組合せ て設置する感知器	
		はい 見な 取付	本火災報知 り等の深さだ すことができ け面高さ n以上~8m	パ0.6m以上 ೬る。	自動火災報失 1m未満でリ 床面積 60㎡	火災区域が	基準書 連続する場	合、取付面	高さに応じ	た範囲の隊	韓接する原	感知区域	を当該部分	うを含めて1	つの感知	区域と	の感知 ◆日本 細長	ロ区域とする 大災報知 い居室等の	ることができ 機工業会 0場合	る。 自動火災報知	D設備工事	基準書	未満で区画さ							部分を含め	めて1つ	である。なお、一部 について他の部と組 番号の感知器と組 合せる場合があり、その場合の組 合せる感知器は備	
	\	の感	知区域とす	ることができ				未満で区画さ	わた10㎡	ぱい下の小り	区画が11	つ隣接し	ている場合	は、当該部	3分を含め	て1つ				行規則につい				948 D 14.	P1 J EE AI	i i omic 2	CIMA.	-BX17-0				考欄に記載した感 知器となる。	
					通路、階段及こあっては歩行			別以上の個数	を、階段及	なび傾斜路	にあって	は垂直距	巨離15m/3	つき1個以	上の個数を	設け																	
火车	災区運	_	に記載のな	い消防法施 高	行規則につい	ハても準拠し	1	を設置する。 の高さ	小区画	総面積	総面積			減数設置	60.888.94.	^ #I	感知		高	ż .		はり等	等の高さ	小区画	総面積		8面積 消	防法	減数設置	00.000 ML	A 81	0.01	
階	部屋番	5号 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	<75m	(1+1) +10m²	(1+n) <60m²		適用	設置数	台計	区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	<35m²	(1+1) +5m²	(1+n) // (15ml	置数	適用	設直数	合 計	合計	
		35 ②	=	0	=	-	0	=	23.8	69.8	Ξ	Ξ	1	=	1 1	3	2	=	0	=	=	0	=	23.8	69.8	=	=	1	=	1 1	3	=	
		38 ①	0	0	=	=	=	=	25 30.6	30.6	 	_	1	=	1	1	3 1	0	0	=	=	=	=	25 30.6	30.6	=	=+	1	=	1	1	=	
		39 ① 40 ①	0	=	_		=	_ 0	45 19	45 19	=	=	1 2	=	1 2	1 2	1	00	=	=		_	- 0	45 19	45 19	_	=	1 2		1 2	1 2		
		41 ①	Ĕ	0	_	_	_	_	32	32	T -	_	1	_	1	1	1	_	0	_	_	_	_	32	32	_	-	1	_	1	1	_	
		43	+=	-	_		-	0	79 54	133	H=	+=	3	-	3	4	(1)		_	=		_	0	79 54	133	=	=+	6		6	12		中ばり9区画
		45 ①	_	ő	_	_	Ĭ.	_	6.9	6.9	-	_	1	_	1	1	Ũ	_	ő	_	_	Ĕ	_	6.9	6.9	-	-	1	_	1	1	_	,
B1F		46 ① 47 ①	-	+=	0		-	=	7.7 6.9	7.7 6.9	+=	=	1 1	_	1	1	1	0	=	0		=	-	7.7 6.9	7.7 6.9	=	=+	<u>1</u>		1	1	1	
		48 ①	=	_	0	_	=	_	36	36	<u> </u>		1		1	1	1	_	_	0	_	_	_	36	36	=	- [-	_	=	=	2	
		49 ① 50 ①	0	+=	0		-	=	33.9 4.1	33.9 4.1	⊨		1	_	1 1	1	①	- 0	=	0	-	=	=	33.9 4.1	33.9 4.1	=	=+	1	=	1	1	2	
		51 ①	0	_	_	_	_	0	42	42	-	_	2	_	2	2	1	0	_	_	_	_	0	42	42	-	-	2	_	2	2	_	
	R-5-	52 2	-	0	=	_	=	=	29.1 23.5	52.6	$\vdash =$	=	2	_	2	4	2	_	0	=			=	29.1	52.6	=	=+	2		2	4	=	
	K-5-	53 ① 54 ①	=	0	_		=	=	29.7	29.7	-	=	1	=	1	1	1	_	0			=	_	29.7	29.7	=	=	1	-	1	1	= =	
		55 ①	+=	0	=		=	=	15 25.4	15 25.4	+=		1	=	1	1	1		0	=	=	=	=	15 25.4	15 25.4	_	=	1		1	1	=	
		56 ①	-	0	_		=	=	32.7 63.2	32.7 63.2	+=	+=	1		1	1	1		0	=			=	32.7 63.2	32.7 63.2		=	1		1 2	1 2	=	
階段		60 ①	+=	_	_	_	_	_	11.9	11.9	-	_	4	_	4	4	1	_	_	_	_	_	_	11.9	11.9	_	_	6	_	6	6	_	
		61 ②	-	0	_			=	14.8 64.4	113.7		=	1	_	1	3	1		0			-	=	14.8 64.4	113.7		_	3		1	4		
		3	_	– ŭ	0	=	=	_	34.5		=		1	=	i	Ü	3	_	ĕ	0	_	=	_	34.5		_		_	=	_	7	2	
		63 ①	0	0	=		=	- 0	31.3 38.7	31.3	$\vdash =$	=	1 2	=	1 2	_1_	1	0	- 0	=		=	0	31.3 38.7	31.3	-	= -	1 2		1 2	1		
B1F		65 ②	0	_	_	_	l –	_	5.4	51.3	_	_	_	-	1 – 1	3	2	0	_	_	_	_	_	5.4	51.3	_	-	- 1	_	_	3	_	煙感知器、熱感知器はR-5-65①と兼用
		66 ①	+=	0	-		_	=	7.2 45	45	=	=	1	_	1	1	(1)		0	=			+=	7.2 45	45	_	=	1		1 2	2	=	
		67 ①		_	-	_	=	_	10	10	_	_	i	_	i	1	1	0		_	_	-	_	10	10	_	_	1	_	1	1	_	
		69 ②	0	0	_		0	=	19 41	81	-	=	1	=	1	3	2	0	0	=		0	=	19 41	81	=	=+	1		1	2		
\perp		3		Ö	_	_	_	_	21	٥.	_	_	1	_	1		3	_	Ö	_	_	_	_	21	٥.	_	-	1	_	1	L.	_	
MB1F		3 2	0	=	0		0	=	3.6 32.8	45.5	-	=	1	=	1	3	2	0	=	0		0	=	3.6 32.8	45.5	=	=+	1		1	2		
1F		3	0	_	_	_	_	_	9.1		_		1	_	1		3	0	_	_	_	_	_	9.1		-	_	1	_	1	Ĺ.		
		9 ①	0	+ =	=		0	0	12.6 46	12.6 46	+=	=	1	_	1	1	1	00	=	=		0	0	12.6 46	12.6 46	=	=+	2		2	2	=	
	R-6-	10 ①	ő		-	_	ő	_	67	67	-	Ι-	2		2	2	1	Ö	_	_	_	ő	_	67	67	_	-	3	_	3	3	_	
MB1F		(1)	- 0	+=	0	=	=	=	11	+	-	+=	1	=	1		2	- 0	=	0		=	=	11		=	=+	2	=	2		1	
	1	11 ③	_	_	0	_	-	0	28	185.7	_	_	1	_	1	5	3	_	_	0	_	_	0	28	185.7	-		- 1	_	_	2	1	
		<u>4</u>	+=	0	- 0		=	=	8 8 7	+	-	=	1	=	1		(4) (5)	=	0	- 0			=	8.7		=	=+	=+		=			熱感知器はR-6-11⑤の炎感知器と兼用
			-						0.7								w						-	0.7									

消防法	去に準	■拠し7	と火災感	知器の	配置を示し	た一覧	覧表(タ	対象:消	防法施	[行規則	1 第2	23条第	4項に請	変当する	5火災/	蒸知 器	計)【店	(子炉建	屋】													
\								煙感	知 器	2													熱感	知 器							炎感知器	備考
1\							消	防法	施行	規則												消防	法施	行 規	則						消防法施行規則	иня
		型の (全国 (2知) 付末 (2知) 付末 (2知) 付末 (2知) 付末 (2知) 付ま (2知) で	数 3条は、 4 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年	50.6m M M M M M M M M M M M M M M M M M M M	上突出したはりするよう設ける。 (及び傾斜路を形ように設ける。 ま面積 150㎡ 75㎡ かないものは、は 180円で、	会(感知区は はり高さ1m	域ごとに n以上とさ 準書 売する場か l上1m未	、感知器の利する。 合、取付面高	種別及び耶島さに応じか	取付け面の た範囲の隙 ポリアの小原	り高さに応 隣接する!!	あじて次の 感知区域 つ隣接し	表で定めるを当該部分でいる場合	5床面積に かを含めて は、当該6	:つき1個以 1つの感知 部分を含め	以上の個 ロ区域と	・ 壁1取44* 日はと 小感 日細短 と間付かれ複 本りが 区知 本長辺	以上の個数に未以数と、10年高満年の一個数にまた。 10数との一個数には、10数との一般では、10数との一般では、10数を表して、10数	No. 4 m以下 を、火災に 未満 素はり高さに 最近の まり の、大災に 本満 の、大災に で、大 で、大 で、大 で、大 で、大 で、大 で、大 で、大	以上突出した。 は上突出した。 有効感知可能 下の面が、 35㎡(4) のないも、銀火災で、 はい、 のないも、銀火災で、 はい、 はい、 はい、 のな、 のない、 のない、 のない、 のない、 のない、 のな、 のな、 のな、 のな、 のな、 のな、 のな、 のな	るよう設ける 特種) 特種) は、はり高さ 可設備工事 が で ながO.4m 可設備工事 は ながの、4m 可 なが、4m で で で で で で で で が で の の の の の の の の の の	5。 :1m以上とす 基準書 続する場合、 n以上1m未 基準書 型感知器(特	[†] る。 隣接する 満で区画さ 殊)を設ける	8知区域を記れた5㎡以「	亥当部分 下の小⊡	を含め15r 【画が1つ隊	n'以内であれ i接している均	ば1つの感:	知器区域と	:見なす かて1つ	河に推行技能 が開始 が開始 が開始 が開始 が開始 が開始 が開始 が開始	
	\	Feat-	印針のたい	28 P+ 2+ +6: 4=	f規則についても	*# +b11 ~ F	st +n 99 +	±0.85 → 7																							, !	ı
火災区	Z 1(H)1	THEI	品に収りない。	高		学施して	はり等	1		1	60.TE	± 60 = 1±		l	1				高	ż .		はり等の	の宣士	1		総面積 総	= ::=	1	1			
—	屋番号	感知 区域	(~4m)			~20m) (0	0.6m>)	(0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <75㎡</td><td>総面積 (1+1) +10㎡</td><td>(1+n)</td><td>消防法 設置数</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>感知 区域</td><td>(~4m)</td><td>(4~8m)</td><td></td><td>(15~20m)</td><td>(0.4m>)</td><td>(0.4m<x< td=""><td></td><td>8面積 (35㎡</td><td>(1+1) (1</td><td>面積 +n) 5㎡ 設置数</td><td></td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1) +10㎡	(1+n)	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)		(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x< td=""><td></td><td>8面積 (35㎡</td><td>(1+1) (1</td><td>面積 +n) 5㎡ 設置数</td><td></td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>		8面積 (35㎡	(1+1) (1	面積 +n) 5㎡ 設置数		設置数	合 計	合計	
PH RPS	生田 つ	1	-	— —		- 20111) (0	U.UIII//	<1m) —	14		+=	+-	1	-	1		1	-	(4011)	0	— (13·-20iii)	(0.4117)	<1m) —	14		_		+-	+-		1	
MB1F R-6		2	0	-		= -	=	_	124	185.1	=	=	1	=	1	4	3	0	=	_		=	_	124	185.1	= :	_ 2	=	2	2	<u> </u>	
MDIF R-0	0- 12	4	=	0	0	= -	=	<u> </u>	23 5.4	100.1	F	=	-	=	+-	4	4	=	0	0	=	=	0	23 5.4	100.1		= + =	+=	+=	- 4	<u> </u>	煙感知器、炎感知器はR-6-12⑤と兼用
-	+	5	=	0		_	_	- 0	18.7 42		=	+=	1 2		1 2		(5) (1)	_	0	- 0	_	_	-	18.7 42		_ :	= =	=	+=		1 3	
		2	_	0		-	0	0	38	1	_	_	1	_	1		2	_	0	_	_	0	Ō	38			_ 2	_	2		_	
		(3) (4)		0		= -	0	0	82 75	+	=		2	=	2		(3) (4)		0	=		0	0	82 75	ŀ		- 3 - 3	+=	3		_	<u> </u>
		5		Ö	_ :	= -	0	0	102		=	=	3	=	3		5	=	0	_	_	0	0	102		= :	- 4 - 15	=	4		_	
		7	0	0		= +	0	0	389 41	†	+=		9	=	9 —		<u>6</u>	0	0	=	=	0	0	389 41	ŀ		- 15 - 1	+=	15		=	煙感知器はR-7-1⑥と兼用
	1	8	_	0		-	0	0	22	1089.2	=	_	-	-	- 	29	(8) (9)	_	0	_	_	0	0		1089.2	= :	- 1	_	1	37	_	煙感知器はR-7-19と兼用
		10	0	=	0	= +-	0	0	38 8	ŧ	+=	+=	1	=	1		10	- 0	=	0	_	0	0	38 8	ŀ			+=	1 -		1	
		(1)	=	0			0	0	125	1	=	=	3	=	3		10	_	0	_	_	0	0	125	Ī		- 5 		5		_	
		(13)	0	=	-	=	0	<u> </u>	112 7.1	ŧ	+=	+=	2	=	2		13	0	=	0	=		<u> </u>	7.1	ŀ			+=	1		5 —	煙感知器はR-7-100と兼用
		(14)	0	-			=	=	8.1 22	1			1	=	1 1		(14) (15)	0	=	=	_		_	8.1 22	I			1 =	_		_	熱感知器はR-7-1③と兼用
	3	100	_	0		=+	=	=	22	25	+=		1	=	1	1	1	_	0	=	=	=	=	25	25		- 1 - 1	+=	1	1	=	i
	4	1	_	0		= -	=	_	29 35.4	29 35.4	ŦΞ		1	=	1 1	1	1	=	0	=	=	=	-	29 35.4	29 35.4		- 1 - 2	+=	1 2	1 2	_	
1F		1	0	_		= +	=	_	42.3	42.3			1	Η=	1	1	1	0	_	=	_	=	_		42.3		- 2 - 1	+=	1	1	==	
	9	1	0	=		=	=	=	67.8 72.5	67.8 72.5		_	1	=	1	1	1	0	=	=	_		_		67.8 72.5		- 1 - 2	=	1 2	1	==	
	12	1	_	0	-		0	0	175	175	+=		4	=	4	4	1	_	0	=	=	0	0		175	_	- 8	_	8	8	_	大ばり4区画
R-7		1	- 0	=	0 :		0	=	95 209	95 209	=	-	2		2	2	①	0	=	0	_	0	=	95	95 209	= -		=			5	
	19	1	_	0		= +	0	0	156	209	+=	_	12		12	,	1	_	0	=	_	0	0	156	209		- + -	+=	-		6	大ばり8区画
		2	_	-	0	-	0	0	42	202		_	2	-	2	00	2		_	0	-	0	0	42	202			_	_		2	大ばり2区画
1 1	21	(3) (4)	0	0		=-	0	0	157 15	393	-		6	=	6	22	(3) (4)	0	- 0	=	_	0	0	157 15	393		- 6 - 1	+=	6	8	= =	大ばり3区画
		5	0	-			0	0	23		丰	_	1	_	1		(5)	0	_		_	0	0	23			- i	_	1		_	
	24	1	- 0	0		= +	=	- 0	27 36	27	+=		2	-	1 2	1	1	0	0	=	_	=	<u> </u>	27 36	27		- 1 - 2	+=	2	1	=	大ばり2区画
	26	2	-	-			=	0	2.7	38.7	ΙĒ	_	1	=	- 1	3	2	_	_	0	_	=	0	2.7	38.7		- 1	_	1	3	_	
	28	1	0	=		= +	_	0	165 68.5	165 68.5	=		9		9	9	1	0		_	_	_	0	165 68.5	165 68.5		- 10 - 4	+=	10	10		天井裏に煙6個・熱7個設置 天井裏に煙6個・熱7個設置
		1	-	0			_	ő	67.4	67.4	_	_	6	_	6	6	Ű	Ť	0	_	_	_	Ö	67.4	67.4		- 6	+ -	6	6	_	P. S. P. Sand S. P. P. Sand S.
M2F	31	1	= T	0		= -	=	0	34.9 32.8	67.7	=		1 2	=	1 2	3	1	_	0	_			0	34.9 32.8	67.7			=		2	2	
	33	1	0	-	-	- 1	_	Ö	19.9	19.9		_	2	_	2	2	1	0	_		_	_	Ö	19.9	19.9	_	- 2	_	2	2	_	
1F	37	1	0	-			=		56 15	71	\equiv	+=	1		1	2	1	0	- 0	_	_		= 1	56 15	71		– 2	==	2	3		
M2F	<u> </u>	1	=	<u> </u>	0 .		_		6.4	1	臣	$\pm \bar{\pm}$	1	=	1		1	_	=	0				6.4		= + :	= +	ᆂ	<u> </u>		1	
	38	2	=	0		=	=	=	3.8	49.3			_ 1	=	- 	2	(2) (3)	_	0	<u> </u>	_	=		3.8	49.3		= =	1 =	=	_	1	煙感知器はR-7-38③と兼用
1 1	- 1	(3) (4)		0			=		7.1	†	-		-	=	+-		(<u>3</u>)	_	0	_		= +	=	7.1	ŀ		=	+=	+=		1	煙感知器はR-7-38③と兼用
1F	- 1	(4)																														
1F	10	1	-	_			=	0	87 214	87 214	=		3 7	=	3	3 7	1		_	0		_	0	87 214	87 214		==	-	_	_	4	大ばり2区画

1121571	IZIC.	42 Me C.	イニンくか	내시소하다	行けいた	い回る	小した	一見衣(対象:消	的压加	11 7 7 元 只	1 5772	3米男	4-貝(二郎	×= 9 &)) \	恐却者	引【炉	八十分月) (注)														
Λ									煙感	知 器	2													熱感	知 器							炎感知器	儘	者
\								消	防 法	施行	規則												消	坊 法 排	10 行	則						消防法施行規則	DIFE	***
		壁又 上の信 ◇第2 感知	固数を、火 23条第41 □器は、廊	iから0. 災に有ぎ 頁 七 7 下、通路	6m以上 効感知す た 、階段2	するよう設!	ける。 路を除く感:		れた部分ご。									壁又 き1個 取付 4m ² 4m ²	以上の個数 面高さ 未満 以上~8m:	nら0.4m以 yを、火災に 未満	以上突出した 有効感知す 床面積 70㎡ 35㎡(るよう設ける 特種) 特種)	5.		だ、感知器	の種別ス	び取付i	面の高さに	じて次の表	で定める床	面積につ	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 * 炎感知器に設 置数が記載されて いる問じ部屋番号		
		取付 4m; 4m;	†面高さ 未満 以上~20	m未満		床面和 150n 75㎡	漬 ni i	さ1m以上と	:する。									◆日本	火災報知	機工業会 [自動火災報知	1設備工事	基準書		感知区域を	亥当部分	を含め1	Sml以内であ	れば1つの	感知器区均	ぱと見なす	に設置数が記載する れてい熱感知器が 、炎感知器と組合せ で設置する感知器		
\	\	はり 見なす 取付	本火災報 対等の深さ けことがで け面高さ 以上~8r	が0. 6n きる。	会 自!! n以上1	助火災報約 m未満で対 床面積 60㎡		基準書 が連続する均	場合、取付面	高さに応じ	た範囲の関	隣接する原	感知区域	を当該部分	かを含めて1	つの感知	区域と	の感知 ◆日本 細長	ロ区域とする 大災報知 い居室等の	ることができ 機工業会 [D場合	る。 自動火災報知	1設備工事	基準書							1該部分を1	含めて1つ	である。なお、一部 について他の部屋 番号の感知器と組 合せる場合があ り、その場合の組		
	\	小区の感気	区画が隣接 知区域とす	もしている でることか	場合、	はり等の説	深さが0.6	m以上1m:	未満で区画	された10m	『以下の小	区画が11	つ隣接し	ている場合	は、当該部	分を含め	て1つ				警室等に定温 行規則につい				6場合は、2	行距離	I3ml≅5	き1個以上	设ける。			合せる感知器は備 考欄に記載した感 知器となる。		
	\	◇第2 感知 る。	23条第41 0器は、廊	頁 七 / 下及び記	へ (通路 通路にあ	格、階段及 うっては歩	なび傾斜路 行距離30) mにつき1値	固以上の個数	数を、階段の	及び傾斜路	にあって	は垂直距	離15mlつ	つき1個以	上の個数	を設け																	
火災回	区画	1	こ記載のな	い消防	法施行		いても準拠	1	を設置する。		1	総面積	総面積		l	l				南	è		はり等	の高さ			総面積	念面積 38						
階部	『屋番号	医坝 区域	(~4m)	(4~	8m) ((8∼15m)	(15~20m) (0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	(1+1) +10m²	(1+n) <60m²	消防法設置数	減数設置適用	設置数	合 計	感知 区域	(∼4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	総面積 <35㎡		(1±n) /FI	方法 減数置数 適		数合品	十 合計		
	H	42 ① 43 ①	0	1	=	_	=	=	-	45 80	45 80	I =	=	1 2	=	1 2	1 2	1	0	=	-	=	=	=	45 80	45 80	=	= -	2 -		2		大ばり2区画	
	H	4 1	_)	_	_	0	0	32	90	† –	<u> </u>	1	_	1	4	1	_	0	_	_	0	0	32	90	_	_	1 -	- 1	1		人はりと区画	
	H	15 ①	_	+ -	- +	0	_	0	0	58 200	200	=	+=	3 12	_	3 12	12	2	=	=	0		0	0	58 200	200	_		-			2 8	大ばり9区画	
		46 ①	 =		- +	0	=	=	0	214	214	+=	ΙĒ	12	=	12	12	1	_	=	0	=		0	214	214			- -			8	大ばり6区画	
		47 ①	0		-	_	_	_	0	60	60		_	1	_	1	1	1	0	_	_	_	_	0	60	60			2 -	- 4	2	-	大ばり2区画	1.#m
1F	- 1,	19 ②	$\vdash =$	_	-	<u> </u>		I ≡	0	19 19	61	H=	+=	_		1	2	(1)		0	0			0	19 19	61	=+	= + :		+=		1	煙感知器はR-7-49②	と兼用
"		3	=		-	0	=	=	Ö	23	1 "	=	=	1	=	1	-	3		_	0		=	Ö	23	٠,	=	= =	_ _		_	1		
		50 (Î)	0		-	_	_	_	_	9	9	_	_	1	_	1	1	1		_	_	_	_	_	9	9	_	_	1 -		- 1	_		
		51	0	_	-	_	_	<u> </u>	_	19	34		_	1	_	1	2	1	0	_	_	_	_	_	19	34	-	_	1 -		2			
	- 1-	52 ①	 -	-	_	0	=	0	+=	15 95	95	+=	⊢=	2	-	2	2	(1)		0	0	=	_	=	15 95	95	=	= + .	1 -	1 -	_	5	大ばり2区画	
	Ē	53 ①	0	-	- 1		_	Ĭ	_	7	7	_	_	1	_	1	1	1	0	_	-	_)	_	7	7	_	_	1 -	- 1	1	<u> </u>	711017====	
	_ <u>[</u>	54 ①	0	_	-	_	_	_	_	16.1	16.1		_	1	_	1	1	1	0	_	_	_	_	_		16.1	_		1 -		1	_		
M2F		55 (1)	0	-	-+	0	-	+=	+=-	24 41.5	65.5	-	+=	1		1	1	1	- 0	=	0		=	=	24 41.5	65.5	=+		- -			2	極感知器はR-7-55①	- 本田
WIZI	- 1	56 (T)	_				_	+ =	_	13	13	+=		_	_	+=	_	(1)	_	0	_		_	_	13	13	=					+ = -	煙感知器、熱感知器(
		57 ①	_)	_	_	_	_	13	13	_	_	_	_	_	_	1	_	0	_	_	_	_	13	13	_				_	_	煙感知器、熱感知器は	tR-7-55と兼用
		58 ①	_		-	0	_	+=	0	66.4	66.4	+=	- -	2	_	2	2	1	- 0	=	0	=		0	66.4	66.4 8	=+	= -	 1 -			2		
		50 (T)	0		- +		=	+=		27.8			+=	1	=	1	1	ı Ü	0	=	=	=	=	=	27.8		=		 					
R-		31 ①	Ö	_	-	_	_	_	_	22	22	_	-	1	_	1	1	Ũ	Ö	_	_	_	_	_	22	22	- 1		i –		1	_		
1F		62 ① 63 ①	=	9		_	=	_ =		15.8	15.8	+=	$\vdash =$	2	=	2	2	1		0	=			_	15.8	15.8	=	= -	2 -	- 2				
		63 (1) 65 (1)	0		_			+=	+=-	8.6 16.2	8.6 16.2	+=		1	$\vdash =$	1	1	(1)	-	0	+=-		=	=	8.6 16.2	8.6 16.2			 			+ =	1	
		66 ①	ő		-	_	_	_	_	36	36	_	-	1	_	1	1	1	Ö	_	_	_	_	-	36	36	_		1 -					
		67 ①	0			_	_	_	_	16	16	_	_	1	_	1	1	1	0	_	_	_	_	_	16	16	-		1 -		1			
		88	=				=	-	-	64.3 98.1	162.4		 =	2	=	2	3	(1)		0	_			=	64.3 98.1	162.4	=		2 -		5	==		
階段	1	69 ①	=		-	=	=	=	_	12.1	12.1	+=		2	=	2	2	1	=	_	=	=	_	_	12.1	12.1	_		3 -		_			
		73 ①	0		-	_	_	_	_	24.2	24.2	_		1	_	- 1	1	1	0	_	_	_	_	_	24.2	24.2	_	_	1 -		1	_		
		74 ①	+=	_			_	+=	-	35.6 19	35.6 19	=	+=	1 1	_	1	1	1	=	0	=	=	=	_	35.6 19	35.6	=	= -	2 –		_	+ =	-	
	H	70 ①	+=		5	=	$+\equiv$	+=	0	19		+=	ΗĒ	+	-	1		(f)	$\vdash \equiv $	0	+=-	=		0	19		=	=+	 	- 1	_	+ = -		
	L	76 2	-		5	_	_	_	0	42	61	_		2	_	2	3	2	-	0	_	_	_	Ö	42	61	-		2 -				大ばり3区画	
	Ę	77 ①	0		-	_	=	=	=	19.5	19.5	+=	$\vdash =$	1 2	=	1	1	1	0	_	_	_		_	19.5	19.5	_		1 -		1			
1F	F	/8 (I)	0		-		=	+=	-	13.3	13.3	+=	ΗΞ	1	-	2	2	(I)	-	0	=	=		=	13.3	13.3	=		2 -		2	+ =		
	- [:	79 2	ΙĔ)	_	-	T -	T -	12	33	_	Ι-	i	l –	1	2	2	Ĕ	0	T -		_	_	12	33	- 1		i -	· i	2	_		
	Г	1	_	-	-	_	0	_	_	5.2		_	-	1	_	- 1		1	_	_	_	0	_	_	5.2		_	-	- -	- -		1		
	- 1.	30 (3)	0	-	_		0	-	_	21	0.7	H=	+=	1	_	1	5	2	0	=	=	_	=	=	21	٠, ١	=		1 -		2			
	- 1	(4))		-	+ =	+ = -	34 11.5	87		+=	1	-	1	5	(3) (4)		0	=	0			34 11.5	87	=+	= + '			2	- Z		
	L	5	_		-	0	_	_	_	15.3	1	_	† –	i	_	1		5	_	_	0	_	_	-	15.3		_	_ .				1		
M2F	П	32 ①	_	-	-	0	_	0	0	43	100	=	-	2		2	- 5	1		_	0	_	0	0	43	100	$=$ \top	- [- -	- T =	3	1		
		(2)	I —	1 ()	_	_	0	0	57	1		_	3	_	3		2		0	_	_	U	0	57		_		3 –	- 3		_		

- YE	防法に	こ年拠	した火	火 燃知者	品の配置を	示した-	一見衣(刈家: 旧	奶伝施	11 規則	第43	3 宋 弗	4-貝(二)	ダヨ する)火火点	恐川希	f)【/b	十炉建	「座」													
\								煙感	知 器														熱感	知 器							炎感知器	備考
11							消	防法	施行	規則												消 民	方法加	拖 行 規	見則						消防法施行規則	E. BIN
$ \setminus $		型 上: ◆:	建又は取付 の個数を、 第23条第4 感知器は、II	火災に有効 1項 七 ホ 躯下、通路、	m以上突出した 感知するよう設! 階段及び傾斜器 するように設ける	ける。 路を除く感知											壁又 き1個 取付 4m2 4m2	以上の個数 面高さ 未満 以上~8m ⁵	nら0.4m以 なを、火災に 未満	以上突出した 有効感知す 床面積 70㎡ 35㎡(るよう設ける : (特種) 特種)	· .		とに、感知器	の種別に	及び取付面の	高さに応じて	次の表で定	どめる床面	積につ	消防法施行規則 に準拠して感知器 を設置する。 *炎感知器に設 置数が記載されて いる同じ	
'		耳 4 4	取付面高さ 1m未満 1m以上〜2 *複数区画	20m未満 のはり高さ!	床面利 150m 75㎡ こ○のないもの!	責 ㎡ は、はり高さ		する。									◆日本 はり ³ ことが	、火災報知特の深さができる。	機工業会 0.4以上1	自動火災報 m未満で火	印設備工事 災区域が連	基準書 続する場合	、隣接する			を含め15㎡					に設置数が記載されている煙感知器 又は熱感知器が, 炎感知器と組合せ て設置する感知器	
		fa 見7 耳	日本火災戦 まり等の深る なすことが 取付面高さ 1m以上~8	さが0.6ml できる。	き 自動火災報知 以上1m未満でが 床面積 60㎡	火災区域が 	基準書 連続する場	合、取付面	高さに応じ	た範囲の隊	韓接する感	知区域?	生当該部分	かを含めて1	つの感知	区域と	の感知 ◆日本 細長	区域とする 火災報知 い居室等の	ることができ 機工業会 0場合	る。 自動火災報知	12設備工事	基準書				【画が1つ隣担ける 13mにつき1			部分を含む		である。なお、一部 について他の部と組 音号の感知器と組 合せる場合があり、その場合の組 合せる感知器は備	
	'	0!	小区画が隣 感知区域と	接している ^は することが ^っ	場合、はり等の深 できる。	深さが0.6r	m以上1m君	未満で区画さ	*れた10㎡	以下の小国	区画が1つ)隣接して	ている場合	は、当該音	分を含め	て1つ				行規則につい				0-8110(2	P I J PL PIL		m ∞ ± m. /	•			考欄に記載した感 知器となる。	
		る。	感知器は、M 。	部下及び通	(通路、階段及 路にあっては歩	行距離30n	mにつき1値		なを、階段及	び傾斜路	にあってに	は垂直距	離15m/こ	つき1個以	上の個数	を設け																
-		_	記に記載の		施行規則につい	いても準拠し	1					ı																_				
- 火	災区に	感区	知 域 (~4r		高 さ m) (8~15m)	(15~20m)	-	の高さ (0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <75㎡	総面積 (1+1) +10㎡	総面積 (1+n) <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	高 (4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	はり等 (0.4m>)	(0.4m <x< td=""><td></td><td>総面積 <35㎡</td><td>総面積 総面 (1+1) (1+r +5㎡ <15i</td><td>) 消防法</td><td>減数設置 適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>		総面積 <35㎡	総面積 総面 (1+1) (1+r +5㎡ <15i) 消防法	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
	H	5 (D O	_	_	_	0	O (Im)	84.5	84.5	-	_	6	_	6	6	1	0	-	-	_	0	<1m)	84.5	84.5	_ _	6	_	6	6	_	
		6 (1 0		=	=	- 0	- 0	21.3 76	21.3	\vdash	=	2	=	2	2	1	0	=	=	=	- 0	-	21.3 76	21.3 76		2	=	2	2	==	
		10 (Ď Ö	_		_	Ö	Ö	164.4	164.4	_	_	4	_	4	4	Ũ	Ö	_	_	_	Ö	Ö	164.4	164.4	_ _	4	_	4	4	=	
		11 (0		=	0	0	143	143	-	=	8		8	8	1	-	0	=		0	0	143	143 31		8	=	8	8		大ばり8区画
		13 (~			_	-	_	18.7	18.7			1	_	1	1	1	Ö	_	_	_	_	_	18.7	18.7		i	_	1	1	_	
		14 (1) -			=	-	_	22 66	22 66	+=	=	3	=	2	2	①	_	0	=	=		_	22 66	22 66		3	 -	2	2		大ばり2区画
M2F	R-8-	16 (D O		_	_	_	_	5.8	5.8	_	_	1	_	1	1	1	Ö	_	_	_	_		5.8	5.8	_ _		_	1	1	-	
		17 (1) —			=	=	=	19.2 66	19.2 66	+=	=	-	-	<u> </u>	<u> </u>	1	- 0	0	-=-	=	=	=	19.2 66	19.2 66	=+=	<u> </u>	 =	<u> </u>	1	2	煙感知器はR-9-25①と兼用
		20 (0	_	_	=	_	34	34	=	=	i	=	1	1	1	_	0	_	_	=	_	34	34		2	=	2	2	_	
		21 (1 -	0	_	_	_	_	5.1	5.1	=	_	1	_	1	1 2	1	_	0	_	_	_	_	5.1	5.1		1	_	1	1	_	
		24 (=	+=	0	7.4 64	7.4 64	+=	=	2	=	2	2	① ①	0	<u> </u>	=	=	=	0	7.4 64	7.4 64	= =	2	-	2	2		
		25 (_	_	0	_	266	266	1-	_	3	_	3	3	1	0	_	_	_	0	_	266	266	_ _	5	_	5	5		
-	1	26 (① O	+=	- 0		=	0	63.6 295	63.6	+=	_	2 8	_	2	2	1	0	=	0			0	63.6 295	63.6		2	 =	2	2		大ばり4区画
		1 0	ž –	_	Ö	_	_	Ö	391	734	_	_	14	_	14	24	2	-	-	0	_	ı	0	391	734		_	_	-	2	17	7(10,7 (Em)
		1 6		0			+=	0	33 15	704	-	_	1		1 1	2.7	3 4	0	0	=			0	33 15	704		1		1		==	
		5 (9 0		0	=	+=-	_	19	19	+=	=	2		2	2	1		=	0				19	19	= =	+ -	+=	+-	_	1	大ばり2区画
		8 (D -			_	_	0	38.8	38.8		_	4	_	4	4	1		_	0	_	_	0	38.8	38.8				<u> </u>	_	2	Liture
		14 (D -		0			0	50 15	50 15	-	=	1		4	4	①		=	0			0	50 15	50 15		1	+ =	1	1	2	大ばり4区画
2F		15 (D O			_	-	_	15	15	_	_	1	_	1	1	Ũ	Ö	_	_	_	_	_	15	15		1		1	1	_	
		16	1 -	_	0	=	0	=	17 73	90	$\vdash =$	=	1 3	-	1 3	4	① ②	=	-	0		0	=	17 73	90	= +=		 =		4	1	
			<u> </u>	0	-	_	ő	0	17		-	_	-	-	Ť		1	_	Ö	-	_	Ö	0	17		- -	1	t -	1		_	煙感知器はR-9-19②と兼用
1	1	19 🧯	2 -	Ŧ	0	_	0	0	622	694	_	_	14		14	16	2	_	_	0		0	0	622	694		_		-	4	13	大ばり7区画 大ばり2区画・中ばり3区画
	l	20	<u> </u>	0		=	<u> </u>	0	55 33	33	-	=	2	_	2	2	(3) (1)		0	=		0	0	55 33	33	= =	2	+=-	2	2		大ばり2区画・中はり3区画
<u></u>	R-9-		Ď –		0	_	0	Ö	557		_	_	28	-	28		1	_	_	0	_	0	Ö	557		_ _	T-	–	<u> </u>		17	大ばり12区画
M2F		(2	2 O				0	0	107 331	1	=	=			-		2	0		-		0	0	107 331			12		12			大ばり4区画 煙感知器はR-9-22①と兼用 大ばり12区画
WIZE	1	100		0		=	0	0	331 40	1405 -	=	=	1	=	1		(3) (4)		0	=	=	0	0	40		= =	12		2	0.5	=	八はケートと位置
2F	1	22	5 –	O	_	_	Ö	0	21.6	1165.6	_	-	2	_	2	36	(5)	_	Ö	_	_	0	Ö	21.6	1165.6		2	_	2	25	_	
_	-		6 –	0		=	0	0	58.3 35.7	+	=	=	1 —	-	1		(F)	=	0	=		0	0	58.3 35.7	}	= +=	2	 =	2	-		煙感知器はR-9-22①と兼用
M2F]		8 0		_		0	0	15	<u>t</u>	๒	_	1	=	1		8	0	_	=	_	00	00	15			1	=	1		_	PER
	1	23 (· .	0	_	_	=	_	12.3	12.3	_	_	1	_	1	1	1	_	0	_	_	_	_	12.3	12.3		1	_	1	1	_	
		24 (1 -	0		=	=	-	7.8 25	7.8	-	=	1	$\vdash =$	1	1	1		0	-	=		=	7.8 25	7.8		1	 =	1	1	- = -	
2F	1	25	2 0		_		=	=	5	30		_	1	=	1	2	2	0	_	=	_			5	30		1	=	1	2	_	
		26		0		_	_	_	20.8	23.6	_	=	1		1	1	1	- 0	0	_				20.8	23.6				1	1	_	無動作品 数或作品(+D 0 0c) F = B
	1	27 (<i>a</i> 0	0		=	0	0	2.8 67	67	 	_	2	=	2	2	(2)		0	=	=	0	0	2.8 67	67	= =		 =	4	4	+=-	煙感知器、熱感知器はR-9-26①と兼用 大ばり3区画
	•										•																_					

Λ				, 100 ep (200)	- маша	-,-07-	9E3C (V1 20C · 111	1190 124711	行規則	372	07621	1 X(1-1)	~ — / •	,, ,,,,,,	C() (ii)	1.) 1 1/1	1777	/土』													
								煙感	知 器	ļ.													熱感	知 器							炎感知器	備考
1\							消	防法	施行	規則												消化	方 法 旅	五行	則						消防法施行規則	UHI -75
		壁の 第55 整の 第55 数取収 4nn 4n)個数を 第4年 (14年) 日本 (14年	から、Gmlm から、Gmlm がに に で で で で で で で の の の の の の の の の の の の の	以上突出した 以上交出した 段及び「競技」 保証 ののないも、 ののないも、 ののないも、 ののないも、 ののないも、 ののないも、 ののが、 のが、	ける。 路を除く態思 ある責化。 は知火災には明本域が は、は明本域が は、はのでは、は、は明本域が は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	田区域ごとに さ1m以上と 基準書 「連続する場	こ、感知器の する。 計合、取付面 未満で区面さ	種別及び耳 高さに応じ	た範囲の隊は以下の小「	高さに応 韓接する原 区画が1・	感知区域: で隣接し	表で定めるを当該部分でいる場合	6床面積に を含めて1 は、当該音	つき1個以 つの感知 3分を含め	以上の個ロ区域と	壁1取44* 日はと 小感 日細短 と 1の ◆細短	以面為 と	No. 4 m以に No. 2 miles (No.	ル上突感を回した。 大力効 医面質 () () () () () () () () () (あよう設ける 特種) 特種() ま、はり高さま、 はり高さ 事 まとが O. 4 m 記さが O. 4 m 記さ 備 工 事 ま ままままままままままままままままままままままままままままままままま	5。 1m以上とで 基準書 続する場合 n以上1m未 基準書 型感知器(特	する。 、隣接する原 き満で区画さ ・	感知区域を記れた5 ㎡以	亥当部分 下の小	}を含め15 区画が1つ原	n゚以内であ 精接している	れば1つの ^履 場合は、当	Ķ 知器区域	と見なす	が開発しています。	
		//	11-81# O+	-1 x 286 PH-2+ Mc	(年月別) この	1 \ + +#+h11	ア酸物型を	t sn.ma. + z																								
火	災 区 画	_	いっぱりん		行規則につい	いくも学拠し		で設直する。		40	総面積	総面積	wie m* · ·						高	ŧ		はり等	の高さ		w	総面積 総	面積、水の					
階	部屋番	- 感知	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	1	(0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>総面積 <75㎡</td><td>(1+1) +10m²</td><td>(1+n)</td><td>消防法 設置数</td><td>減数設置適用</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>感知 区域</td><td>(~4m)</td><td>(4~8m)</td><td>(8∼15m)</td><td>(15~20m)</td><td>(0.4m>)</td><td>(0.4m<x <1m)</x </td><td></td><td>総面積 <35㎡</td><td>(1+1) (</td><td>#n) 5m 設置</td><td></td><td></td><td>合計</td><td>合計</td><td></td></x<>	小区画 面積	総面積 <75㎡	(1+1) +10m²	(1+n)	消防法 設置数	減数設置適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 		総面積 <35㎡	(1+1) (#n) 5m 設置			合計	合計	
		1	-	_	0	-	0	0	139		-	-	3	-	3		1	_	_	0	_	0	0	139		-	- -	-			4	大ばり3区画
		28 ③		0	=	=	<u> </u>	0	33 9.2	306.8	=		1	П	1	8	3	- 0	0	_		0	0		306.8		- 1 - 1		1	9		
'		4	- 0	0	_	_	=	=	16.8 108.8		=	=	1 2		1 2		4	- 0	0	_	_	_	_	16.8			— 1 — 6		1		=	
2F		29 ①	_	0	_	_	0	0	149	149	_	_	7	_	7	7	1	_	0	_	_	_	_	149	149	- 1	- 7	_	7	7	=	大ばり7区画
1 2, 1		30 ①	+ =	0	+=	=	0	0	28 28	28 28	+=		2		2	2	1		0	=	=	0	0	28 28	28		- 2 - 1		2	2	=	大ばり2区画
'		34) <u> </u>	Ö	_	_	0	0	183	280	-	_	9	-	9	9	1	_	Ö	_	_	0	0	183	280		- 1	_	15	15		大ばり9区画 煙感知器、熱感知器はR-9-34①と兼用
'		35 ①		0	=	=	_	0	97 6.4	6.4	=	=	1		1	1	1	0	0	_		0	<u> </u>	97 6.4	6.4			 	1	1	=	煌感知器、熱感知器はR-9-34()と兼用
M2F		36	=	_	0		=	0	24.9 40	64.9	-	=	1		1	1	1			0	-		0	24.9 40	64.9					2	1	煙成知器はR-9-36①と兼用
WIZE		37 ①	_	ő	_	_	_	Ö	15	15	_	_	_	_	┢═	_	1	_	Ö	_	-	_	Ö	15	15	-	_ -	_		_	=	煙感知器、熱感知器はR-9-36と兼用
'		38 ① 39 ①	+ =	0	0		-	0	19 50	19 50	+=		2	=	2	2	① ①	=	0	0			0	19 50	19 50		= +=		+=	=	2	煙感知器、熱感知器はR-9-36と兼用 大ばり2区画
'	R-9-	40 ①	_	0	_	_	_	0	20 14	34	-	-	=	=	<u> </u>	_	1	=	0	- 0	=	-	0	20	34		- 1	=	1	2	5	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置 煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
'	K-9-	44 ①	=	0	-	=	0	-	25	38	臣		_	_	=		1	_	0	_	_	0	_	25	38		_ I		2	3	4	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
'		11 2	=	-	0		0	+=-	13 22		=	=	=		Η=		(1)		- 0	0		0	_	13 22			- 1 - 1		1	-	2 5	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置 煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
'		45 2	_	_	0	_	_	_	21	43	_	_	-	_	-	_	2	_	-	0	_	-	_	21	43	-	- i	_	1	2	3	煙感知器設置不可の為、熱感知器を設置
2F		47 ①	<u> </u>	0	_	_	0	- 0	70 160	70	=	=	9	-	9	1	1	-	00		-	0	0	70 160	70		- 3 - 9		9	3	 	大ばり10区画
2F		55 ②	0	=	_	_	0	0	79.4 35.6	275	=	=	4		4	13	2	0	_	_	_	0	0	79.4 35.6	275		- 4 - 2		4 2	15	_	中ばり3区画 煙感知器はR-9-55①と兼用
'		59 ①		0	_	_	Ö	-	62	62	_	_	1	_	1	1	1	_	0	_	_	Ö	_	62	62		— 3		3	3	=	
'		61 2	0	0		=	=	=	9.3 23	32.3	=	=	1		1	1	① ②	- 0	0				=	9.3	32.3		<u> </u>		1	1	=	煙感知器、熱感知器はR-9-35①と兼用
'		62 ①	_	0	_	_	=	_	9.3	32.3	=	Ι=	-	=	-	1	1	- 0	0	_			=	9.3	32.3				-	1	_	煙感知器、熱感知器はR-9-35①と兼用
'		63 ①		+ =	0		=	0	50	50	+=		1	=	1	1	1	_	_	0	_	_	0	50	50	= +	=	-	<u> </u>	_	2	
'		64 ②	- 0	0	_	=	0	0	165 41	293	=	+=	9		9	9	2	- 0	0	=	_	0	0	165 41	293		— 1: — —		13	13		大ばり9画 煙感知器、熱感知器はR-9-64①と兼用
		3	Ö	_	_	_	Ö	Ö	87		_	_	_	_	<u> </u>		3	0	_	_	_	Ö	Ö	87		_	_ -			1.7	_	煙感知器、熱感知器はR-9-64①と兼用
1		2 1	-		0	=	0	0	151.5 33.6	185.1	=		7	=	7	8	2	=	0	0	=	0	0	151.5 33.6	185.1		<u> </u>		7	7	==	熱感知器はR-10-2①と兼用
M3F	R-10-	3 ①		0	_	=	=	0	109	109	⊨		3	=	3	3	1	- 0	0	=			0	109 14.8	109	_	- 4 - 2		4	4		
		9 ①	_	_	0	_	_	_	37	37	_	_	1	_	1	1	1	_	_	0	_		_	37	37	- 1	- 2		2	2	===	
1 '		1 ①) <u> </u>	0	=	0	-	=	1952 84.5	1952 84.5	+=	_	36 2	=	36 2	36 2	1	=	0	=	<u> </u>	=	=		1952 84.5	_	 - 3	-	3	3	31	
3F	R-11-	3 1	0	- 0	_	=	=	=	49.2	69.2	E	ΙΞ	2	=	2	3	1	0	- 0	_	=	_	_	40.2	69.2	-	- 2 - 1	_	2	3		
or I	14-11-2	4 ①			=	=	=	=	17.9	17.9	ΙΞ	_	1		1	1	1	0	_	=	_		=	17.9	17.9	-	- 1			1	<u> </u>	
'		6 ① 8 ①		0	+ =	_	_	+=-	13.2 26.2	13.2 26.2	+=		1		1	1	1		0	=			=	13.2 26.2	13.2		- 1 - 1	+=	1	1	=	
		1 1		0	=	=	=	=	71.1	71.1	\vdash	=	1	=	1	1	1	=	00	_	=			71.1	71.1	_	- 3 - 1		3	3	=	
1 ,				U	_		_	_		19.6	-	_	1	=	1	1	①	0	_	=	=	=	=		19.6		= + +			_	 	
M4F	R-12-	3 ①			_	_	=	=	19.6 17.4		+=	_	1		1	1					=	=	_		17.4		- 1			1		

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【原子炉建屋】

\								3=++0	煙 感	知 器				7 10					- //					熱感	知 器							炎感知器		
- \								286	防法														alk Pi	<u></u>		ta ai						消防法施行規則	備	考
			壁又	3条第4項 は取付面か 数を、火災	60.6m以				<u>い 法</u> れた部分ごと			び取付け	面の高さ	に応じて気	感知器床面	積につき	1個以	壁又はき1個以	上の個数	ら0. 4m以	有効感知す	るよう設ける	って区画され				及び取付面の高	さに応じて	次の表で定	どめる床面	積につ	消防法施行規則		
			感を 取取 4m表 4m表 4m表 4m表 4mよな付 1になな付	火災を有効/ 火災を有効/ 高さ 以上~20m 以上~20m 以上~20m 以数 区 一 収 の で で で き こ さ さ さ さ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	通路、階段 に感知するよ 未満 り高さに〇の 工業会 自 . 6m以上1	で に 設 に お も で で で い も の な い も の な い も の が が の な い も の が の な い も の が が が が が が が が が が が が が	。 は、はり高さ ロ設備工事書 く災区域が近	1m以上と	ご、感知器の利 する。 合、取付面高								区域と	* 複数 ◆日よりで はとがで 小感知 ◆日本等で ・小感知 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	満上~8mま 上~8mま 女区観知は 火災深さが。 一部域とする 一部域とする 火災報もない。 大災ないできる。 一部域とする 大災ないる。	明高さに〇 農工業会 E D. 4以上1r ている場合 ことができる 農工業会 E	自動火災報知 ・ ・ ・ はり等の認	特種) 特種) は、はり高さ 可設備工事基 災区域が連続 RさがO.4m	続する場合。 n以上1m未	隣接する			を含め15㎡以 3. 国が1つ隣接				かて1つ	について他の部屋 番号の感知器と組 合せる場合があ		
		\ I	小区i の感知 ◇第2: 感知 る。	1区域とする 3条第4項 器は、廊下)	ている場合、 ことができる 七 へ (通) なび通路にあ	。 路、階段及で あっては歩行	び傾斜路) 7距離30m	につき1個	未満で区画さ 以上の個数									短辺が		の細長い居			・ 辺感知器(特 ・で感知器を		る場合は、	歩行距離	13mにつき1¶	以上設け	ა			り、その場合の組 合せる感知器は備 考欄に記載した感 知器となる。		
-	災区	画	上記し	記載のない		規則につい	くも半拠し		で設直する。		総面積	総面積	総面積	nde mån nån	V-P-1014 (FIT) (FIR)			St An		高	ż		はり等	の高さ		総面積	総面積 総面和		>+ su = nn . mm					
階	部周	番号	区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積	総国領 <75㎡	(1+1) +10m²	(1+n) <60m²	洞防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 _ 区域	(∼4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	小区画 面積	総回根 <35㎡	(1+1) (1+n) +5m² (15m	消防法設置数	減数設置適用	設置数	合 計	合計		
			1	-	0	-	_	_	_	9.4	9.4		-	1		1			_	0		_		_	9.4	9.4		1		1		_		
		6	(2)	_	-	=+	0		=	6.7 25.8	6.7 25.8	-		2		2	,	-+	_	_	=	0	_		6.7 25.8	6.7 25.8	= + =	3	 =	3	0	=		
		0	(4)	=	-	=	=		=	25.8 5.0	5.0	=	=	2	=	2	′	-+	=	_	=	0			25.8 5.0	5.0	= =	3	+=	3	9			
			(5)	Ο	_	_	_		_	33.6	33.6	_	_	1	_	1	ŀ		0		_		_	_	33.6	33.6		1	_	1		_		
			1	_	0	-	_	_	_	5.9	5.9	_	-	1	_	1			_	0	_	_	_	_	5.9	5.9	_ _	1	_	1		_		
1			2	_	-	-	0	_	_	4.2	4.2	-	- 1	2	-	2			_	-	_	0	_	_	4.2	4.2		3	_	3		_		
		7	3	_	0	_	_	_	_	25.8	25.8	_	_	1	_	1	8		_	0	_	_	_	_	25.8	25.8		1	_	1	10	_		
トレン	≠ Y-1	- I ′ I	4	_		-		_		3.2	3.2			2	_	2	ŭ			_	_	0	_	_	3.2	3.2		3		3	.0	_		
1,00	Ί''		5	0		_				5.9	5.9			1		1			0		_				5.9	5.9		1		1		_		
		\vdash	6	0		=	=			11.6	11.6 144.0			1		1 2		-+	0			=			11.6 144.0	11.6 144.0	= =	1 1	-	1			何見い日南佐ナ宮田	
			0	0	_				=	144.0 20.4	20.4	-		2		2		-+	0	_	=	=			20.4	20.4	= + =	1	+ =	5 1			細長い居室等を適用	
- 1			(3)	=		=	0		= 1	8.1	8.1	+=+	=+	2	=	2		-	=	_	=	0	=		8.1	8.1	= =	3	+=-	3				
			(9)									_	= 1	1		1	13	-	=	0	=		=		25.8	25.8		1	+=	1	21			
		8	(A)	_	0	_		_																										
		8	(4) (5)	=	0	=	=		=	25.8 13.4	25.8 13.4	=	= +	2	_	2			_		_	Ω				13.4		3	+=	3	21	=		
		8			0	_					25.8 13.4 175.8		$\overline{}$	2	=	2			_)		0			13.4			3 7		3	21	_	細長い居室等を適用	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【タービン建屋】

\								煙感	知 器												熱	感 知	器							炎感知器	信	老	,
- 11							消防	法施	行	規則											消防	法 施 彳	規則	!						消防法施行規則	UP		,
		壁区	23条第4項 スは取付面 上の個数を	から0.6	m以上突出し 有効感知する	したはり等による よう設ける。	って区画され	れた部分ごと	とに、感知	器の種類	別及び取付の	ナ面の高さに原	じて感知器	保床面積に	つき1	壁又つき1	23条第4項 な取付面が 個以上の個 †面高さ		上突出した に有効感知で 床面積	はり等によっ するよう設け	て区画された る。	部分ごとに、	感知器の科	重別及びI	取付面の	高さに応じ	て次の表で	定める床	面積に	消防法施行規則に 準拠して感知器を 設置する。			
$ \ $		感知の個		下、通路、	感知するよう	斜路を除く感知 に設ける。 面積	区域ごとに	、感知器の	種別及び	取付ける	面の高さに応	じて次の表で	定める床面	積につき	1個以上		以上~8mā		70㎡(35㎡(のないものに	持種)	1m以上とする	0								* 炎感知器に設置 数が記載されてい る同じ部屋番号に 設置数が記載され			
'	\	4m 4m	4m未満 150㎡ 4m以上~20m未満 75㎡ *複数区画のはり高さにつのないものは、はり高さ1m以上とする。 ・日本火災報知機工業会 自動火災報知設備工事基準書														本火災報知相 等の深さが(:ができる。	機工業会 自 0.4以上1m	国動火災報知 n未満で火災	1設備工事基	基準書 売する場合、隣	接する感知	区域を該当	部分を含	්.හ් 15 m ² .	以内であれ	ば1つの感	知器区域		ている煙感知器又 は熱感知器が、炎 感知器と組合せて 設置する感知器で			
		はり域と見	等の深され	50.6ml	以上1m未満	で火災区域が		合、取付面	高さに応い	た範囲	の隣接する	感知区域を当	該部分を含	めて1つの)感知区	つの愿	感知区域とす		きる。		以上1m未満	で区画された	:5㎡以下 <i>0</i>)小区画	が1つ隣接	妾している 増	場合は、当語	亥部分を含		ある。なお、一部に ついて他の部屋番 号の感知器と組合 せる場合があり、			
		4m	4m以上~8m未満 60m 細野 4m以上~8m未満 60m 小区画が隣接している場合、はり等の深さが0.6m以上1m未満で区画された10m以下の小区画が1つ隣接している場合は、当該部分を含めて														い居室等の ロが3m未満)場合 の細長い居	室等に定温	式スポット型	感知器(特殊		合は、歩行	距離13n	nにつき1	個以上設備	ける。			その場合の組合せる感知器は備考欄に記載した感知器となる。			
	1	◇第: 感失	◇第23条第4項 七 へ (通路、階段及び傾斜路) 感知器は、第下及び通路にあっては歩行距離30mにつき1個以上の個数を、階段及び傾斜路にあっては垂直距離15mにつき1個以上の個数を														○記載のない	*用防 法爬行	丁規則につい	、くも华拠し	て感知器を設	直 9 る。								C140.			
	\	感知器は、廊下及び通路にあっては歩行距離30mにつき1個以上の個数を、階段及び傾斜路にあっては垂直距離15mにつき1個以上の個数を設ける。																															
	,	上記	に記載のな	い消防法	施行規則に	ついても準拠し	て感知器を	·設置する。																									
火災	泛区画	感知		i	高 さ		はり等	の高さ	小区画	総面積	総面積 総	面積 消防法	減数設置	設置数	스 타	感知		亩	ŧ		はり等の記	小[医画 総面和	総面積(1+1)	総面積(14m)	消防法	減数設置	設置数	스 타	승計		_	
階	部屋番号	区域	(∼4m)	(4~8	m) (8~15i	m) (15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	<75m²	(1+1) (1 +10m <6	+n) 0m 設置数	適用	改直数	n at	区域	(∼4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)		<1m)	積 <35m	1 +5m	(1+n) <15 m	設置数	適用	改直数	n iT	TäT			
MB1F B2F	T-1- 27	1	- 0	=			_	0	61.6 15.2	76.8		- 2 - 1	=	2	3	1	_	_	0	_	_	O 61	.6 76.8		-	_	_	_	- 1	7			
B1F	\vdash	(1)	0	+=	_				15.2 59.2		-	- 1 3		3		1	0	_		=			1.2	+=	+=	3		3					
	T-3-13	2		0		_	_	_	97.6	254.4		- 2	_	2	7	2	_	0	_		_	_ 97			=	3	_	3	9	_			
MB1F		3	_	0		_	_	_	97.6		-	- 2	_	2		3	_	Ö	_	_	_	— 97		_	_	3	_	3		_			

							煙 感	知 製	Ę.												熱感	知 器							炎感知器	
1\			壁又は取付面から0.6m以上突出したはり等によって区面された部分ごとに、感知器の種別及び取付け面の高さに応じ 即以上の個数を、火災に有効感知するよう設ける。 第23条第4項 七 ホ 第20条第4項 と ホ の個数を、火災を有効に感知するように設ける。 取付面高さ、火災を有効に感知するように設ける。 取付面高さ 本面積 4m未満 150㎡ 4m以上~20m未満 75㎡ * 複数区面のはり高さにつのないものは、はり高さ1m以上とする。																	消 Rts		行 規	BII						消防法施行規則	備考
		壁又 個以.	 ◇第23条第4項 三 ロ 世紀は、												壁 ス つき 1 取付	には取付配	項 三 ロ 面から0.4m以 D個数を、火災	以上突出した に有効感知で 床面積 70㎡(するよう設け	って区画され				び取付面の	高さに応じ	て次の表で	定める床	面積に	消防法施行規則に 準拠して感知器を 設置する。 *炎感知器に設置	
$ \ $		の個質取り	数を、火災を 寸面高さ	、通路、階段 有効に感知	コするように設ける。 床面積	知区域ごと	に、感知器の	種別及で	び取付け	面の高さ	に応じて	次の表で定める床面	積につき	1個以.	* 1		m未満 かはり高さに○ 知機工業会 [は、はり高さ		する。								数が記載されている同じ部屋番号に設置数が記載されている煙感知器又	
'	\	4m * 社	以上〜20㎡ 复数区画のは	り高さに〇	75㎡ のないものは、はり高		≐する。								すこと	等の深さ :ができる	:が0. 4以上1i '。	m未満で火災	(区域が連	続する場合									は熱感知器が,炎 感知器と組合せて 設置する感知器で	
		はり 域と 取り)等の深さが(見なすことが 寸面高さ). 6m以上 できる。	.1m未満で火災区域: 床面積	₱叁年書 が連続する場	場合、取付面	高さに応	じた範囲	の隣接す	する感知は	区域を当該部分を含	めて1つ(の感知[区 つの! ◆日:	感知区域。 本火災報	妾している場合 とすることがで 知機工業会 [きる。			満で区凹さ	M MMCS/17k	の小区間	可以 1.70純技	じている場	第古は、当 談	部分を言	300 (1	ついて他の部屋番 号の感知器と組合 せる場合があり、	
		小臣	以上~8mラ 図画が隣接し D感知区域と	ている場合	60㎡ ・、はり等の深さが0. (できる。	8m以上1m:	未満で区画さ	きれた10)㎡以下0	D小区画	が1つ隣打	接している場合は、≌	i該部分	を含めて	短辺		等の場合 ≷満の細長い居 ない消防法施行					る場合は、歩行	丁距離1 :	3mにつき1	個以上設(ける。			その場合の組合せ る感知器は備考欄 に記載した感知器 となる。	
	١	\	23条第4項 回器は、廊下	七へ (ji	通路、階段及び傾斜路 あっては歩行距離30	i))mにつき1個	固以上の個数	女を、階段	殳及び傾 続	斜路にあ	っては垂	直距離15mにつき1	個以上0	の個数を																
		上記	に記載のない	消防法施	行規則についても準拠	心て感知器	を設置する。																							
火災		- 燃知		高	1	+	等の高さ (0.6m <x< td=""><td>小区画 面積</td><td>i 総面積 <75㎡</td><td>総面積 (1+1)</td><td>(1+n)</td><td>消防法 減数設置 設置数 適用</td><td>設置数</td><td>合言</td><td> 感知</td><td></td><td>高</td><td>ŧ</td><td></td><td>はり等</td><td>の高さ (0.4m<x< td=""><td>小区画 総面 面積 <35</td><td> (1+</td><td>1) (1+n)</td><td>消防法設置数</td><td>減数設置</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<></td></x<>	小区画 面積	i 総面積 <75㎡	総面積 (1+1)	(1+n)	消防法 減数設置 設置数 適用	設置数	合言	感知		高	ŧ		はり等	の高さ (0.4m <x< td=""><td>小区画 総面 面積 <35</td><td> (1+</td><td>1) (1+n)</td><td>消防法設置数</td><td>減数設置</td><td>設置数</td><td>合 計</td><td>合計</td><td></td></x<>	小区画 総面 面積 <35	(1+	1) (1+n)	消防法設置数	減数設置	設置数	合 計	合計	
階	部屋番	号	(~4m)	(4~8m)	(8~15m) (15~20r	n) (0.6m>)	(0.01110X (1m)	515.7		+10m²	<60m²	26 —	26		1	(~4m	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(1m)	E1E 7	+51	mî <15mî	25	AE711	25		_	
	Į	1 2	0	_		=	Ö	81.5	397.2	Ξ	=	4 —	4	30	2	0	_	=	_	=	Ö	81.5			4	=	4	29	_	
B2F	ŀ	2 ① 3 ①	-	0	= =	+=	0	105.5 81.1	105.5 81.1	=	=	5 — 1 —	5	5	1	0	0	_	=		0	105.5 105 81.1 81.	.0		5 2	=	5	5		
		4 ①	0	_		_	_	113.7	113.7	_	_	1 -	1	1	(I)	0	_	_	_	_	_	113.7 113			3	_	3	3	_	
	ŀ	5	- 0	0	= =	-	0	387.4 119.4		=	=	24 — 5 —	24 5	29	2	- 0	0	_		=	0	387.4 119.4 506	.8 =	=	24 5	=	24 5	29		
MB2F		6 ①	-	0		_	_	23.9		_	_	2 —	2	2	1	Ĕ	0	_	_	_	-	23.9 23.			2	_	2	2	_	
階段室	C-1-	7 ①	+=	_		+=	+=		17.6		=	3 —	3	3		+=	<u> </u>	_		=	=	17.6 17.			6	_	6	6	_	如 見八見中放大法田
	ŀ	8 (1)	-	0		+=		4.8	26.2	Η=	=	1 —	2	_	1	+=	0					26.2 26. 4.8			1		1			細長い居室等を適用
MB2F	ŀ	9 2	0	_		_	_	5.8	10.6	_	_	1 —	1	2	2	0	_	_	_	_	_	5.8	- 1		1	_	1	2	_	
		10 ①	_	0		=	=		33.1	=	=	3 —	3	3	1	=	0	_		=	_	33.1 33.			3	_	3	3		細長い居室等を適用
B2F	ŀ	11 ①	0	0		+=	+ =	41.7	3.9	=	=	1 -	1	1	1	0	0	_				3.9 3.9 41.7		+=	1 2	=	2	1	- -	細長い居室等を適用
	L	12 2	_	0		_	_	4.4	46.1	_	_	1 -	1	2	2	_	0	_	_	-	_	4.4			1	-	1	3	_	
階段室		13 ①	_			_	_		19.5	_	_	3 —	3	3	1	_	_	_	_	_	_	19.5 19.			5	_	5	5	_	
	-	1 1	+=	0		+=	0	43.3	222.7 43.3	=	=	9 —	9	9	(1)	+=	0	_		=	0	222.7 222 43.3 43.			9	=	9	9	-	
	į	3 ①	_	Ö		_	Ö		727.3	_	_	30 —	30	30	1	_	Ö	_	_	_	Ö	727.3 727			30	_	30	30		
		4 ①	_	0			0		33	_	_	2 —	2	2	1	_	0	_	_	_	0	33 33	_		2		2	2	_	
B1F		5	0	0		+=	0	275.9 75		=	=	14 —	14	17	2	_	0	_			0	275.9 75 350	.9	+=	15	=	15	17		
		. 1	Ö	_		_	Ö	44.6		_	-	2 —	2	3	1	Ö	_	-	_	_	Ö	44.6 89.	, –	- -	2	_	2	3	_	
	C-2-	2	0	_	= =	=	=	44.6		=	_	1 -	1	3	2	0		=	=	-	_	44.6			1	_	1	3	_	
MB1F	ŀ	7 (1) 8 (1)	0	0		+ =	_	70.5 26.3	70.5		_	3 -	3	3	(I)	0	0	_			_	70.5 70. 26.3 26.			3	_	3	3	+ =	
		9 ①	_	ŏ		_	0	19.8	19.8		_	2 —	2	2	Ű	_		_	_	_	0	19.8 19.	8 -		2	_	2	2	_	
B1F	ļ	10 ①	0			+ =		32.7 6	32.7	=	=	3 —	3	3	1	0					_	32.7 32. 6 6			3		3	3		細長い居室等を適用
	ŀ	12 (I) 13 (T)	_	- 0	= =	+=			38.7			1 -	1	1	①	_	0	_			_	38.7 38.			2		2	2	-	細長い居室等を適用
MB1F		15 ①		_		_	_	32.4	32.4	_	_	3 —	3	3	1	0	_	_	_	_	_	32.4 32.	4 -		3	_	3	3	_	細長い居室等を適用
T	丁	1 ①		0	= =	=	=	16.9		=	=	1 —	1 7	1	1	_	0	_		_	=	16.9 16.		_	1	=	1	1		
	ŀ	2 (1)	0	- 0		+ =	0	526.6 70.2		=	=	7 — 3 —	7	10	2	0	0	_			0	526.6 70.2 596	.8		10	_	10	13		
		3 ①	_	0			Ö	81.6	81.6	_	_	8 —	8	8	Ī	_	Ö	_	_	_	ő	81.6 81.			8	_	8	8	_	
1F	[7 ①		0			_		48.8	<u> </u>	_	2 —	2	2	1	_	0		_	_	_	48.8 48.			2		2	2	_	
	ŀ	9 ①	+=	0		+=	=		291.9 32.8		=	13 — 3 —	13	13		-	0	_				291.9 291 32.8 32.	.0		13	=	13	13	-	
		14 ①	<u> </u>	0		_	_	95	95	_	_	1 —	1	1	Ű	_	Ö	_	_	_	_	95 95	i		2	-	2	2	_	
	Į	15 ①	=	0	= =	-	_		18.6		_	1 —	1	1		=	0	=	=		_	18.6 18.	•		1	=	1	1	_	
$\vdash \vdash \vdash$	C-3-	16 ①	0	0		+=	0		22.6	+=	=	2 — 18 —	18	18		0	0	_		=	0	22.6 22. 286.9 286	0	+=	18	=	2 18	18	-	
		20 ①	Ö				Ö	254.4	254.4	_	_	13 —	13	13	(I)	Ö		_	_	_	Ö	254.4 254	.4 -		13	-	13	13	_	
		21 ①	0	=	= =	+=	0		250.6		_	13 —	13	13		0		_	=		0	250.6 250 74.2 74			13	_	13	13	_	
2F	ŀ	23 ①	0	=		+=	0		74.2 25.2	+=	=	3 —	3	3	1	0	+ =	_			0	74.2 74. 25.2 25.	_		3		3	3		
	į	24 ①	0	_		_	Ö	174	174		_	17 —	17	17	1	0	_	_	_		Ö	174 17	4 —		17	_	17	17	_	
	Į.	25 ①	0			-			27.5		_	1 -	1	1	1	0		_			_	27.5 27. 8.5 8.5		_	1		1	1	_	
1F	ŀ	26 ①	0	0		+ =		18.4	8.5	+=	$\vdash = \vdash$	1 —	1 2		①	0	- 0	=		=	_	18.4	5 -		2	=	2	1	<u> </u>	
2F	ŀ	27 ②	_	Ö		_	_	10.3	47.1	_	_	1 -	1	4	2	_	ő	_	_	_	_	10.3 47.			1	_	1	4	_	
4.1		3	0	_			_	18.4		<u> </u>	_	1 —	- 1		3	0			_	_	_	18.4	1 -	- -	- 1	_	1		_	

1								煙感	知 暑	g ir												1	熱 感 知	器							炎感知器	備考
- 11							消防	5 法 施	10 行	規則	J											消防	法 施	行 規	則						消防法施行規則	Neb 13
	\	壁以 学 の取り 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	又は取付対数 23器を面満上区 災地の 条は、高満上区 災地の 乗り (大き) できる 大き (大き) できる 大き (大き) できる 大き (大き) できる (大	のはり高さに〇 知機工業会 [か感知する。	よう設ける。 路を除く感 設情が には、はり高。 知設備エ事	知区域ごとに さ1m以上と	こ、感知器の)種別及	び取付け	面の高さ	に応じてが	火の表で定	きめる床面	漬につき↑	1個以上	壁20 取1 4mi * 4mi * 4m	個以上の個 は高満 以上~8m: 以数区 (数区 (数区 (数区 (数区 (数区 (数区 (数区 (数区 (数区 (からO. 4m以	こ有効感知積	「るよう設」 特種) 特種) は、はり高さ は、はり高さ 設備工事	ける。 1m以上とす 基準書 続する場合、	る。 隣接する感気	印区域を記	亥当部分	を含め15m	「以内であれ	レば1つの感	5知器区域	む見な	消防法施行規則を 準拠する 無限力 を を を を を を を を を を の に を の に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が に の が の に の の の の の の の の の の の の の	
		域と 取作 4m 小D 1つの	見なすこと 対面高さ 以上~8 区画が隣 D感知区が	が0.6m以上 ができる。 m未満 接している場合 或とすることが 項 七 へ (道	床面積 60㎡ 、はり等の できる。	i i 深さが0. 6	m以上1m末										◆日本 細長 短辺	k火災報知い居室等の い居室等の lが3m未満	することができ 機工業会 自 の場合 い細長い居!	目動火災報知 室等に定温:	式スポット₹	型感知器(特		場合は、地	步行距離	13mにつき	1個以上設	ける。			ついて他の部屋番合 日の 日本	
	\	感知 設ける 上記!	可器は、原る。	下及び通路にない消防法施行	あっては歩行規則につ	行距離30	mにつき1個 して感知器を	を設置する。		没及び傾			直距離15	mにつき1f	個以上の	個数を		ı					T						<u> </u>			
火災	部屋番	- 悠知	(~4n	_	(8∼15m)	(15~20m	1	の高さ (0.6m <x <1m)</x 	小区画 面積		(4.4)	総面積 (1+n) <60㎡	消防法 設置数	減数設置 適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	高 (4~8m)	さ (8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	/]	N区画 総面積 〈	田恒 (面積 総面積 1+1) (1+n 5㎡ <15n	消防法	減数設置 適用	設置数	合 計	合計	
1F	C-3- 2	8 ①	_	0	_	_		_	15.6		_	_	2	_	2	2	1	_	0	_	_	_		15.6			2	_	2	2	_	
階段	30	0 1	 -	0		-	+=	=	15.3 30.5		 -	=	1 1		1	1	0	=	0	_				15.3			1 1		1	1	=	
	3:	2 ①	 	0	_		_	_		107	-	-	2	_	2	2	Ō	_	ő	_		_			107		3		3	3	_	
	3	3 ①	_	0	_	_	_	_	6.1	6.1	_	_	1	-	1	1	1	_	0	_	_	_	_	6.1	6.1		1	_	1	1	_	
		1	0	_	_	_	_	_	22.3		_	_	1	_	1		1	0	_	_	_	-		22.3				_	1			
1F	34	4 2	+=	0	0	=	-	=	15 18.4		=	_	1		1	4	(2)		0	<u> </u>		_	_	15 18.4	33.5	= =	+=	-	1	3	_	
		(4)	+=	_	_	-	+=	=	7.8		$\vdash \equiv$	=	1		1		(4)	H =	0	_			-=+	7.8	-	= =	1	-	1			
	30	6 ①	_	ō	_	_	_	_		14.6	_	_	1	_	1	1	1	_	ő	_	_	_	_	14.6	14.6		1	_	1	1	–	
		7 ①	_	_	0	_	_	_		67.6	_	_	2	_	2	2	1	_	_	0	_	_		67.6			_	_	_	_		細長い居室等を適用
<u> </u>		8 ①	_	0	_	_		_	20.4			_	2	_	2	2	1	_	0	_	_	_		20.4			2	_	2	2	_	
1 '		0 ①	0		=	=	+=	0		92.4 45.6		_	3	=	9	9	1	0	=			_		92.4		= =	3	=	3	9	==	
1 '	<u> -</u>	2 ①	0		_	_	+=-	0		105		_	4		4	4	1	0	_	_		_	Ö				4	_	4	4	_	
2F		3 ①	0	_	_	_	_	_	6.1		_	_	1	_	1	1	1	0	_	_	_	_	_				1	_	1	1	_	
'		4 ①	0		_	_			6	6	_	_	1		1	1	1	0	_	_	_	_			•		1	_	1	1		
'		5 ① 7 ①	0			=	-	=	13	13 22.8		_	2		2	2	1	0	_	_		=	_	13 22.8 2	10	= =		=	2	2		
'		8 ①	0		=	=	+=	=		22.7	 -	=	2		2	2	1	0	_	=		=		22.7 2		= =			2	2		
1F	50	0 ①	_	0	_	_	_	_	20.6			_	1	_	1	- 1	Ű	_	0	_	_	_		20.6			1	_	1	1	_	
2F		1 1	0	_	_	_		_		27.2			1	_	1	1	1	0	_	_	_	_		27.2			1	_	1	1	_	
H	5	2 ①	0	0		=	-		6 18.4		-	=	1		1	1	1	<u> </u>	0	_		=	_	18.4	Ť	= =		-	1	1		
1F	5	3 ②	+=	0	=	-	+=	=	9.5		$\vdash \equiv$	= 1			-	1	(2)	=	0	=		= +	=+	9.5	27.9		<u> </u>	+=	<u> </u>	1		
3F	1	1	0		_	-	† –	_		3 1247.8	-	_	11	_	11	11	1	0	_	_	_	_	- 1	247.8 12	247.8		19	-	19	19	_	
	2	1	_	0	_	_	_	_		206.2		_	4	_	4	4	1	Ö	_	_	_	_		206.2 2				_	4	4	_	
RF	3	1	0	_	_	_			96.8			_	2	_	2	2	1	0	_	_	_	-		96.8				_	2	2	_	<u> </u>
'	C-4- 5	1	+=	0	_		+=	_	29.2	29.2	-	_	1 2		1 2	2	1		0	_		_		29.2 2			1 2		1 2	1 2	=	
'	6	(1)	╁═	0	=	+=	+ = -	=	32.5		+=	= 1	1	=	1	1	1	-	0	=		=			32.5	= =	1	+=	1	1		
3F	7	1	0	_	_	_	_	_	5.8		_	_	1	_	1	1	Ű	0	_	_	_	_	_					_	1	1	_	
1 '	10	6 ①	0	_	_	_	_	_	44.7		_	_	1	_	1	2	1	0	_	_	_	-		44.7				_	1	2	_	
L		2	0		_	_	l –	_	4.2	1 -	l –		1	_	1		2	0	_	_		_		4.2		- -	1	_	1 1		_	

消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【緊急用電気品建屋】

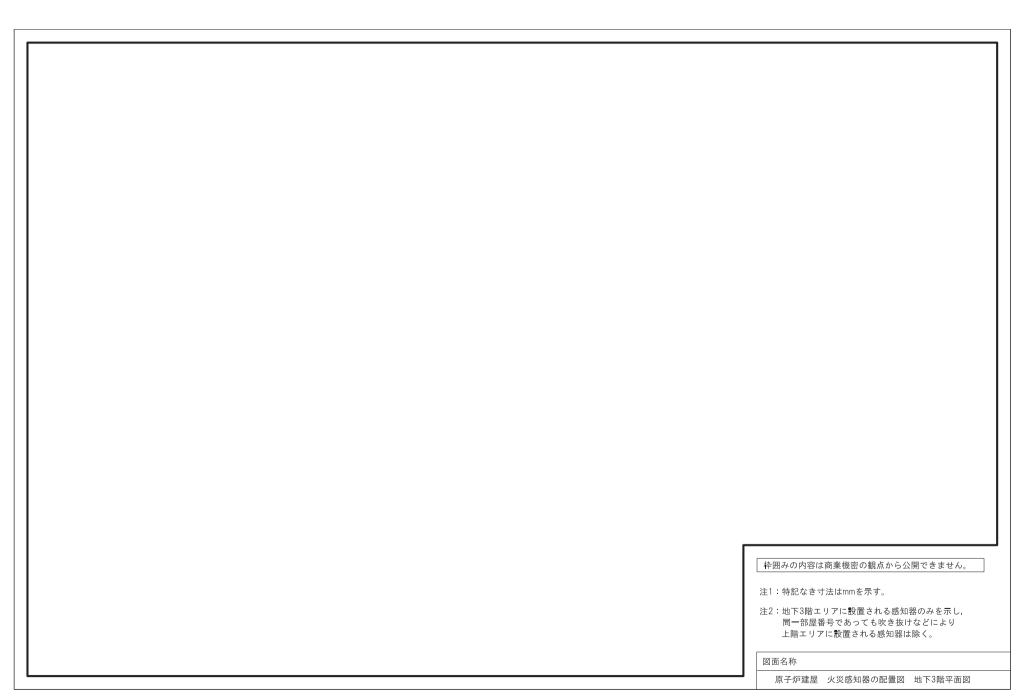
11119712	-T-D	6010	/ () () () () () ()	ロ右ひくつ日に	巨 6 71.6	<i>>1</i> ⊂ <i>9</i> ∈	20 (71) 35	C · 11 1150 1.	ムル 回 1	7965(1	MILLONG	771.74	.1000	1 / 2/	V () ()	N/H-H	11 / K 21	()E() [1] H	Z/(III/L	/± /															
Λ								煙感	知 器														熱感	知 器								炎感知器	借	考	
11							消防	法施	行	規則												消防	法 施	行	規則							消防法施行規則	ura .	,,	
	\	壁以 (学) (を) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の	23条第4項 又は取付面が 上の個数を、 23条第4項 数を、火災を 付数に高さ nれ に の に 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	から0.6m以外 、火災に有効 ・大通路に感知 ・大通路に感知 ・大海路に感知 ・大海路にの ・大海路にある ・大海路とある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路とある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路と ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海路にある ・大海と ・大海と ・大海と ・大海と ・大海と ・大海と ・大海と ・大海と	が感知するよ ななで傾斜器 はするように記 床面が 150m 75㎡ のないものに	う設ける。 客を除く感知 設ける。 責 。 は、はり高さ	って区画され I区域ごとに、 1m以上とす	れた部分ごと 、感知器の	とに、感知	1器の種別							壁又I の取付i 4m3 4m以 * 複 ・ はより すことが	固以上の個面高さ は満 以上~8 ma 以上~8 ma 以上~8 ma 以数区画のは ・火災報知 ができる。	NSO. 4m以 数を、火災 株満 より高さに〇 豊工業会 「 O. 4以上1	以上突出したに有効感知で 床面積積 70㎡(35㎡() のないものに 自動火災報失 m未満で火災	するよう設け 特種) 特種) は、はり高さ む設備工事。 災区域が連続	oT区画され tる。 1m以上とす 基準書 読する場合、	た部分ごと	(に、感知	おおいたの種別を該当部分	うを含め15	ō㎡以内で	あれば1つ	の感知器	器区域と	と見な	消防止に感知器を 連載であれる。 本級型である。 本級型である。 本級型である。 本級型である。 本級型である。 本級型を対している。 を記載されている。 の同識数を連絡者が、 なのに数数である。 を記述数が記録器が、 は感越数となる。 を記述数が、 の同数型を必ずる感力器が、 の可能を表現る。 の可能を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を			
		は 域取作 4m 1つの 会 窓 設け	り等の深さが見なすことが 見なすことが 付面高さ n以上~8mi 区画が隣接し の感知区域と は23条第4項 知器は、廊下	(0.6m以上 できる。 未満 している場合 とすることが でもない。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	1m未満でが 床面積 60㎡ 、はり等の影できる。 通路、階段及 あっては歩	火災区域が 深さが0.6n び傾斜路) 行距離30m	連続する場合 n以上1m未 nにつき1個J	・満で区画さ 以上の個数	sれた10r	m゚以下の	小区画が1つ)隣接して	ている場1	含は、当	該部分を	含めて	◆日本 細長! 短辺:	火災報知い居室等の が3m未満	機工業会 0場合 の細長い居	きる。 自動火災報知 音室等に定温 行規則につい	式スポット雪	型感知器(特		5場合は	、歩行距離	‡13m/cつ	き1個以.	上設ける。				ついて他の部屋番号の感知器と組合とは、 号の感知器と組合とは、 もの場合の組織会の組織会構 を感知観光を感知と、 を感知観光を感知となる。			
火災	泛区 画	感知	0	高	ŧ		はり等の	の高さ	小区画	総面積	総面積 総正 (1+1) (1+) /H	防法 減	数設置	設置数	승 화	感知		高	ż		はり等の			然田相	診面積 総i	, I /H	方法 減数 計数 適	設置)置数:	승 화	合計			
階	部屋番	号 区域	(~4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 	面積	<75 m²	(1+1) (1+ +10m² <60	m 設i	置数	適用		ы и	区域	(∼4m)	(4~8m)	(8∼15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	<35 m²	+5m <1	5mi 設i	数 適	用			H 111			
		1	_	0	_	_	0	0	292.35		_		28	18	10		1	_	0	_	_	0	0	292.35			- 2		_	28		_			
MB1F	1	2	0	_	_	_	0	0	23.88	_	— 329	.78	4	3	1	12	2	0	_	_	_	0	0		329.78		_	. (_	4	36				
	-	3	0	_		=	0	0	13.55		- 407		4	3	1		3	0	_	_	_	0	0	13.55	107.51	_			_	4	40	_			
\vdash	2	(1)	_	0	_		0	0	107.51		— 107 — -	_	13	9	4	4	1	_	0	_	_	0	0		107.51		_	3 (_	13	13	_			
B1F	3	1	0			_	_	_	13.55				1	0	1	1	1	0	_	_	_	_			13.55	_		(_	+	1				
BIF	F-1-5	(1)	0	+=-				_		10.33			1	0	1	1	1	0	=					13.55	10.33	_	_	()	1	1				
\vdash	E-1-12	(1)	- 0	-	_	_	=	_	35.37	13.55		_	2	0	1	1	1		_	_	=	=					_)	1	2				
MB1F	6	1 0	+ =	0					7.20				1	2	1	1	<u> </u>		0	_				7.20	7.20	_) (,	3	3				
MRIF	1/0	0	+ =	0					23.58			-	1	1	1	1	0		0	_					23.58	_	_		,	1	2	_			
階段	8	1	+=	_	0	=	_			10.05			2	1	1	1	<u> </u>		_	0					10.05	_		2 ()	2	2	_			
咱权	9		+ =	0	_		_	_	12.69			-	1	0	1	1	0		0	_				12.69	12.69	_	_		,	1	1	_			
MB1F	1	1 0	+=	0	=	=	_	_		16.74	= =		2	1	1	1	1		0	_					16.74	_			,	2	2	_			
1F	F-2- 1	1		0	=	=	0	0	492.72		- 492		22	14	8	8	<u> </u>		0	=		0	0		492.72	_	- 1	2 ()	22	22				
- (F	L 2- I	- 0						U	452.12		- 492	14	44	14	0	0	U						0	402.12	434.72		_ 1 4	4 (,	44	22				

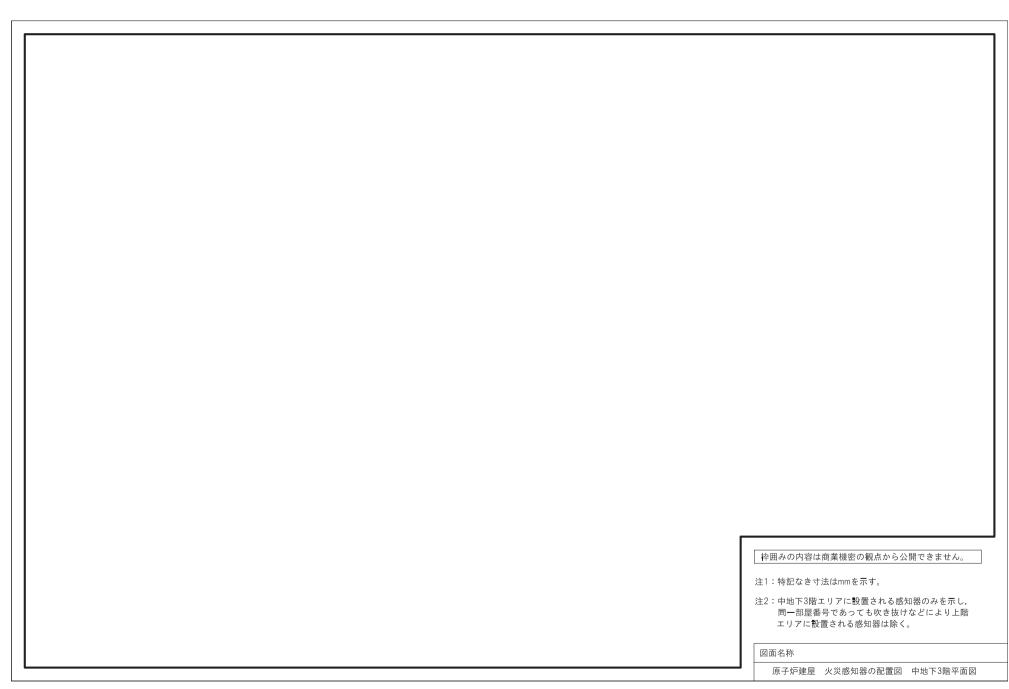
消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【緊急時対策建屋】

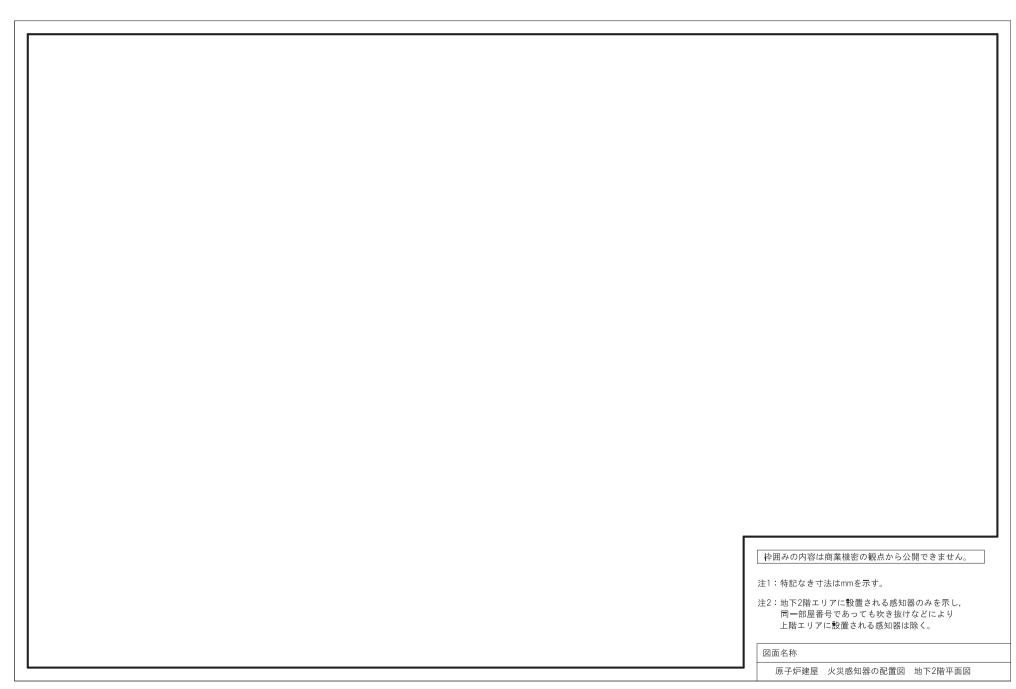
\				おおり配				家: (月)()力 煙 感				.,,,,,							「束建座				熱感	知 器								炎感知器			
.\							消 F	防法が	布 行	規 剛												消化	5 法 施	行	規 剛							消防法施行規則	1/F	考	
		壁以 第	上 23条は、高満上区 災灾 本等むす以 国感 第 4 廊 災 20個 領 第 4 廊 災 20回 報 2 2 3 条 は 1 2 1 3 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	から0.6m以 から0.6m以 大火災に 七 木 下、海効に 下、海効に 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	が 放及 びばうに ない はうに がいない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、 ない、	よう数ける。 路を除る。 路を除る。 ははり高さいは、 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の 区域ごと に さ 1 m以上と 基準書 が 連続する 場	された部分ごに、感知器の とする。 場合、取付面 未満で区画	でとに、感が の種別及で 可高さに応	知器の種 び取付け なじた範囲	別及び取面の高さの高さのでは、	に応じて トる感知ロ が1つ隣	次の表で覚 区域を当該 接している	定める床面 京部分を含む 場合は、当	議につき かて1つの 該部分を	1個以上 9感知区 含めて	壁き取れる 4m以 4m以 4m以 4m以 6はこ 小の 日細短 0 中細短	園面高により、 (本)	から0.4 M以 動数を、火災 末はり 末はり 末はり 大 は 根 で に の に の に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に と は し に に に に に に に に に に に に に	に有効感知	するよう設に (************************************	って区画され :1m以上と 基準書 続する場合 n以上1mオ 基準書	れた部分ごと する。 ・、隣接する配 ・、隣接する配 ・、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	ボルた5mm	器の種類を該当音	3分を含め N区画が1	15㎡以「	内であれ ている場	ば1つの感	知器区均	或と見な	消防機力を 神臓性 神臓性 ・ 変配 器に ・ 変配 部をに ・ 変配 部を に ・ 変配 部を に ・ 変配 部を に ・ 変配 部を に ・ 変配 部を に ・ 変配 部を に ・ 変配 が に を に ・ 変配 が に を に ・ 数で に ・ 数で に ・ 数で に ・ が に ・ せ ・ と に ・ が に ・ が に を が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に が に を が に を の に に 。 に に に に に に に に に に に に に			
火災	区画	_	に記載のな	い消防法施高		いても準拠し	1	を設置する。 等の高さ	1		総面積	総面積							高	ż .		はり等	の高さ			総面積	※面積			.1					
階	部屋番	歴知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	1	(0.6m/y	」 小区画 面積		(4.4)	(1+n) <60m²	消防法 設置数	減数設置適用	設置数	合 計	感知 区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	小区画 面積	総面積 <35㎡		(11-)	消防法 設置数	減数設置適用	設置数	合計	合計			
	1	1		0	_	_	_	0	316.8		_	316.8	17	8	9	9	1	_	0	_	_	_	0	316.8		_	=	17	0	17	17				
.	2	1 (1)	$\vdash =$	0	=	=	+=	0	142.2 73.2		Η=	142.2 73.2	10 6	5 4	5	5	(I)		0	=	=	=	0	142.2 73.2		=	=+	10 6	0	10	10	-			
	4	1	+=	0	_		 -	0	18.3		+=	- 13.2	_	_	_		1		0	_	_	=	0	18.3		-	= +	3	0	3	3	4			
	5	1	_	0	_	_	_	_	15.7		_	_	2	0	2	2	1	_	0	_	_	_	_	15.7	20.4	_	-	2	0	2	2	_			
B2F	-	2	0	0	=	-	+=	0	4.7 174.9		 -	174.9	13	 8		- 5	2	0	0	=	=	-	0	4.7 174.9			= +	13	0	13	13	-	煙感知器、熱感知器		(1)と兼用
	KB-1- 7	1 1	+=	- 6	=	-	+=	0	116		+=	116	6	4	2	2	0		0	+=	$\pm \Xi$	=	0	116	116	=+	\equiv	6	0	6	6	 			
. l'		1	_	Ö	_	_	_	Ö	47.9		_	47.9	5	3	2		Ű	_	Ö	_	_	_	ő	47.9	110	_	_	5	0	5	ľ	_			
.		2	0	_	_	_	_	_	8.8		_	_	-	_	_	4	2	0	_	_	-	_	_	8.8	59.8	_	-	_	0	_	7	_	煙感知器、熱感知器	itKB-1-8	3①と兼用
	ľ	3	_	0	_	_	_	_	1.8	11.9	_	_	1	0	1	-	3	_	0	_	_	_	_	1.8	33.0	_	-	1	0	1	-	_			
_	-	4	+=	0	=	+=	 -	 =	1.3	-	11.8	=	1	0	1	-	<u>4</u>		0	-	=		_	1.3	11.8		=+	1 -	0	5	-				
階段室	1	0 ①	+ =		=	=	+ =	-	18.7		11.8	18.7	7	4	3	3	0			=	=	=	=	18.7			= +	9	0	9	9	_			
B2F	ī	1 1	_	0	_	_	_	_		2.1	_	-	1	0	1	1	Ű	_	0	_	_	_	_	2.1		_	_	1	0	1	1	_			
	1	1		0	_	_	_	0	649.6			649.6	36	18	18	18		_	0		_	_	0	649.6	0.10.0	_	_ [36	0	36	36	_			
	2	1	_	0	_	_	_	0	97.4		_	97.4	8	4	4	4	1	_	0	_	=	_	0	97.4	97.4	_	-	8	0	8	8	_			
. 1		1 1	 -	0	=	=	+=	+=		3.8 8.5	Η=	_	1	0	1	1	1		0	=	=	=	=	3.8 8.5	3.8 8.5	=	=+	1 1	0	1	1	-			
B1F		1	1 –	ő	_	_	† –	_	8		l –	_	1	0	1	1	1	_	Ö	-	-	_	_	8	8	- 1	-	1	0	1	1	_			
	6	1	_	0	_	_	_	0	170		_	170	12	6	6	6	1	_	0	_	_	_	0	170	170	_	=	12	0	12	12	_			
. 1	1	2 ① 3 ①	+=	0	=	=	 =	 =	12		Η=	=	1	0	1	1	1		0	=	=		=	12	12	_	_	1	0	1 1	1	-			
		4 ①	+=	0	=	=	-		12 3.1	12 3.1	+=	=	1	0	1	1	1		0	=	=	=	=	12 3.1			_	1	0	1	1	-			
\dashv	- 1	1	_	0	_	_	-	0		- 3.1	-	117	8	4	4	4	1		0	_		_	0	117			_	8	0	8	8				
	2	1 1	_	Ö	_	_	_	Ö	143.3		_	143.3	8	4	4	4	Ű	_	Ö	_	_	_	ő	143.3		_	_	8	0	8	8	_			
	3	1	_	0	_	_	_	0	168.6	_	_	168.6	9	5	4	4	1	_	0	_	_	_	0	168.6		_	_	9	0	9	9	_			
	4	1	-	0			-	0	41		_	41	4	3	1	1	1		0				0	41	41		_	4	0	6	4	_			
	1		=	0	=	_	 -	0	102.5		Η=	102.5	6 8	5 4	4	4	1		0	=	=	=	0		102.5	=	=+	8	0	8	6				
1F	KB-3-	(1)	_	0	_	_	-	0	16.1		16.1	-	2	1	1	1	(f)		0	_		_	0	16.1	16.1		_	2	0	2	2				
l'	8	1	<u> </u>	Ö	_	_	_	Ō	18.1	_	18.1	_	2	1	1	1	Ű	_	Ö	_	_	_	0	18.1	18.1	_	- 1	2	0	2	2	1 -			
	9	1	_	0	_	_	_	0	16.2		16.2	_	2	1	1	1	1	_	0	-	_		0	16.2		– T	_	2	0	2	2				
	1	0 ①	+=	0	=	_	 -	0	50	+=	-	50 87.5	3	1	4	2	1		0				0	50 87.5			=	3	0	8	3				
	1	2 ①	-	0	=	=	 -	0	87.5 167.5		-	87.5 167.5	18	4 Ω	10	10			0	-	=		0	87.5 167.5			=+	18	0	18	18				
		5 ①	_	0	_	_	_	_		5.6	Η=	-	-	_	-	-	1		0	_	_	_	_	5.6	5.6	_	=+	1	0	1	1	1			
		6 ①	_	0	_	_	_	_	3.3	3.3	_	_	_	_	_	_	1	_	0	_	_	_	_	3.3	3.3		_	1	0	1	1	1			
15	VD_2- 1				_	_	_	_	5.3	5.3	_	_	1	0	1	1	1	_	0	_	_	_	_		5.3		_	1	0	1	1	_			
1F	KB-3-	7 ①	_	0				_			_																								
	KB-3-		_	Ö	_	_	=	0	264.9		_	264.9	17	9	8	8	0		0	_	_		0	264.9		_	_	17	0	17	17	_			
1F	KB-3-						=	0	264.9 192.6			264.9 192.6	17 11	9 5	6	6	1		0	=	=	=	0	192.6 8.9	192.6		=	17	0	17	17	_ _ _ 2			

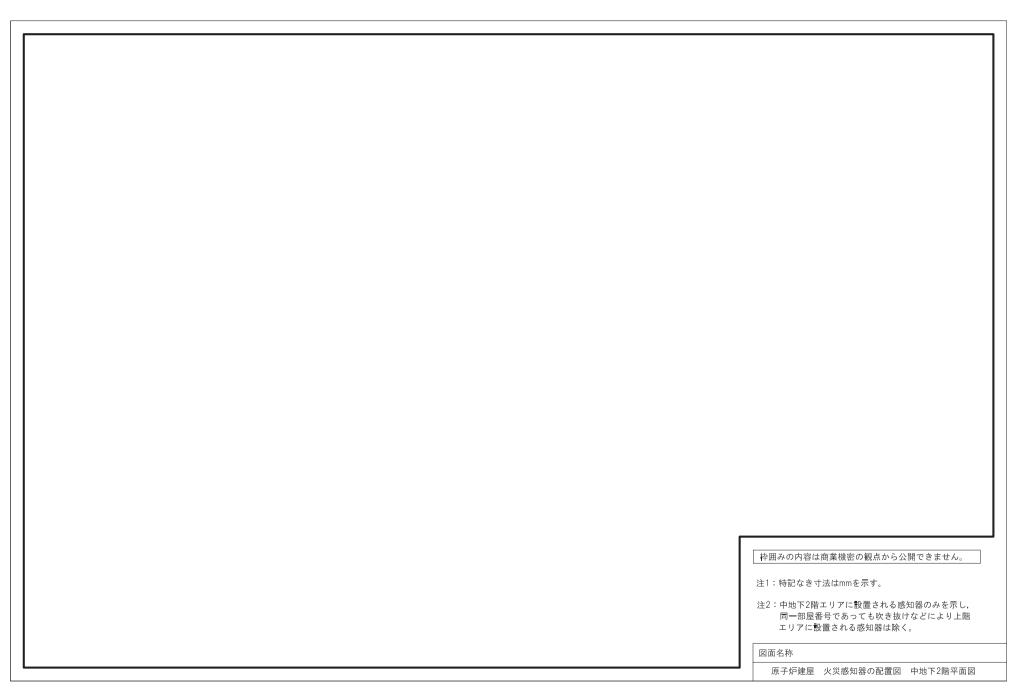
消防法に準拠した火災感知器の配置を示した一覧表(対象:消防法施行規則 第23条第4項に該当する火災感知器)【地下タンク室】

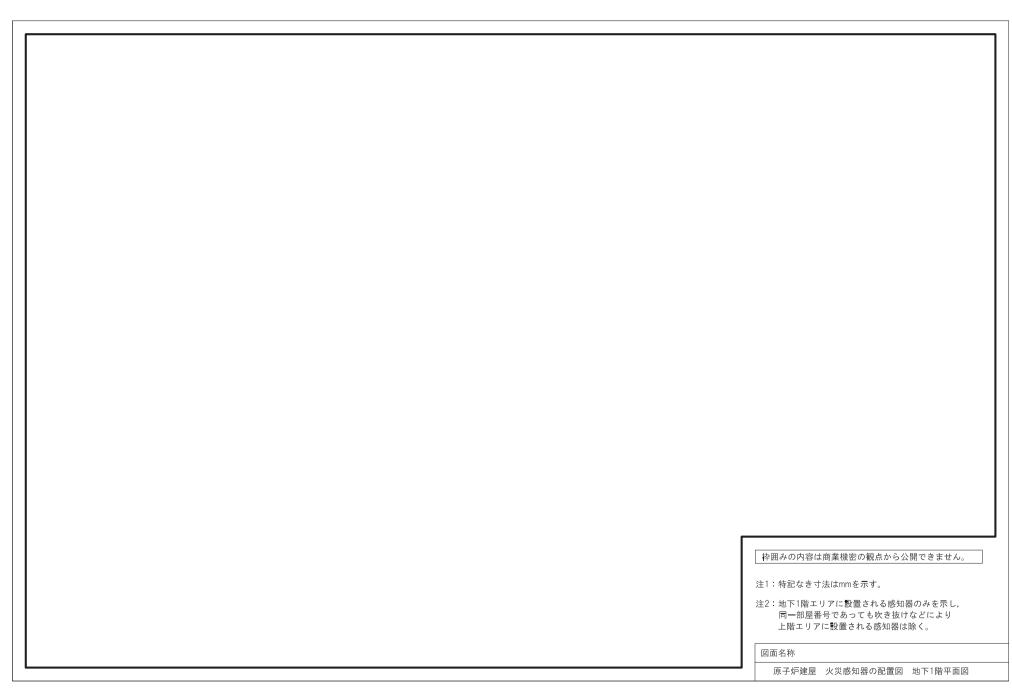
\								煙感	知 器	1												熱感	知 器								炎感知器	備	考
1\	Г						消	防法施	行	規 則											消防	法 施	行	規 則							消防法施行規則	VHI	15
	- 5	壁又は	₹第4項 取付面か)個数を、	60. 6m	以上突出し 効感知する	たはり等によ よう設ける。					削及び取付け面	の高さに	なじて感知器	暴床面積(こつき1	を で かき1	23条第4項 は取付面 個以上の †面高さ	から0. 4ml	以上突出した に有効感知で 床面積	するよう設け	って区画され				削及び取付	寸面の高	さに応じて	て次の表で	定める床	下面積に	消防法施行規則に		
	o I	感知器	、火災を高さ	通路、階	印するよう(床面 150	こ設ける。 i積 Dm ⁱ	知区域ごと	に、感知器の	種別及び	び取付け	面の高さに応じ	て次の表で	定める床面	積につき	1個以.	4m 4m *樹	未満 以上〜8n 関数区画の 本火災報失	はり高さにC ロ機工業会	70㎡(35㎡(のないものに 自動火災報知	特種) 特種) は、はり高さ ロ設備工事	基準書										* 炎感知器に設置 数が記載されてい る同じ部屋番号に 設置数が記載され ている煙感知器又		
\			E〜20m 区画のは		75)のないも(m かは、はり高	さ1m以上。	とする。									等の深さた ができる。		m未満で火災	(区域が連	読する場合、	隣接する恩	Š知区域	を該当部	分を含め	15㎡以	内であれ	ば1つの感	· 医红斑 · 医红细胞 · 医红细胞细胞 · 医红细胞 · 医红细胞细胞 · 医红细胞细胞 · 医红细胞 · 医红细胞细胞 · 医红细胞 · 医红细胞细胞 · 医红细胞细胞 · 医红细胞 · 医红细胞 · 医红细胞 · 医红细胞细胞 · 医红细胞 · 医红细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞细胞	或と見な	は熱感知器が,炎 感知器と組合せて 設置する感知器で		
\	- 1	はり等の		. 6m以」		服知設備工事 で火災区域か		場合、取付面	高さに応	じた範囲	の隣接する感気	旧区域を当	該部分を含	めて1つ(の感知図				a、はり等の深 きる。	そさが0. 4m	以上1m未	満で区画さ	れた5m	以下の小	∖区画が1	つ隣接し	ている場	合は、当話	該部分を1	含めて1	ある。なお、一部に ついて他の部屋番 号の感知器と組合		
\	I	取付面			床面 60											細長	い居室等	の場合	自動火災報知 民室等に定温			件)を記ける	(무소H	- 朱行跖	鲱13ml	- つき 1 仮	113 F #01+	+ Z			せる場合があり、 その場合の組合せ る感知器は備考欄		
\				ている場合 することが		り深さが0.6	m以上1m	未満で区画る	th::10	が以下の	小区画が1つ	糞接してい.	る場合は、当	当該部分	き含めて	:			行規則につい				J-89 □ I-0-	· 2/11/E	ME I SIIII	- JC IE	以上以1)	1 °00°			に記載した感知器 となる。		
\	設	感知器 とける。	は、廊下	及び通路に	こあっては		mにつき1		なを、階段	及び傾余	科路にあっては	垂直距離1	5mにつき1	個以上0	の個数を	÷																	
火災区画	Ŧ	底知 	戦のない		行規則に	ついても準拠	1	等の高さ	사모표	総面積	総面積 総面	責 :##+:+	減数設置			感知		高	à		はり等の	の高さ	사모표	総面積		総面積	:##+:+	減数設置					
階 部屋番号	- E	マは	(∼4m)	(4~8m)	(8~15n	n) (15~20m	(0.6m>)	(0.6m <x <1m)</x 		総囲機 <75㎡	(1+1) (1+n +10m² <60n	En 000 est	適用	設置数	合言	区域	(~4m)	(4~8m)	(8~15m)	(15~20m)	(0.4m>)	(0.4m <x <1m)</x 	面積	総囲根 <35㎡	(1+1) +5m²	(1+n) <15 m i	設置数	適用	設置数	合計	合計		
		1	0	_	_	_	_	_	60.3	63.8		2	_	2	3	1	0	_	_	_	_	_	60.3	63.8	-	-	5	_	5	6	_	細長い居室等を適用	
 ,	, (2	0	0	+=		-	+=	3.5	25.2	= =	1	+=	1	1	(2)	0	-	=		<u> </u>	=	3.5 25.2	25.2		=	1		1	1	_		
	3 (1	_	0	_	_	ő	_	207.4			3	 	3	3	1	-	0		_	Ö	0	207.4	207.4	_		9	_	9	9	_	中ばり5区画	
	. (1	_	0	_	_	_	_	58.5	62		2	_	2	3	1	_	0	_	_	_	_	58.5	62	_	- 1	5	_	5	6	_	細長い居室等を適用	
Y-7-	_	2	_	0	_	_	_	_	3.5			1		1	٥	2		0	_	_	_	_	3.5	02	_		1	_	1	0	_	柳及い店主守で旭川	
	5 (0	+=		0	+=	27.3		= =	1 3	+=	3	1	1	 =	0	+=		0	<u> </u>	27.3	27.3		=+	9		9	9	_	中ばり5区画	
	3 (<u> </u>		0	+ =		0		15.3	15.3		1	+=	1	1	1		0	+ =		0		15.3	15.3	=	=+	9		1	9		キは20区画	
		Ť	_	0	_	_	ő	_	103.2	10.0		2	_	2	1	1	_	0	_		_	0	103.2	10.0	_	_	6		6	6		中ばり6区画	
	7	2	0	_	_	_	_	_	8.1	111.3	_ _	_	_	T -	2	2	0	_	_	_	_	_	8.1	111.3	_	-	_	_	_	_		煙感知器, 熱感知器は	Y-7-9①と兼用
	1 (_	0	_	_	0	_	96.9	96.9		2	_	2	2	1	_	0	_	_	_	0	96.9	96.9	_	_	7	_	7	7		中ばり7区画	
Y-8- 2	2 (1	_	0		_	0		96.9	96.9		2		2	2	1	_	0	_	_	_	0	96.9	96.9			7	_	7	7		中ばり7区画	
	3 ((1)	_	0	_		0		96.9	96.9		2		2	2	(1)	_	0	_	_	_	0	96.9	96.9	_		7	_	7	7	_	中ばり7区画	

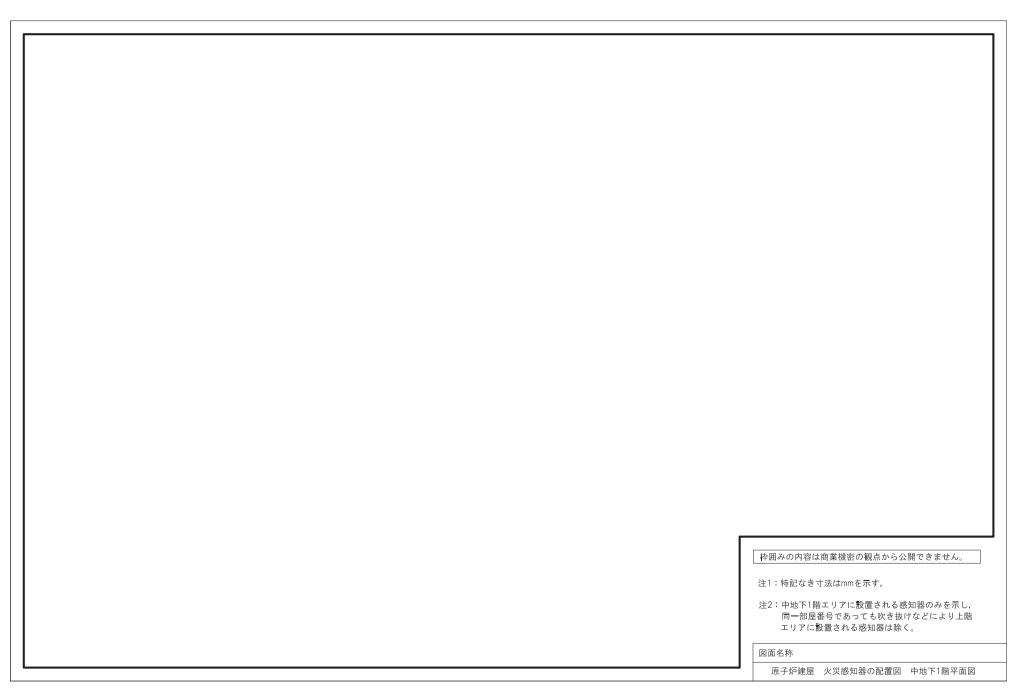


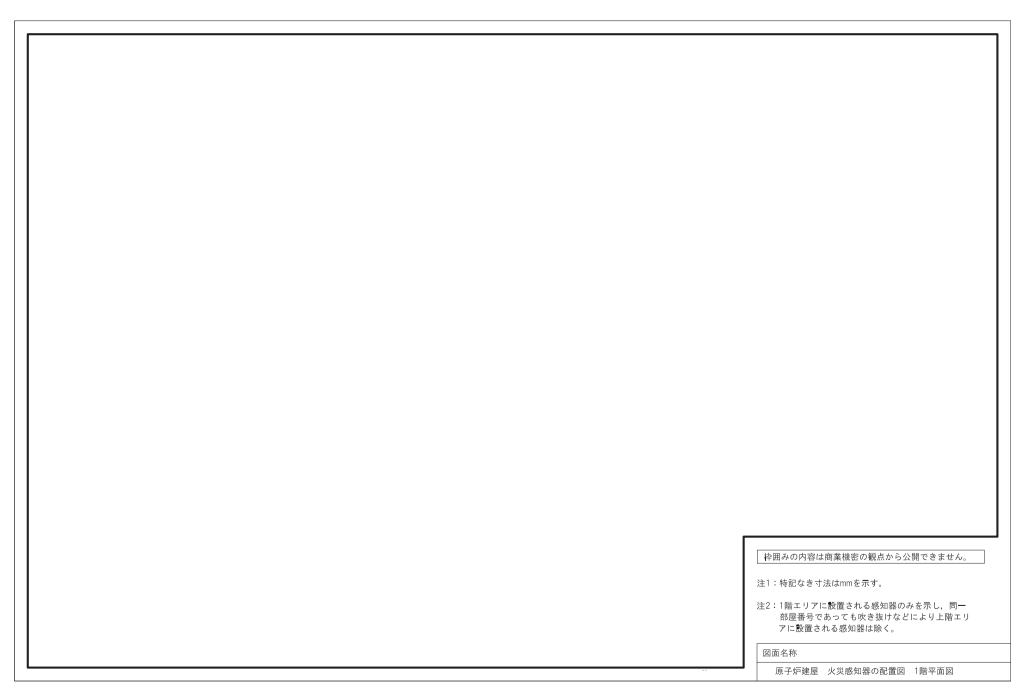


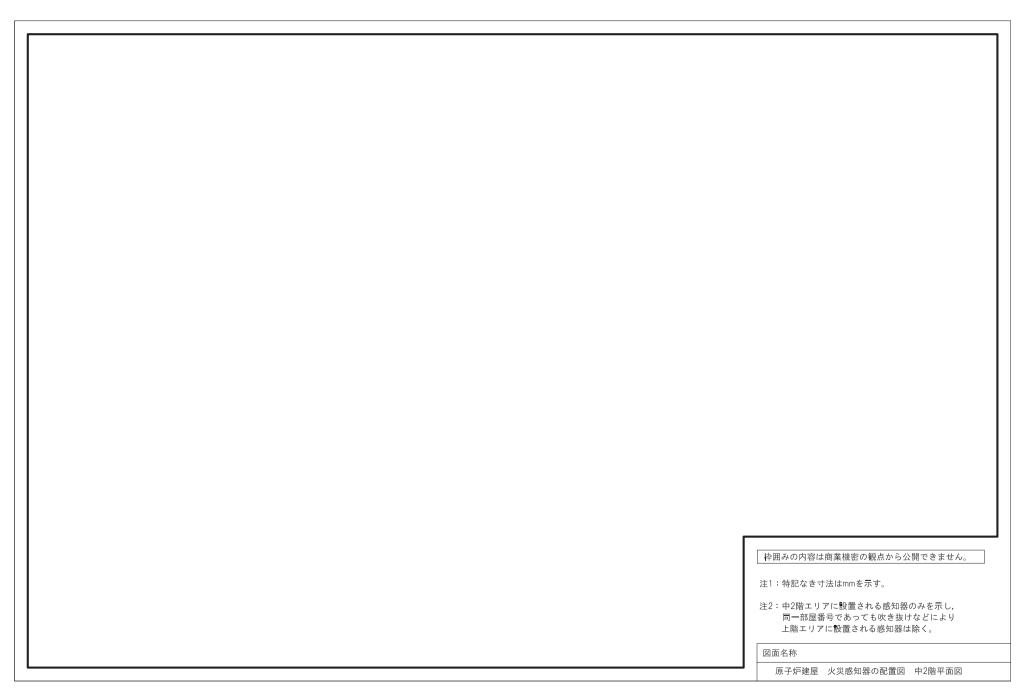


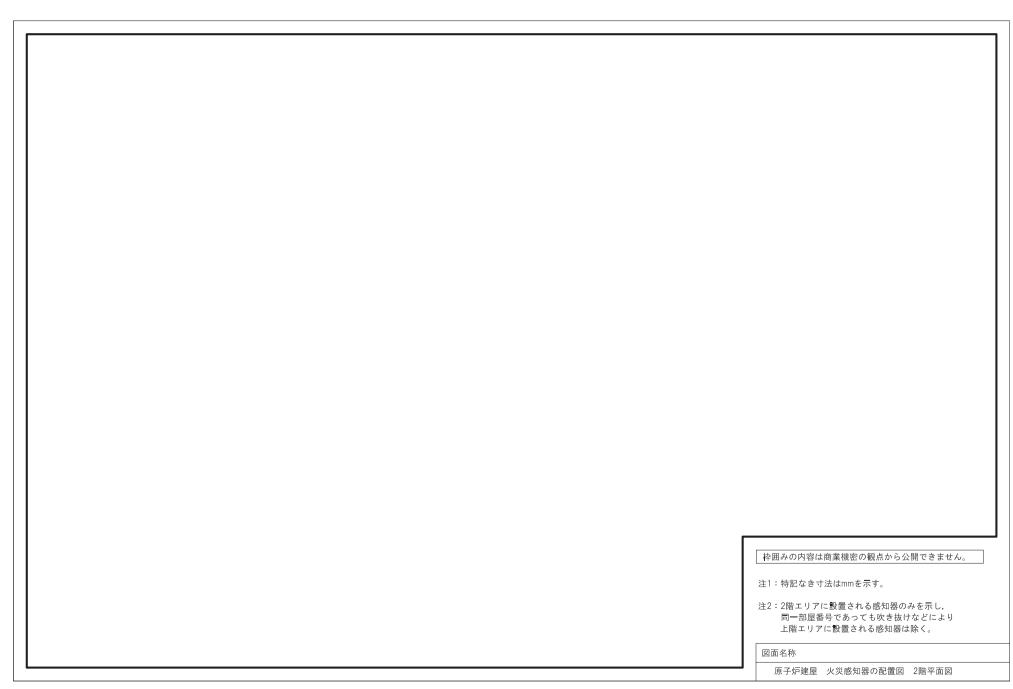


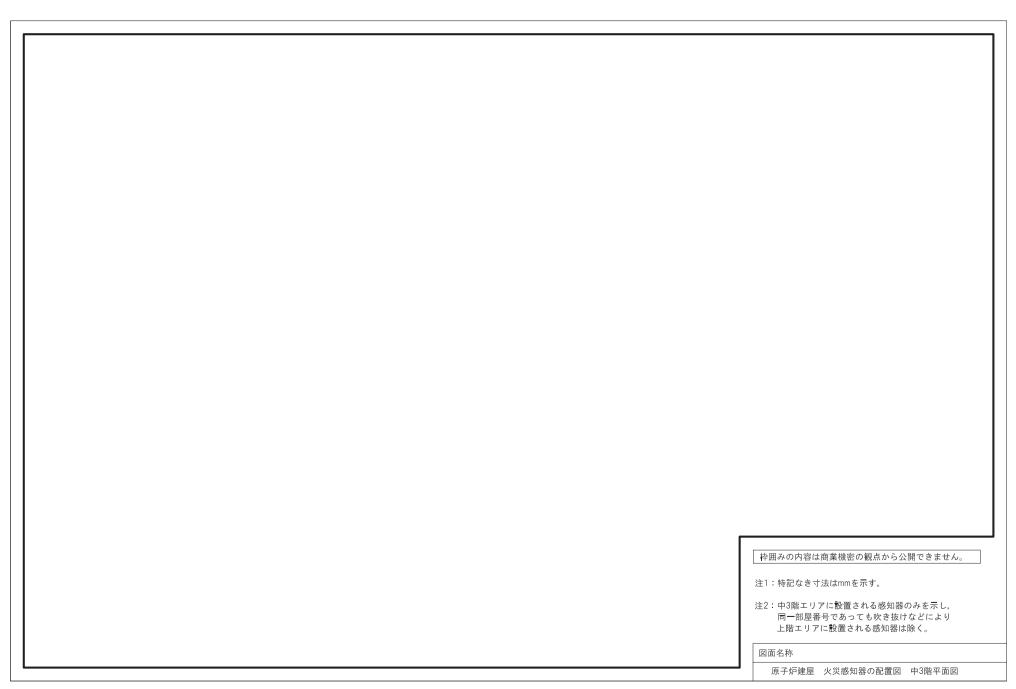


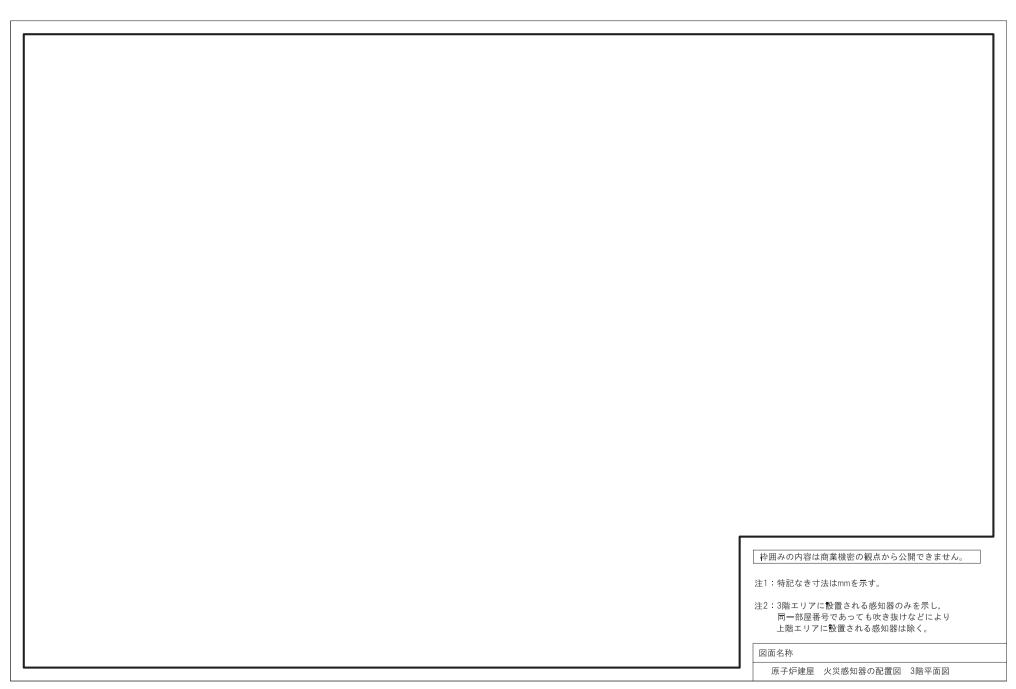


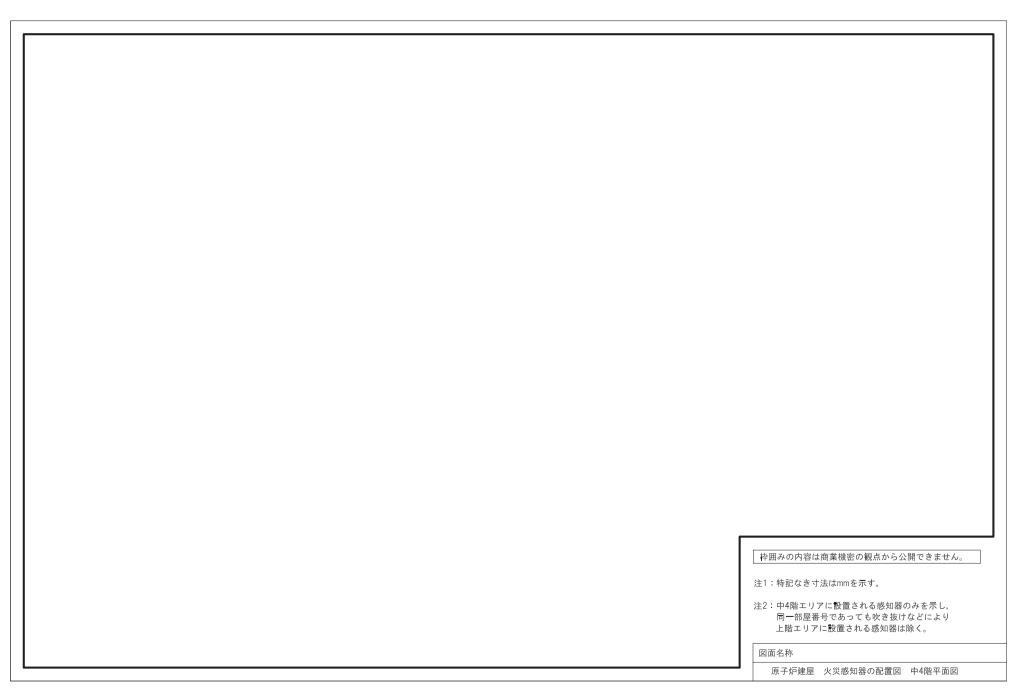


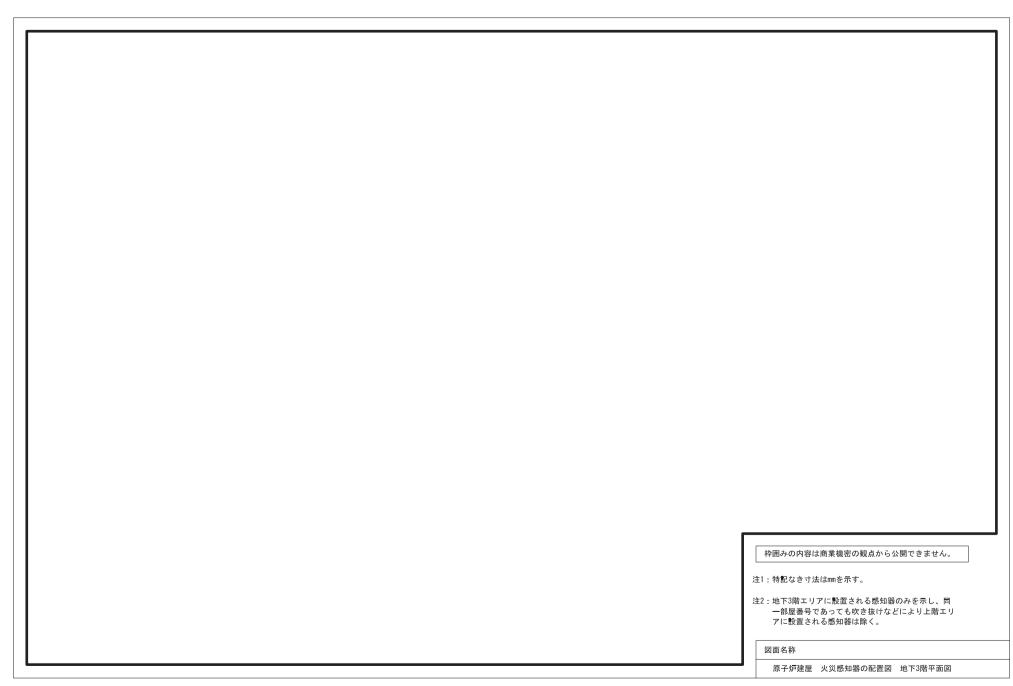


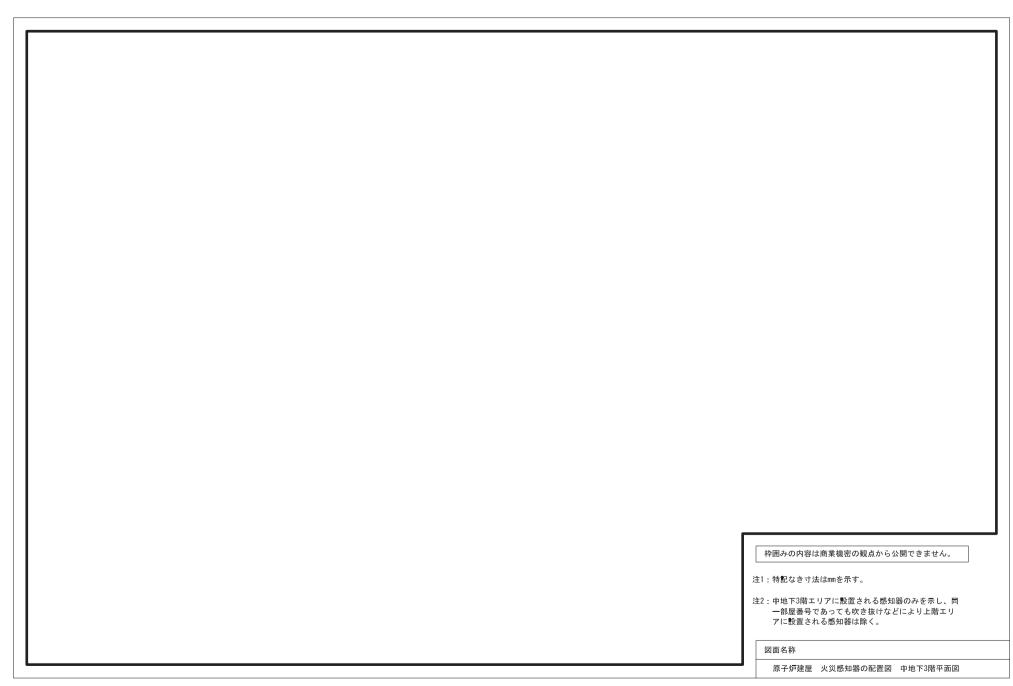


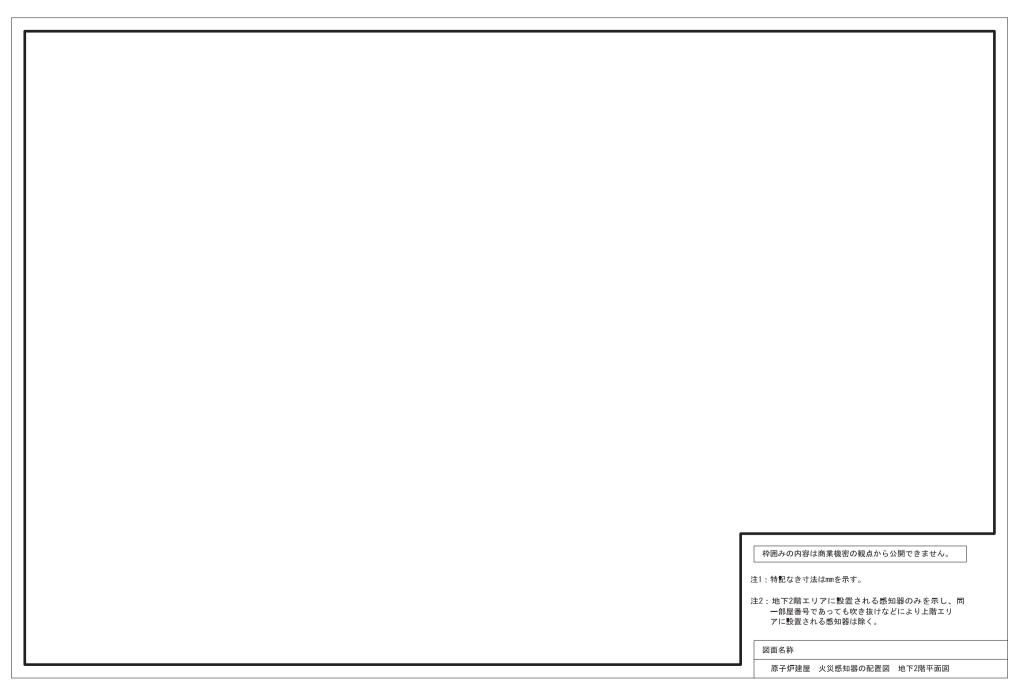


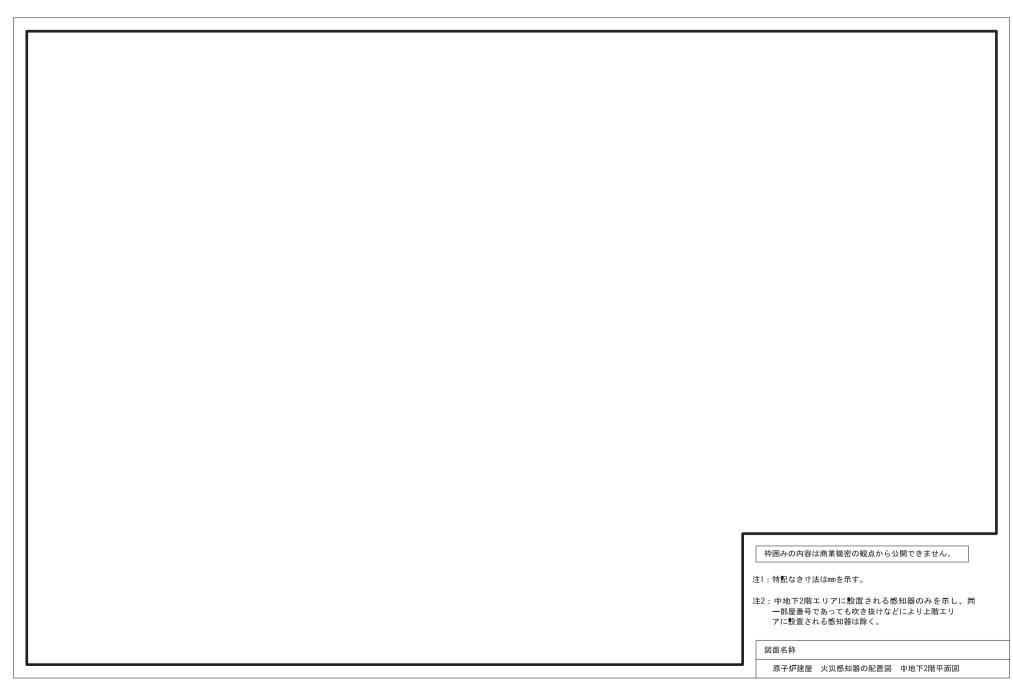


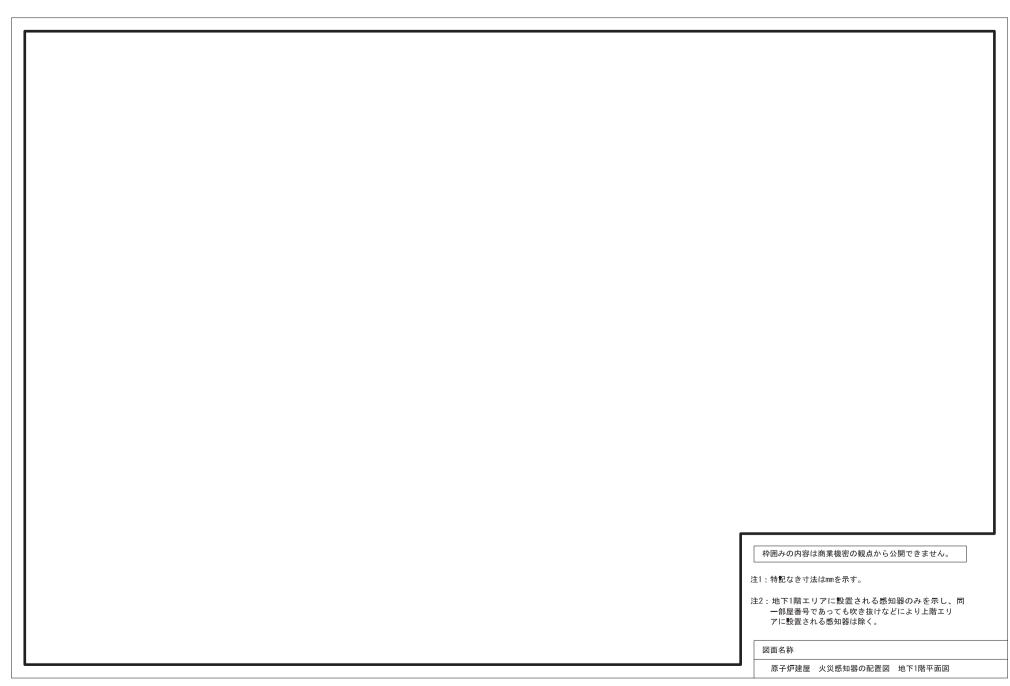


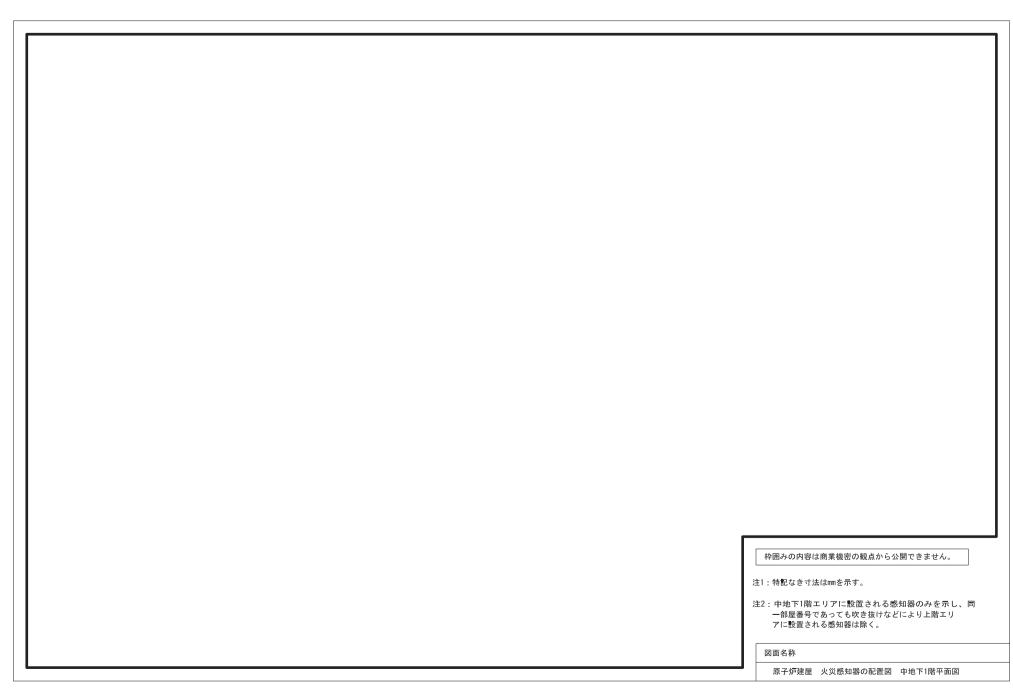


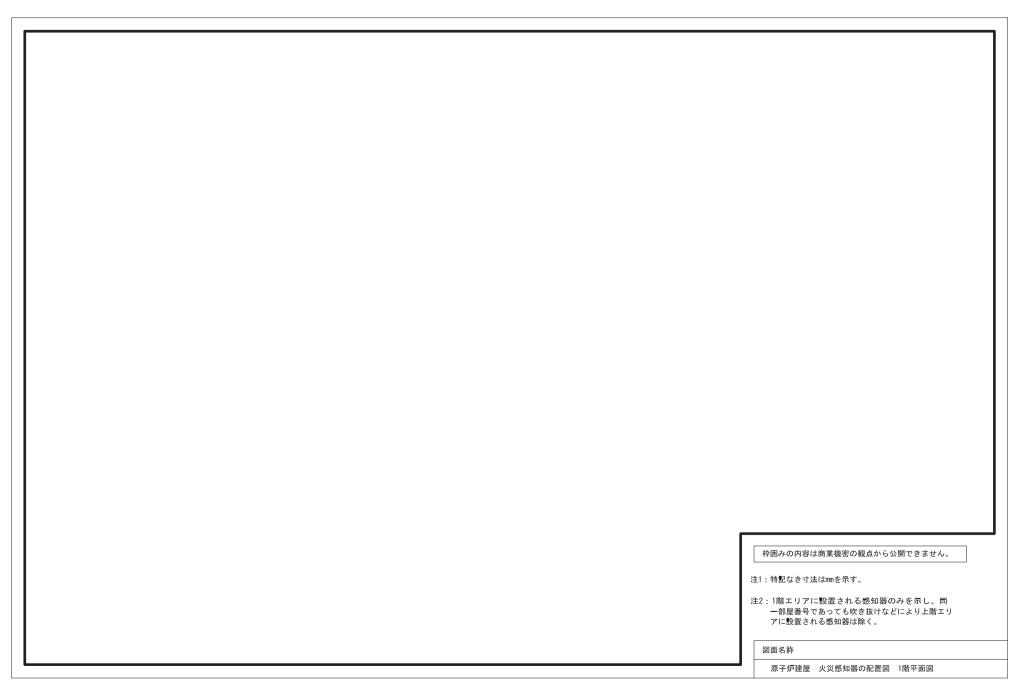


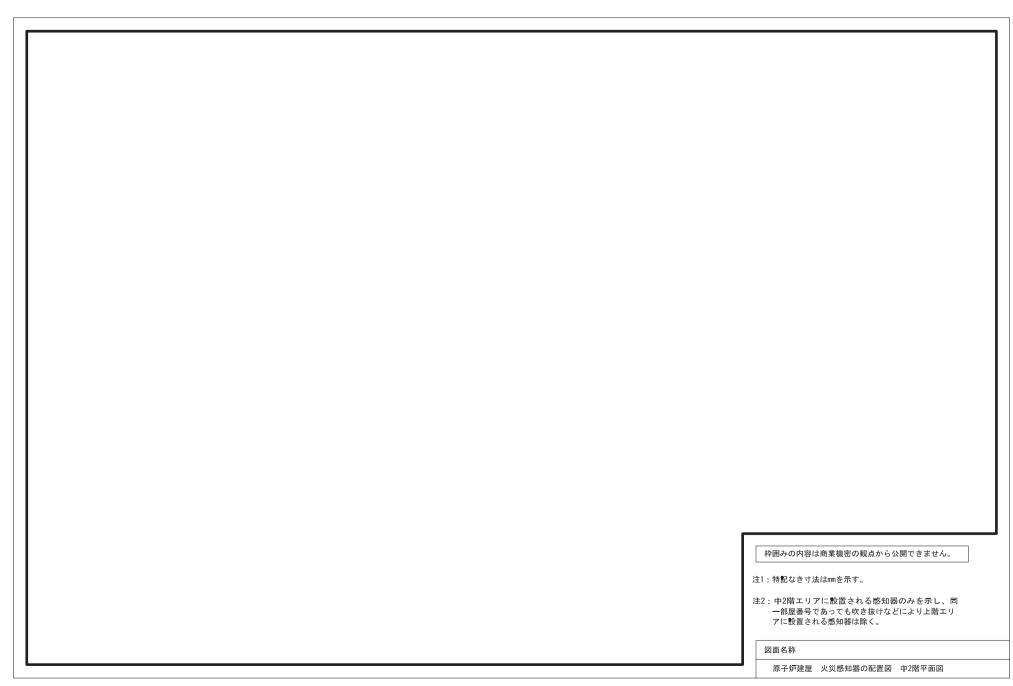


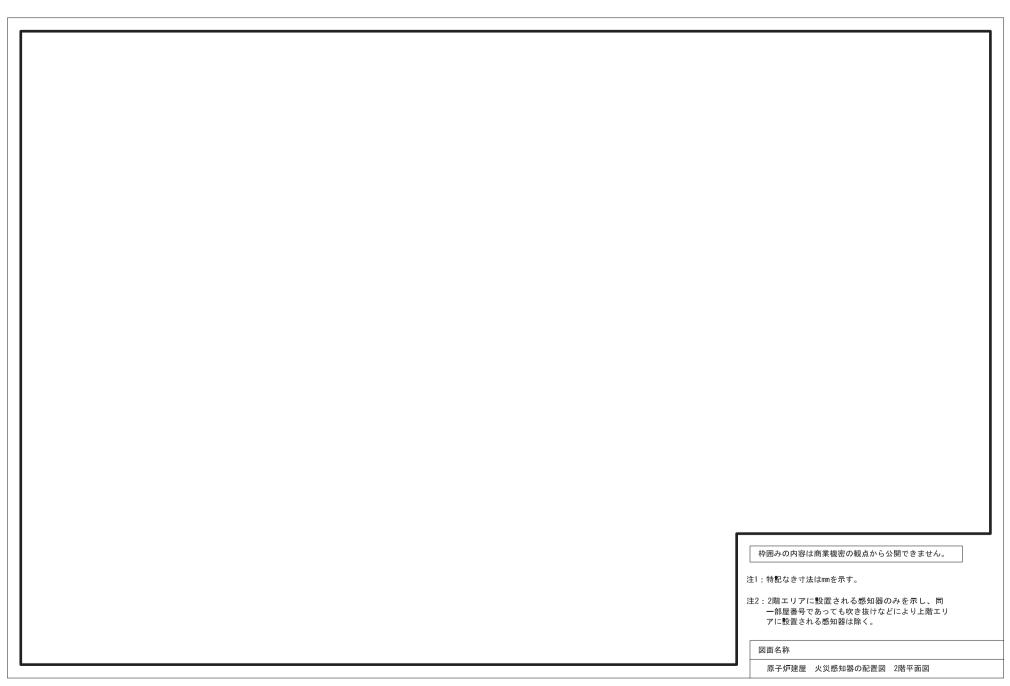


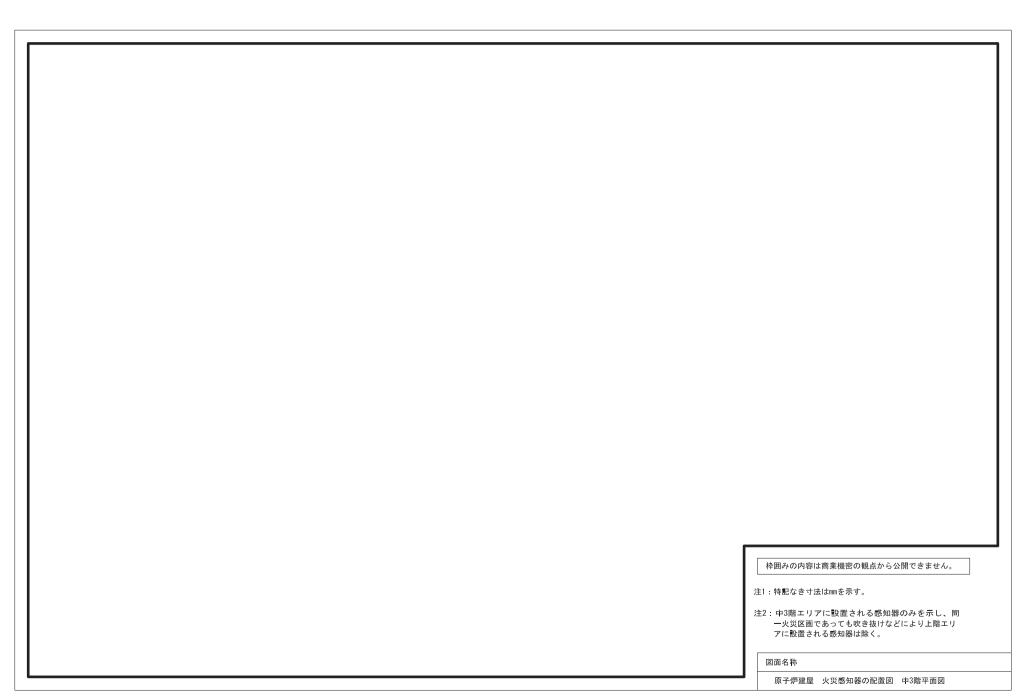


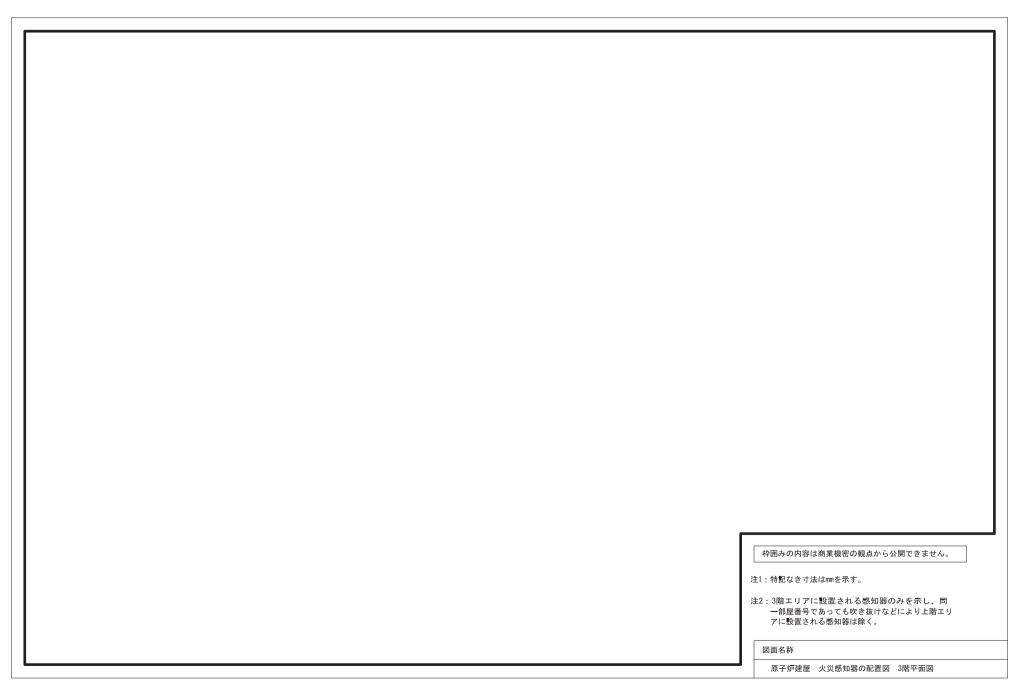


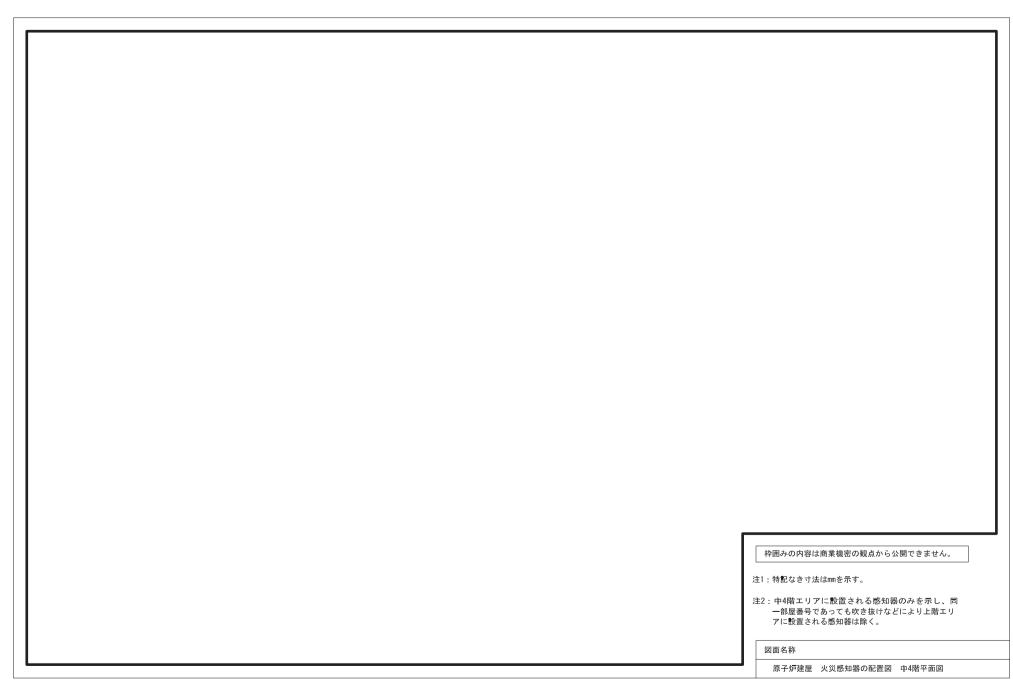


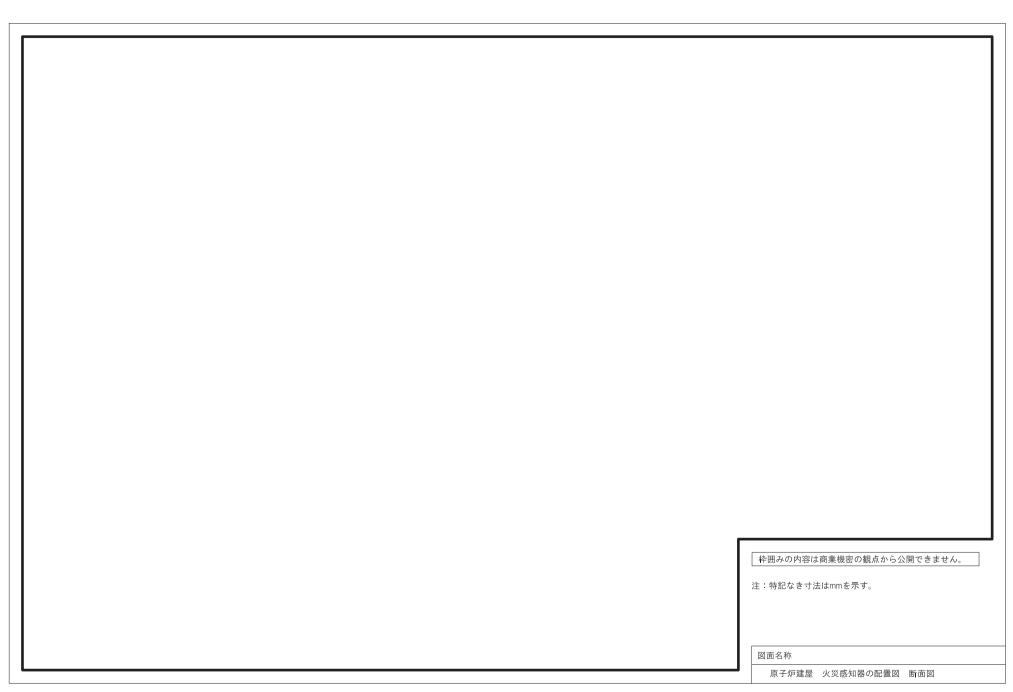


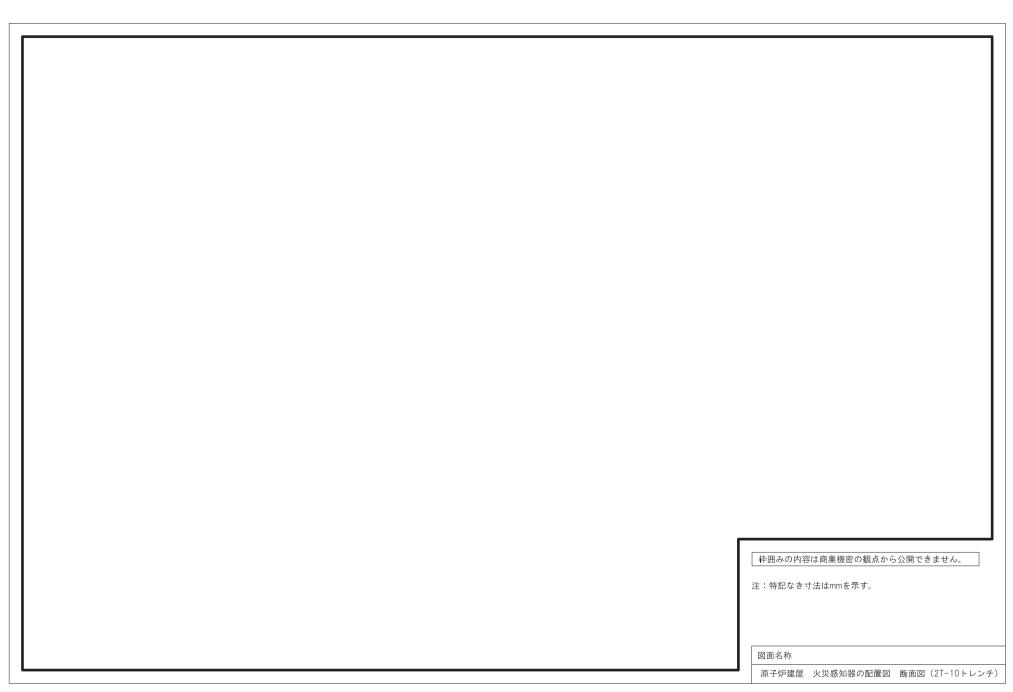


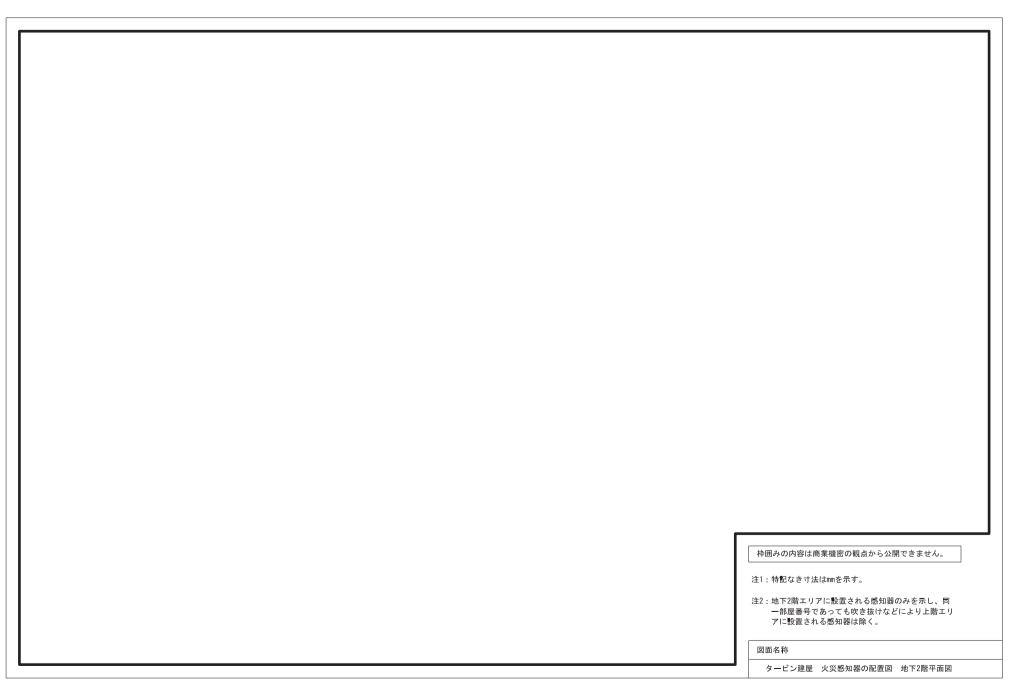


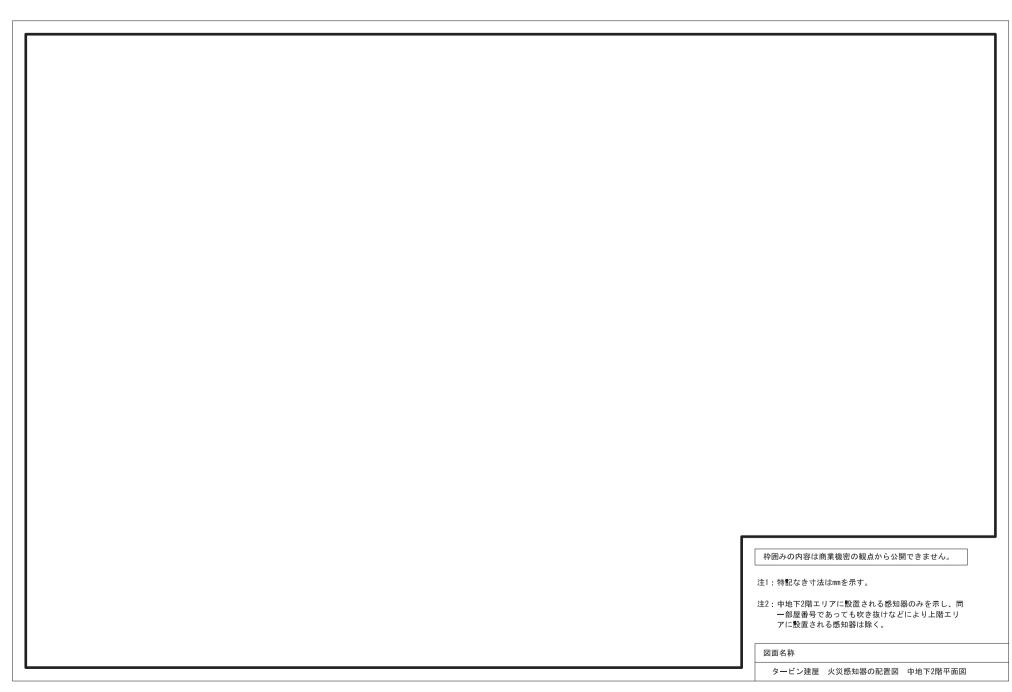


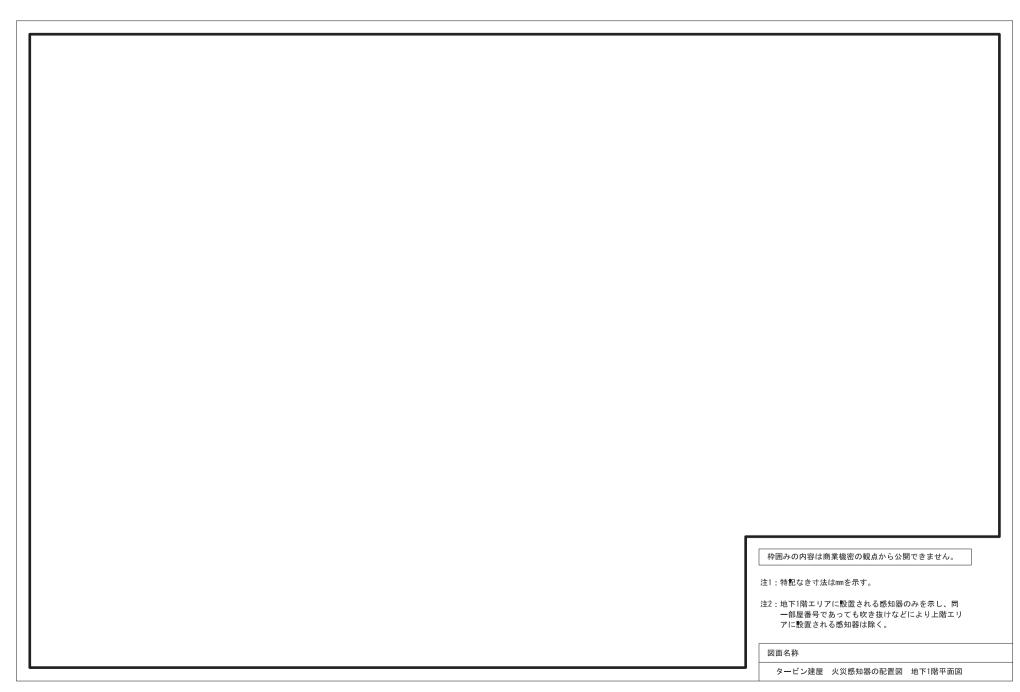


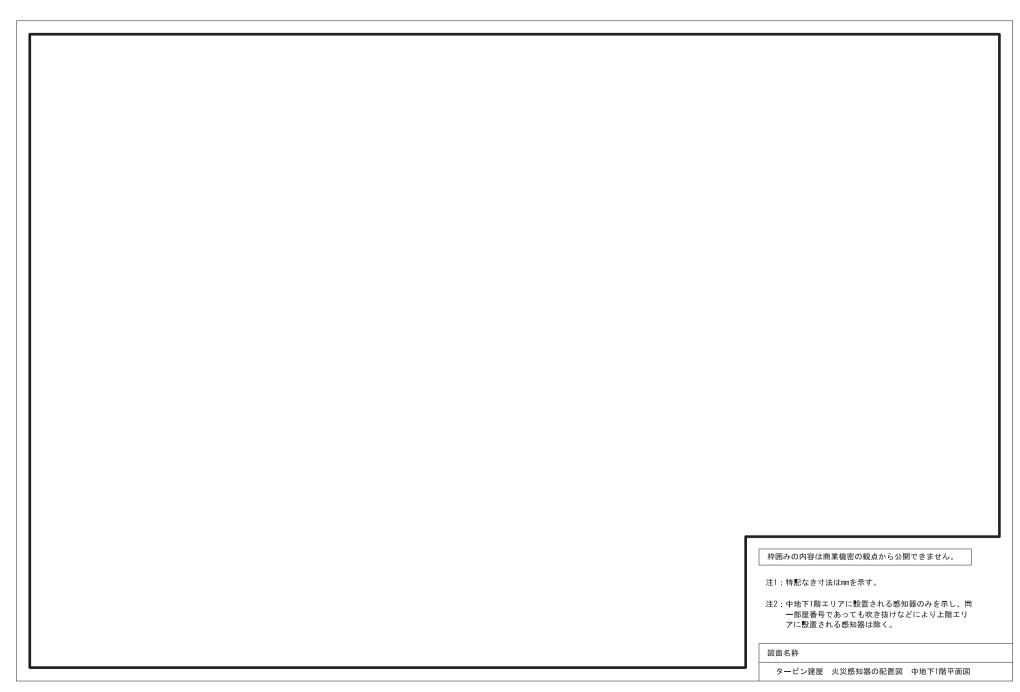


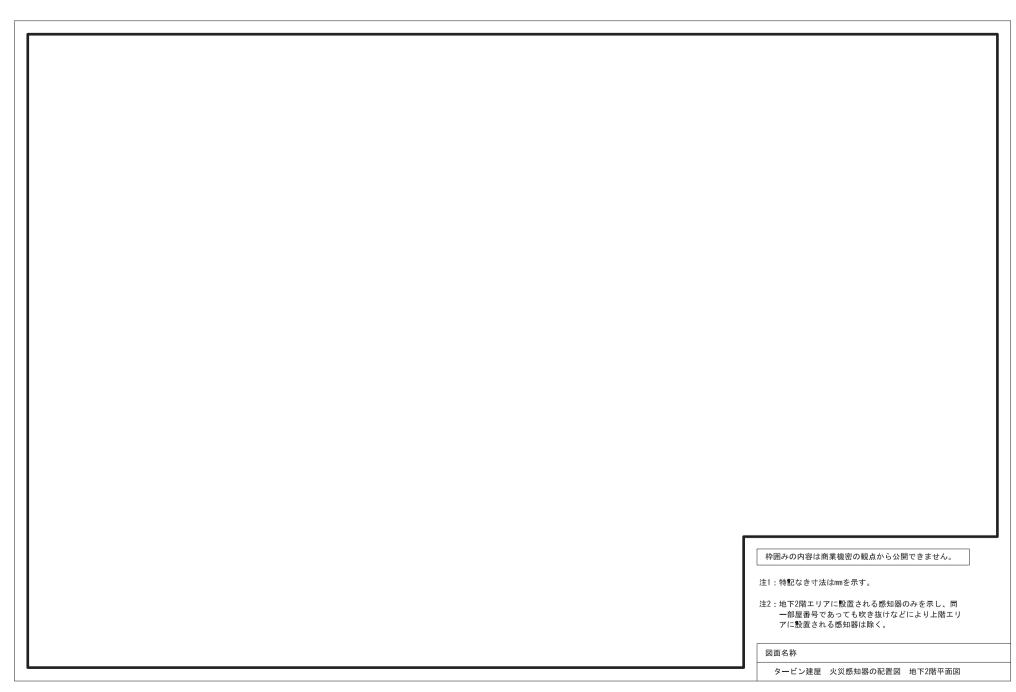


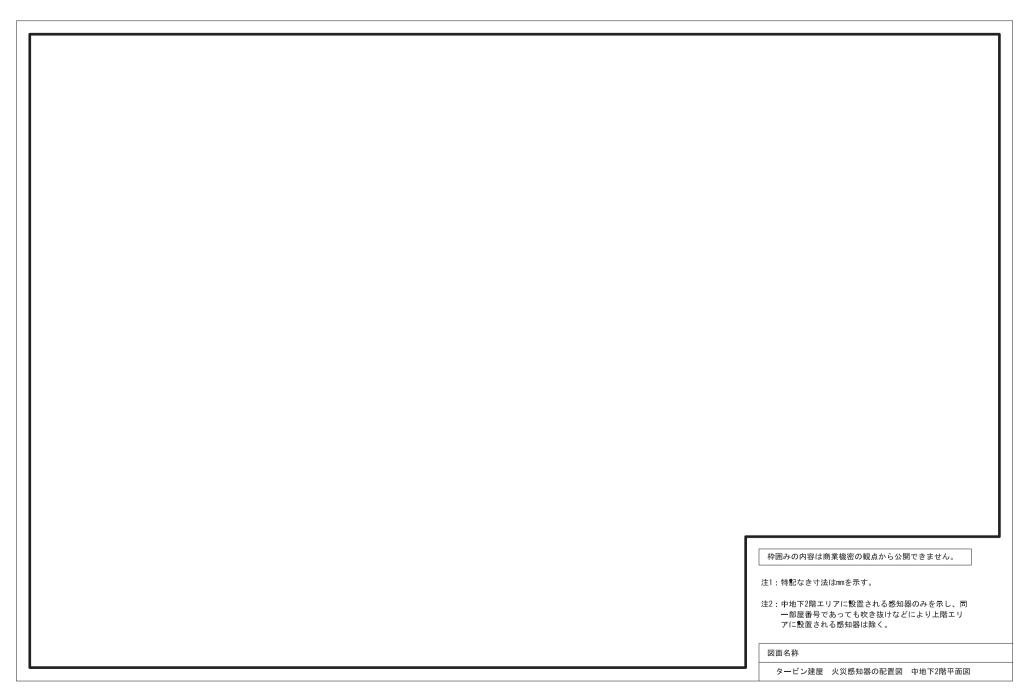


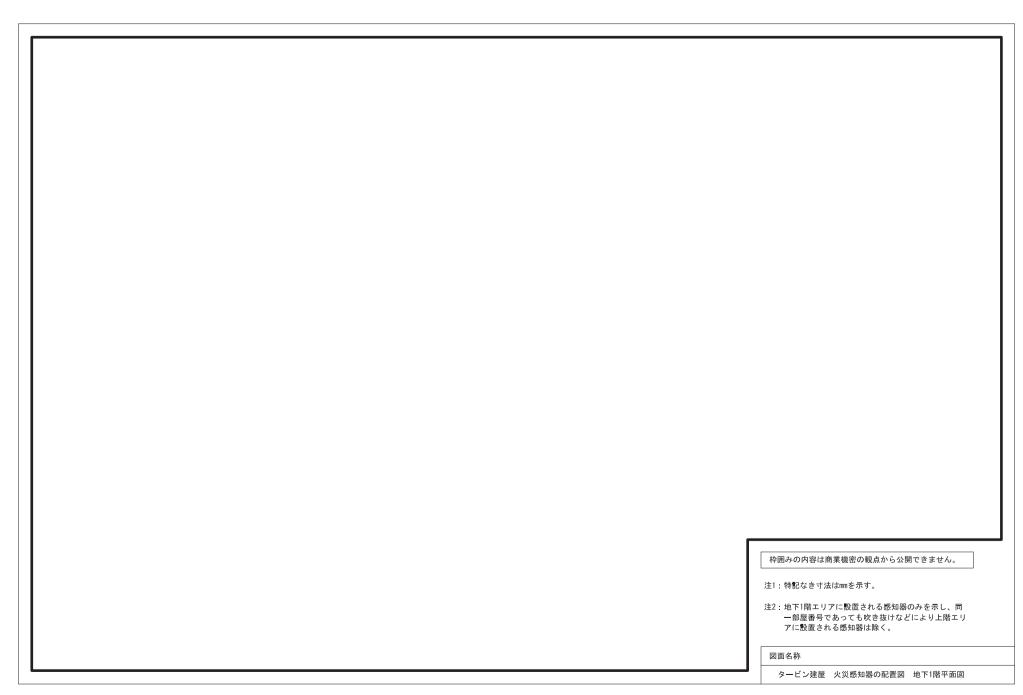


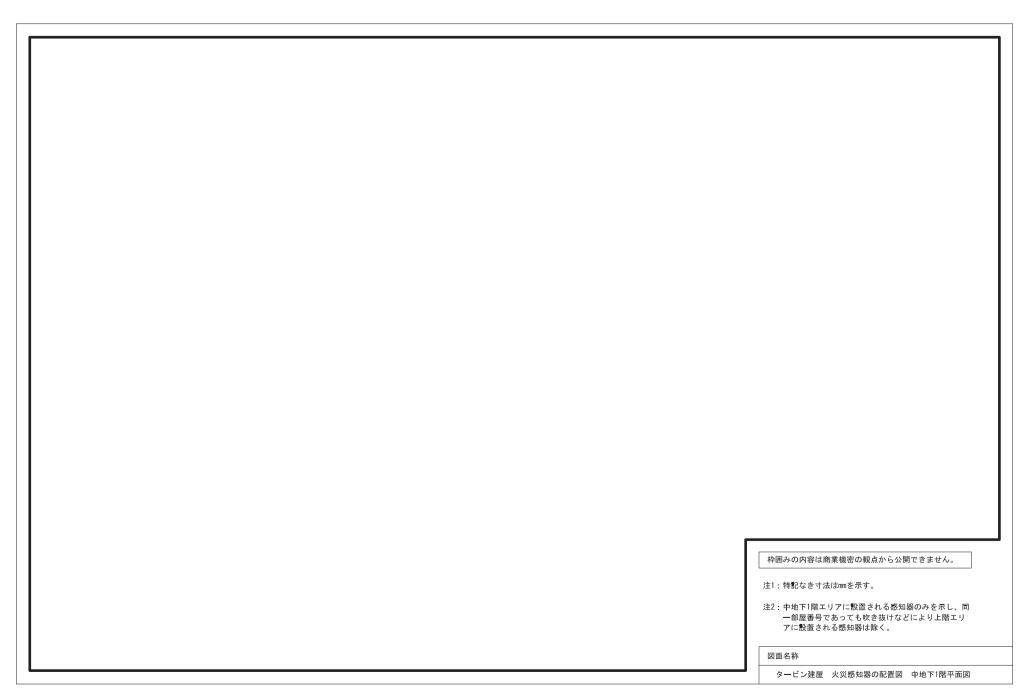




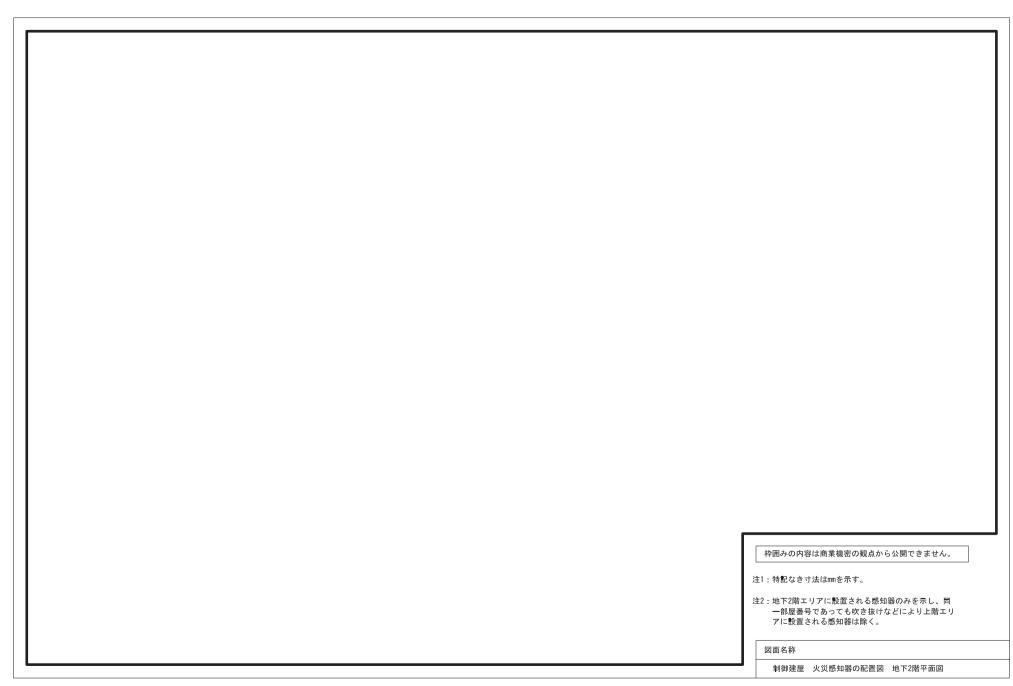


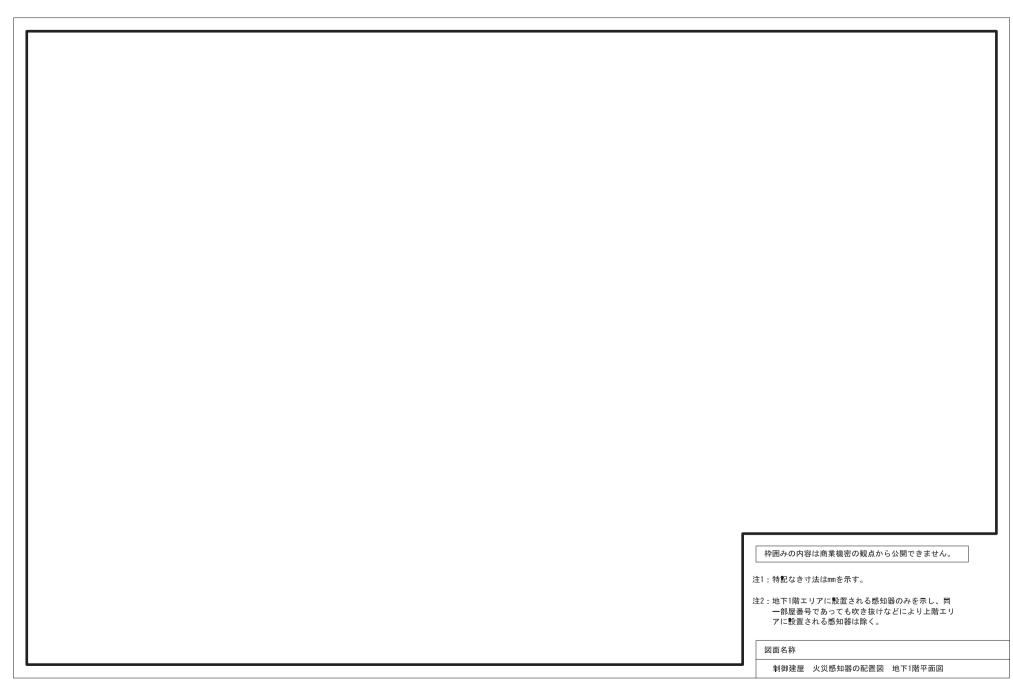


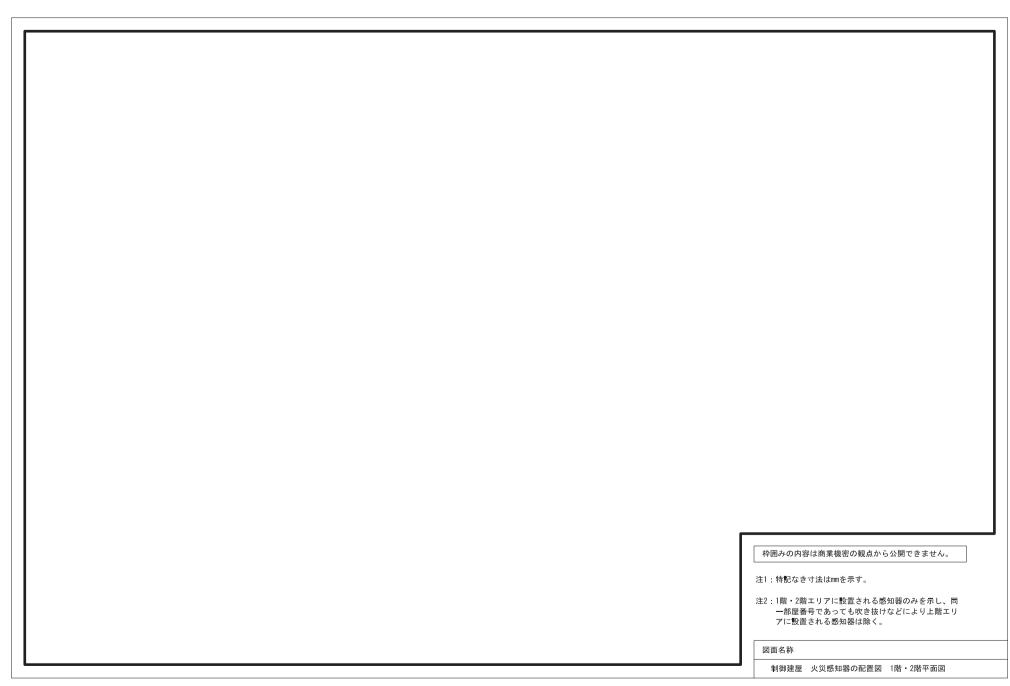


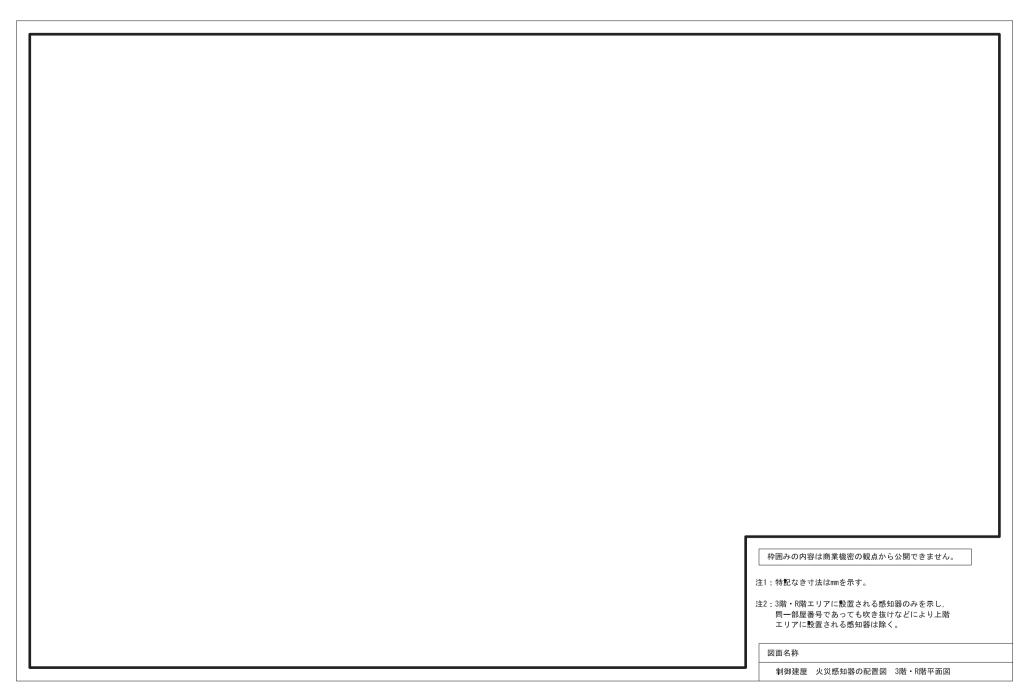


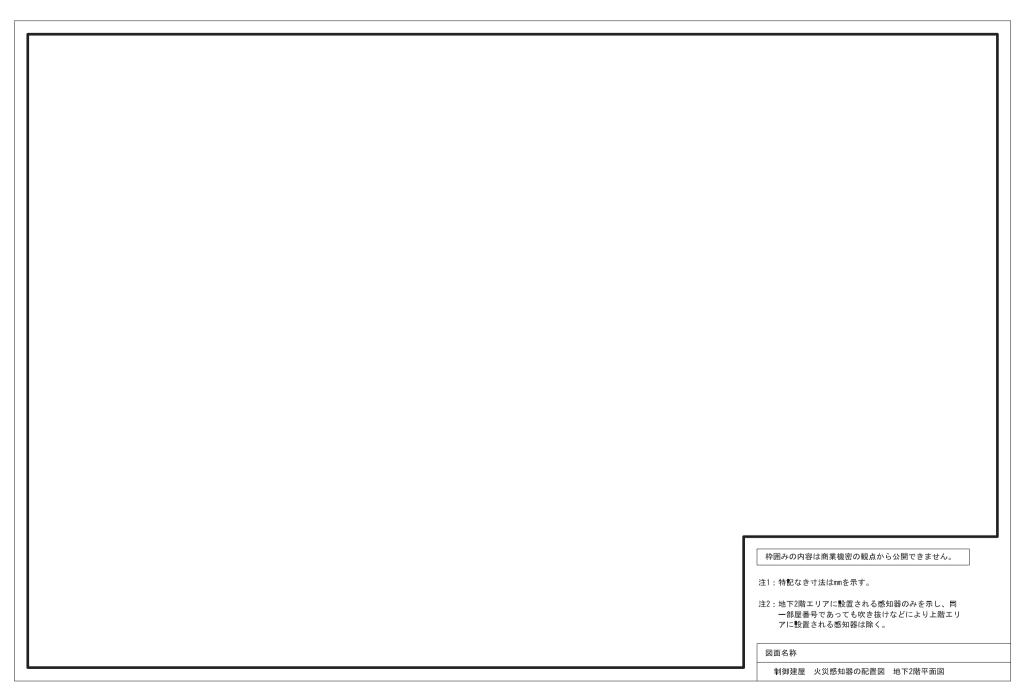
枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
注:特記なき寸法はmmを示す。
図面名称
タービン建屋 火災感知器の配置図 断面図

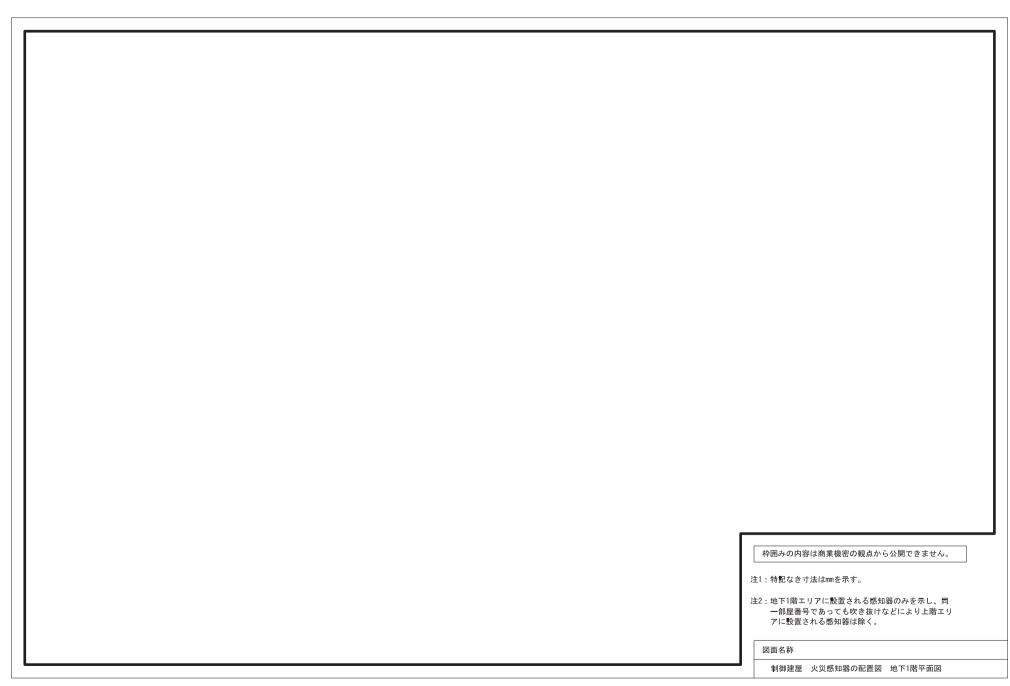


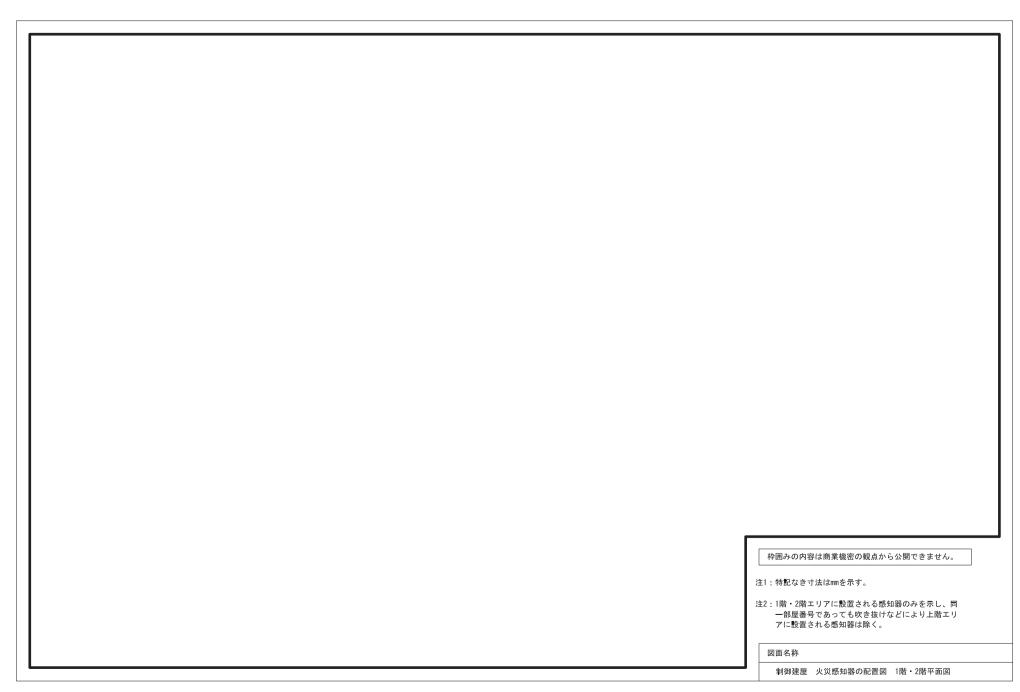


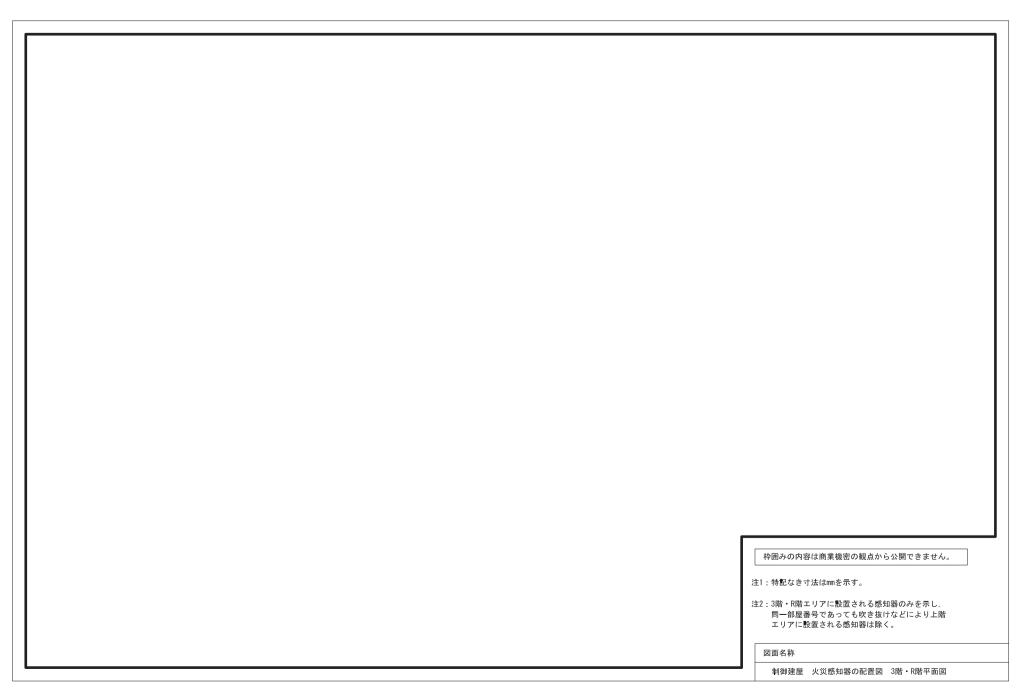




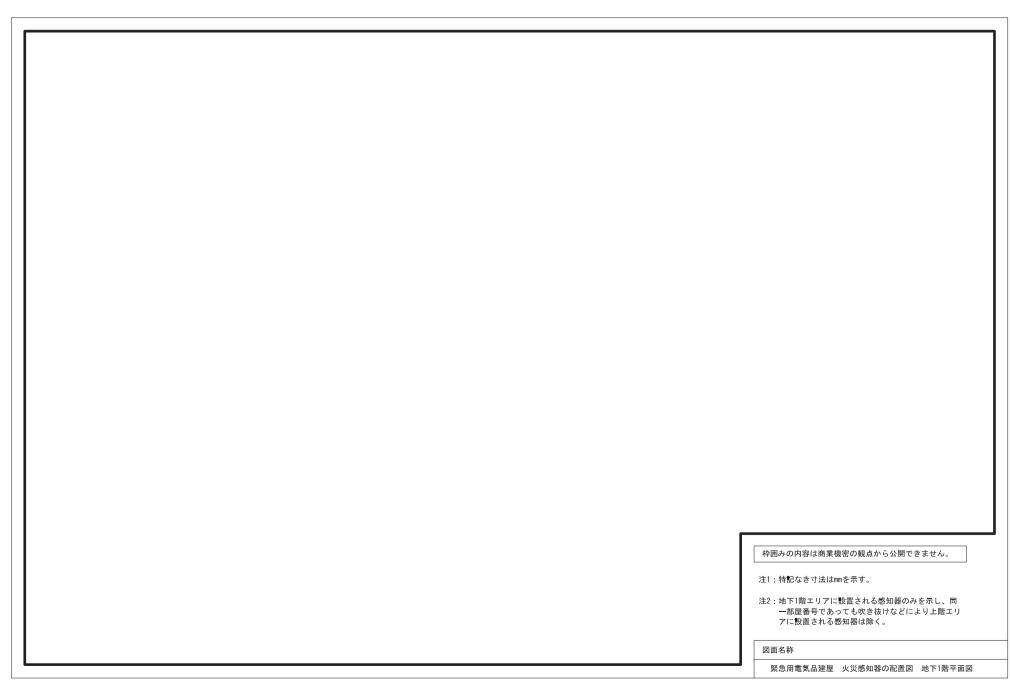


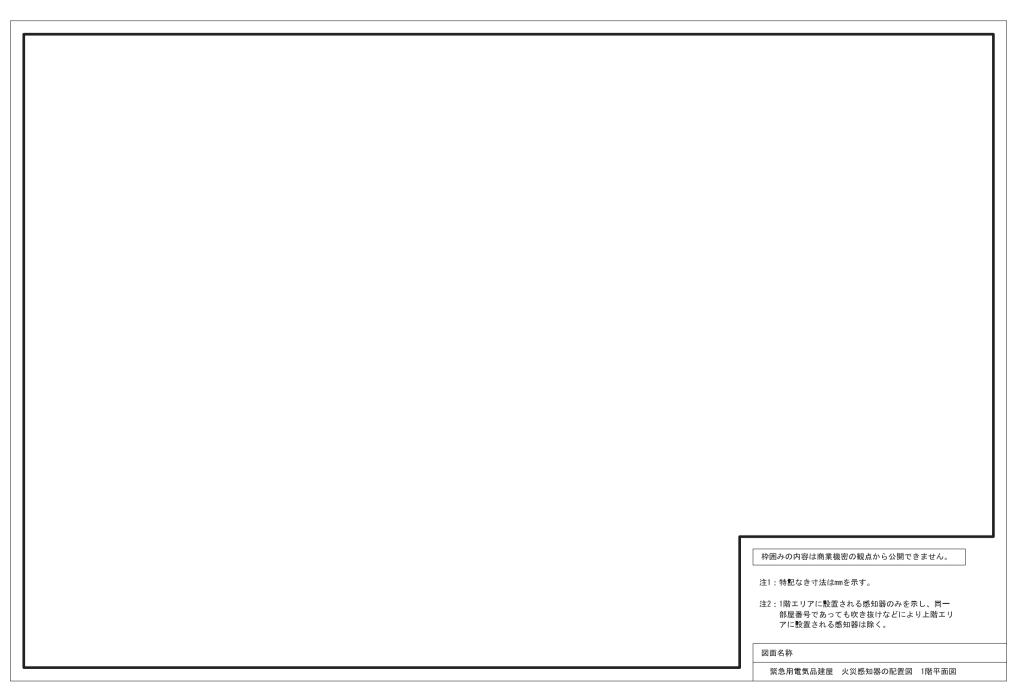


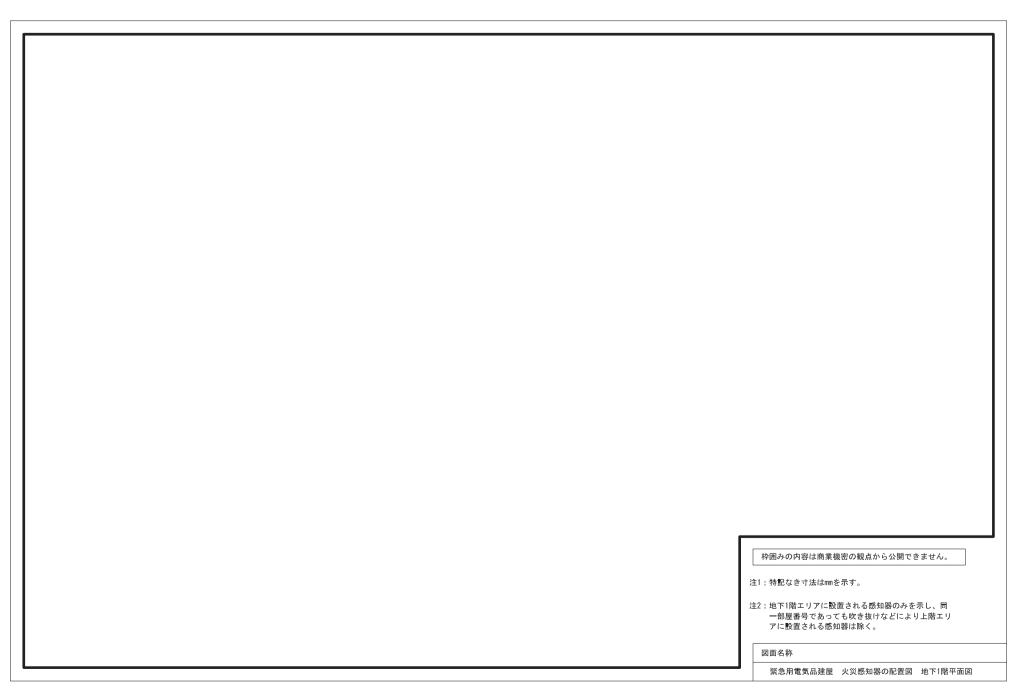


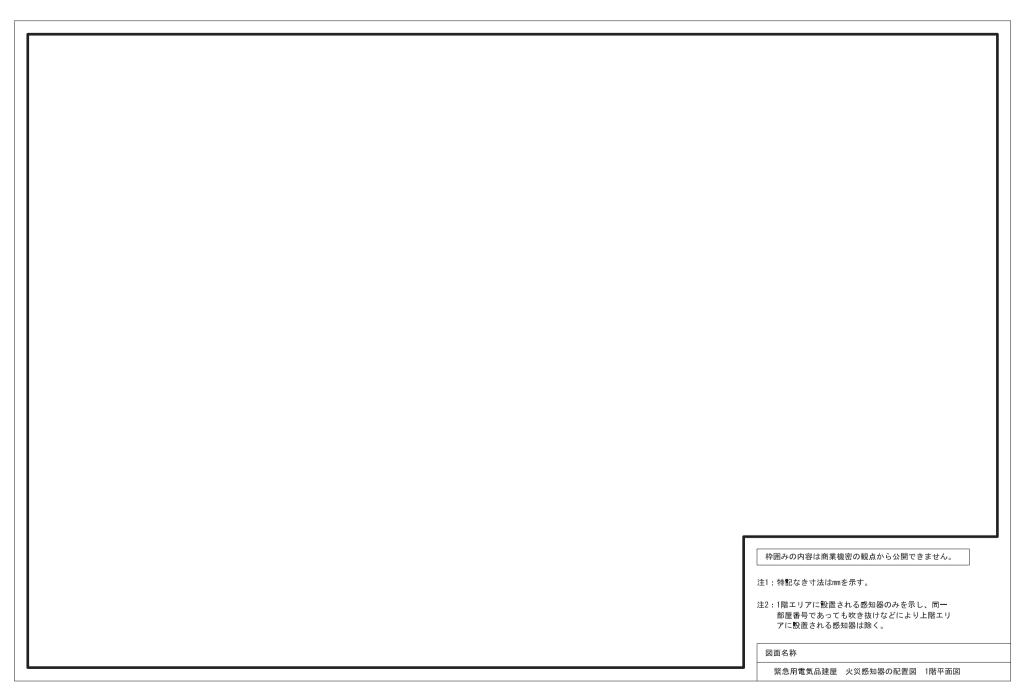


枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できま	せん。
注:特記なき寸法はmmを示す。	
土・特記なさり法はIIII1を小り。	
図面名称	
制御建屋 火災感知器の配置図 断面図	

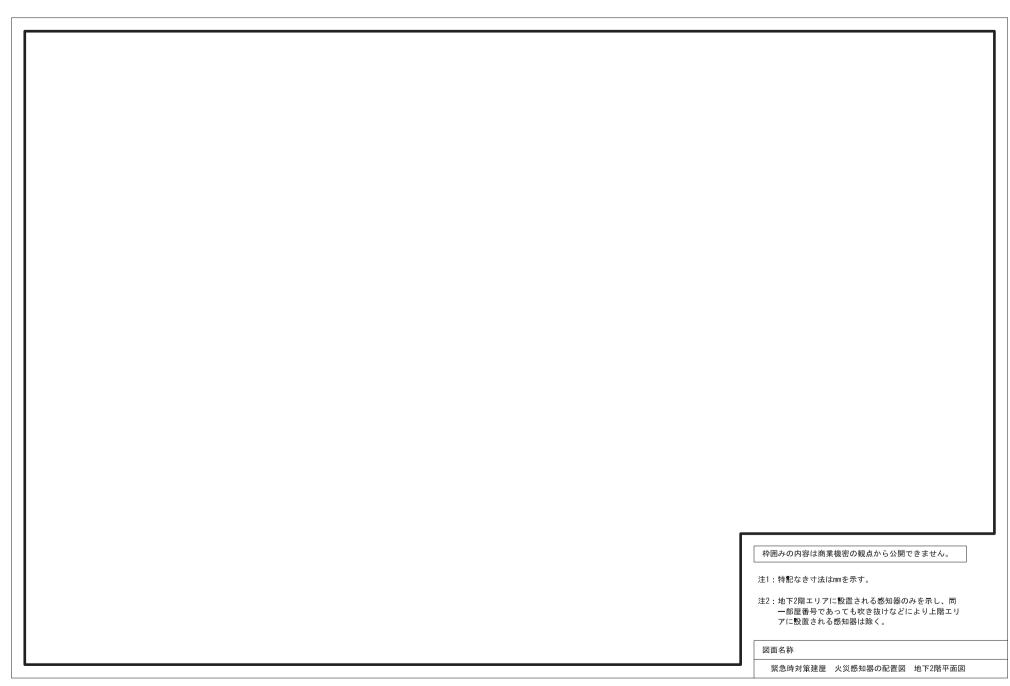


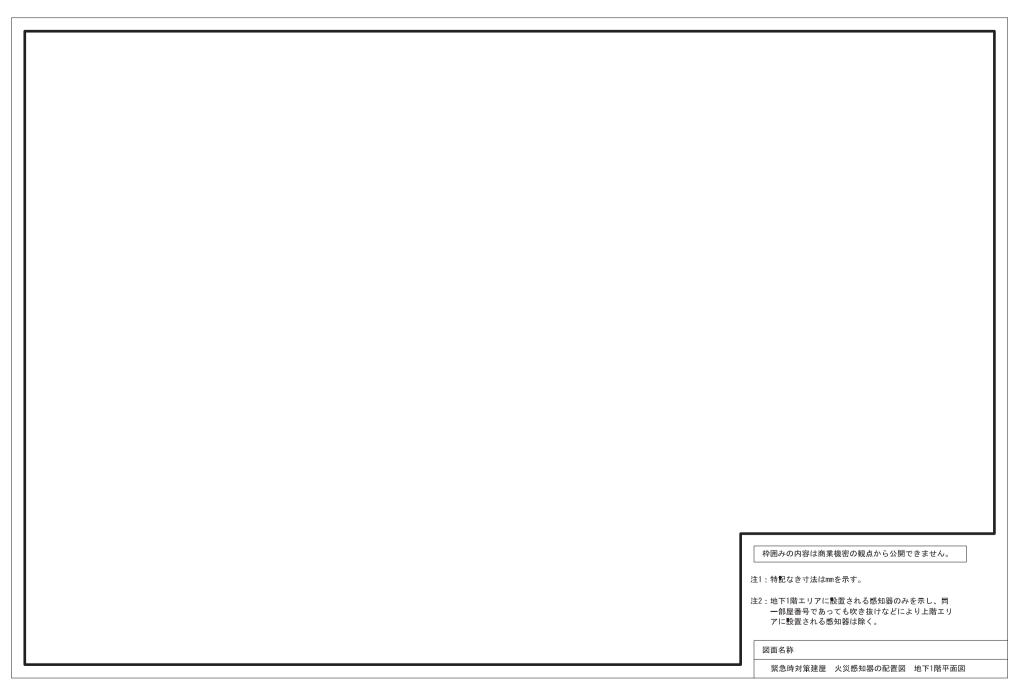


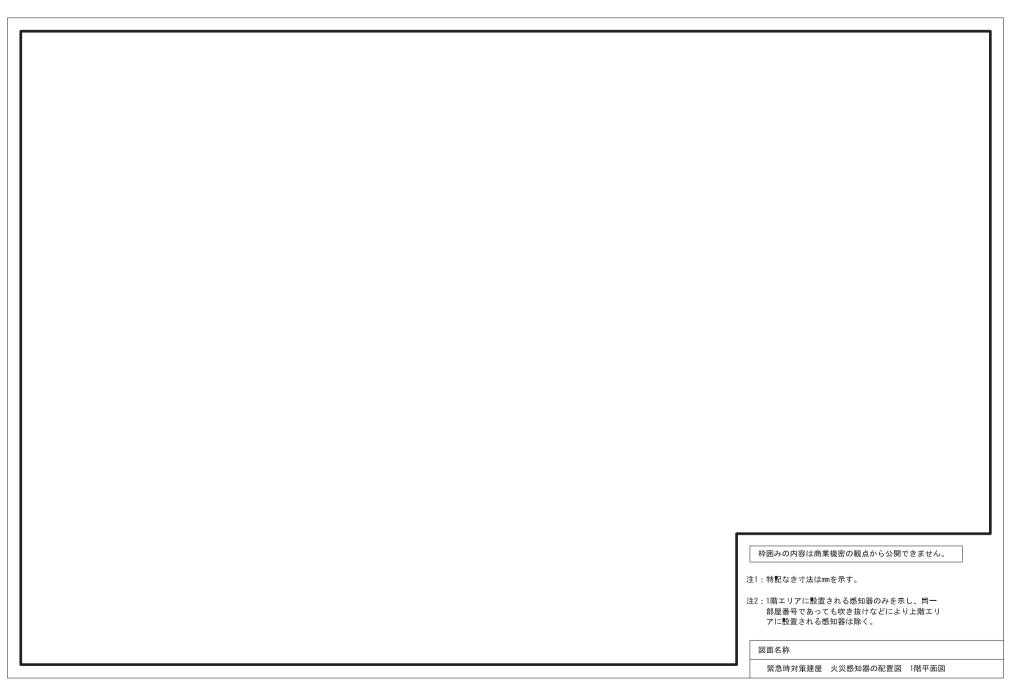


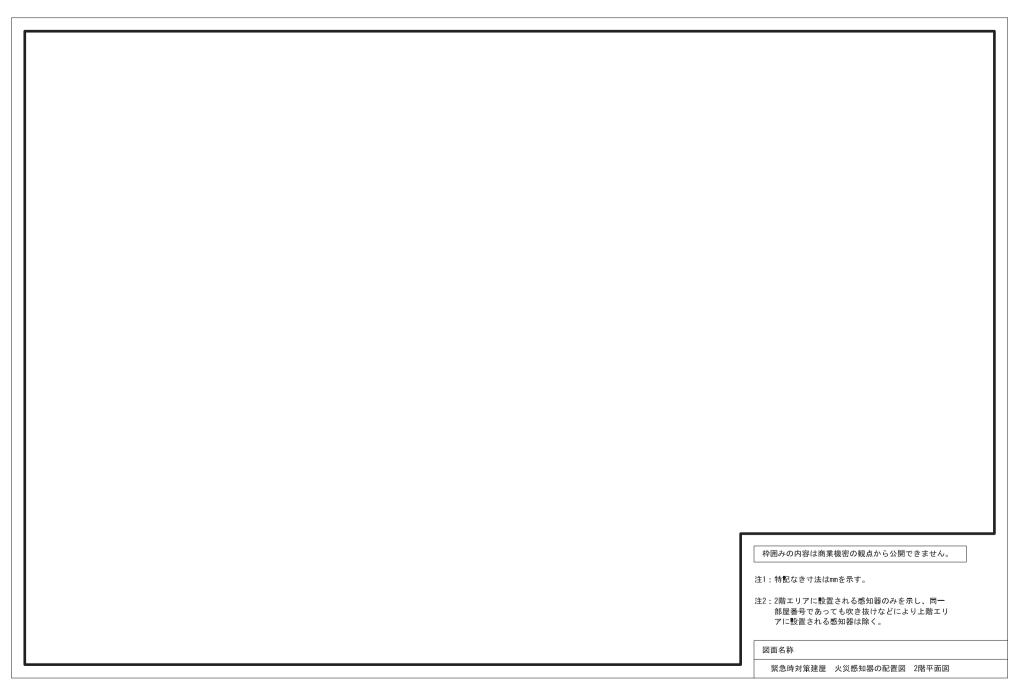


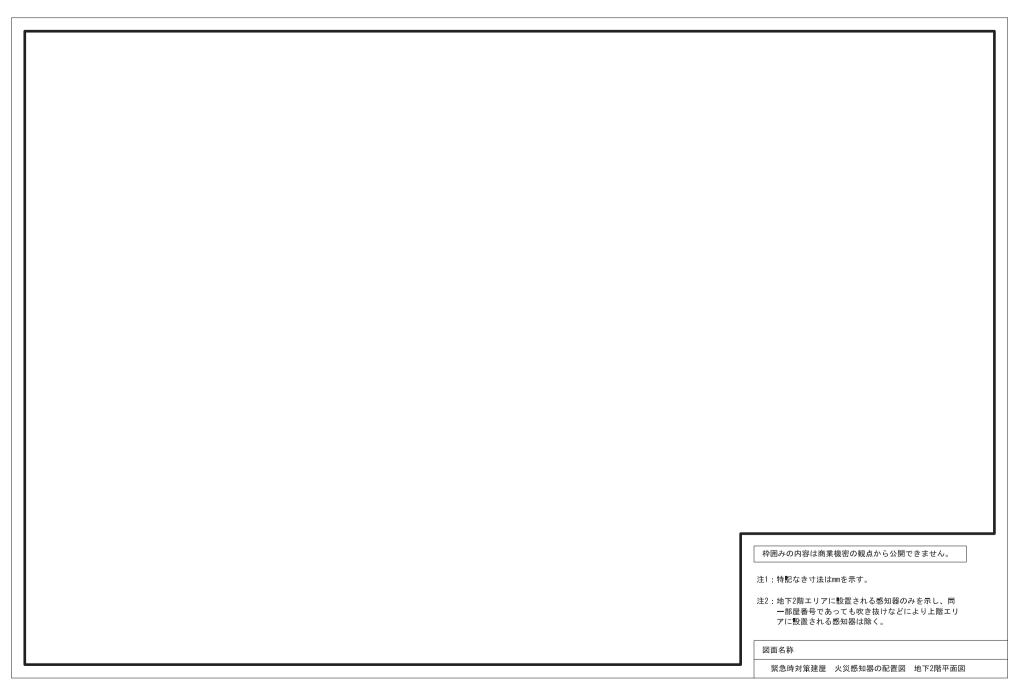
	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
	注:特記なき寸法はmmを示す。
	図面名称
	緊急用電気品建屋 火災感知器の配置図 断面図

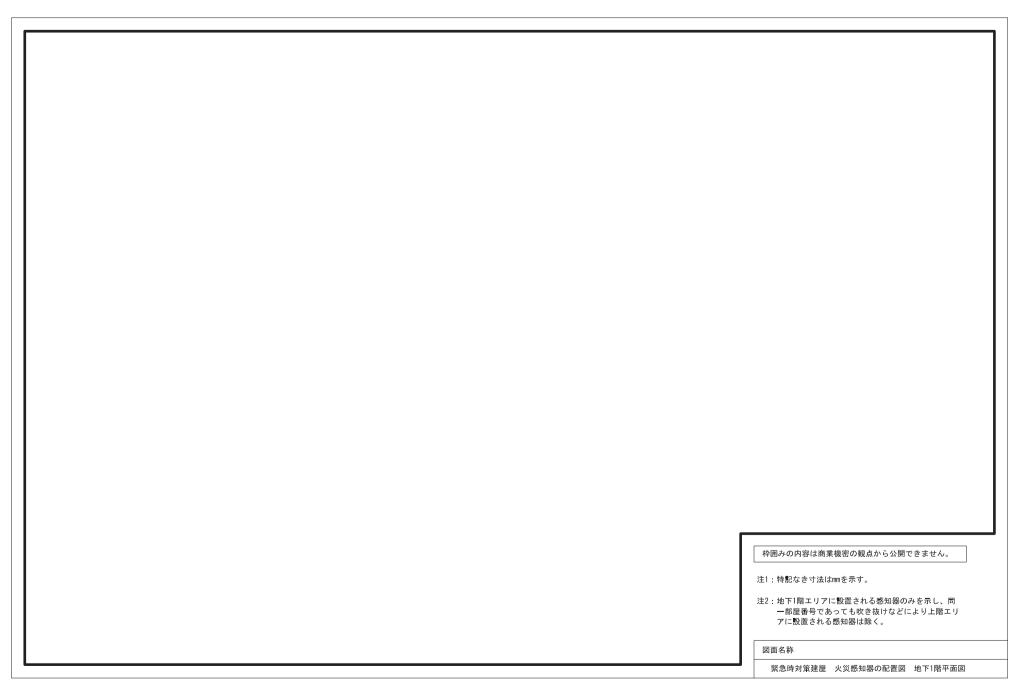


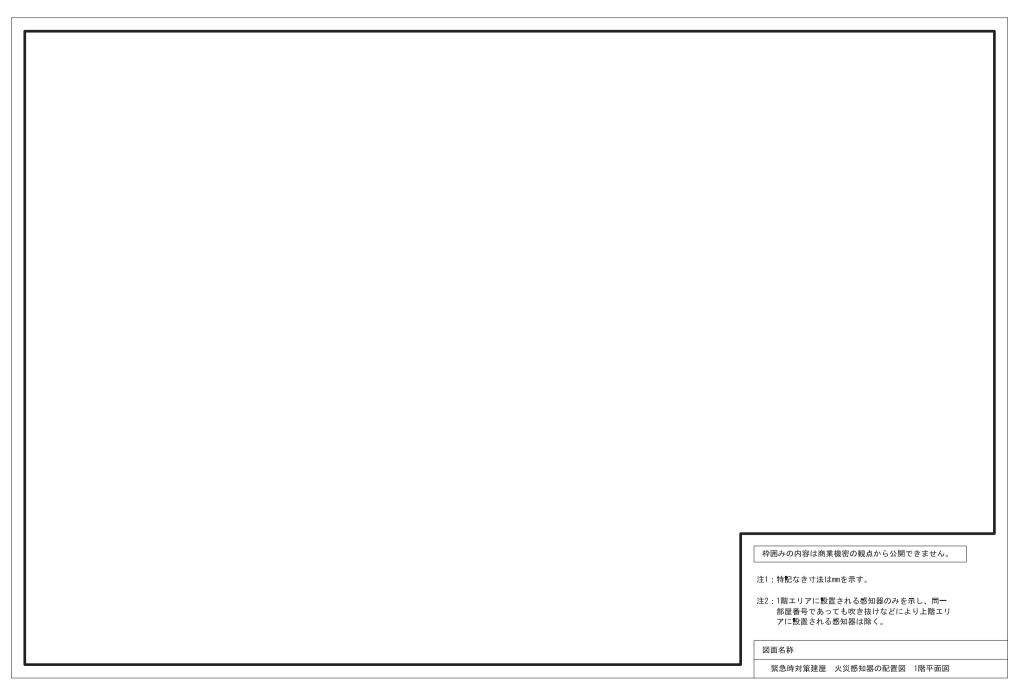


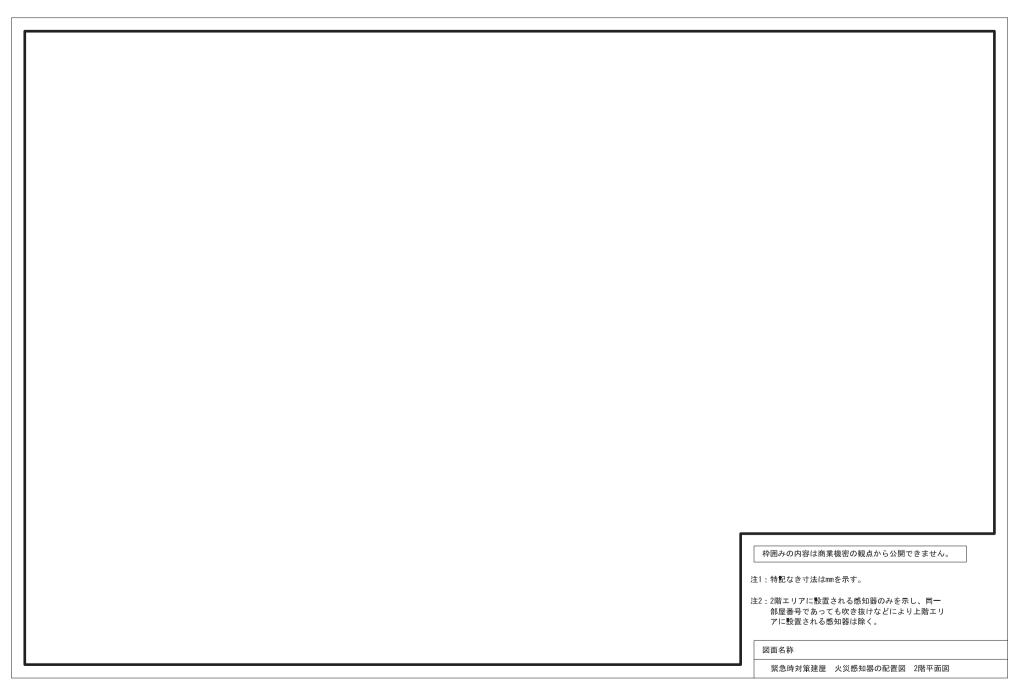


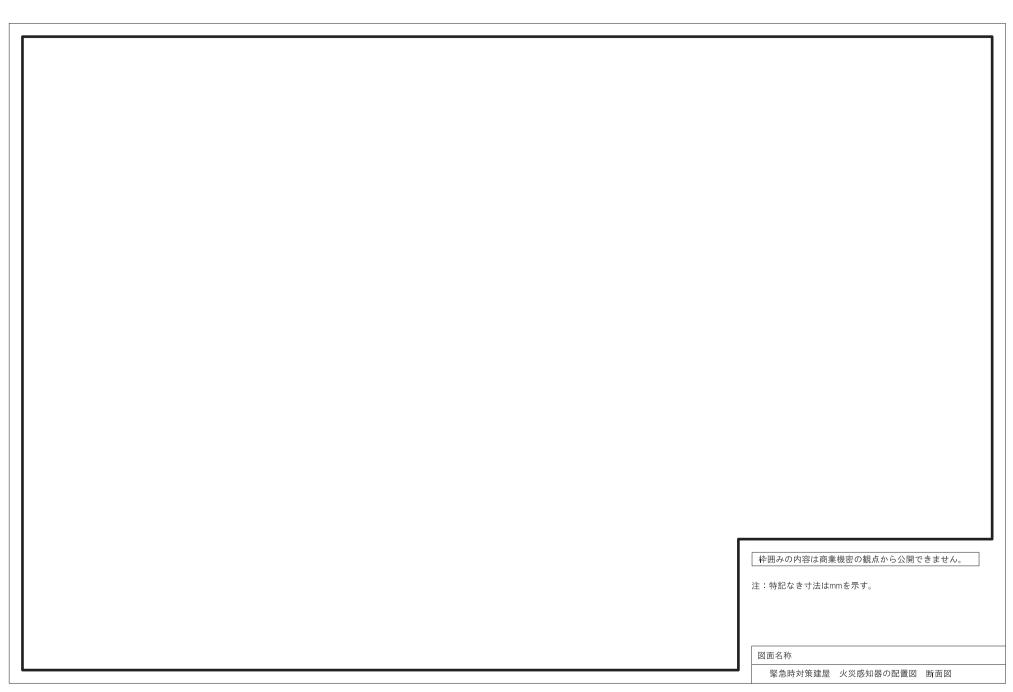


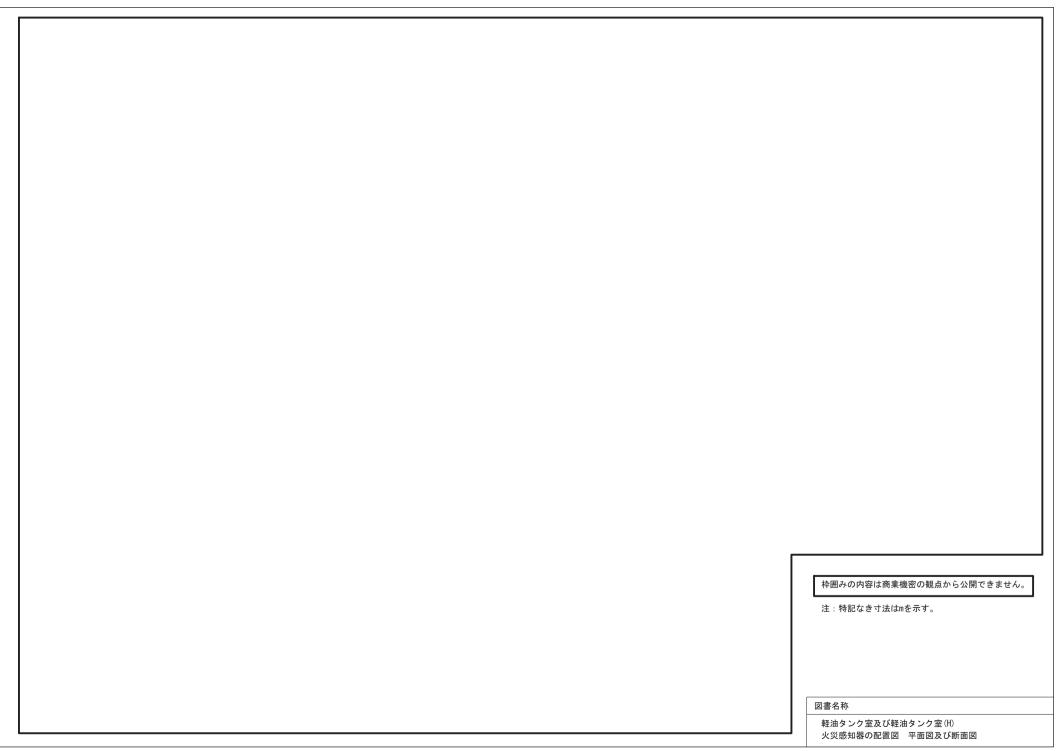


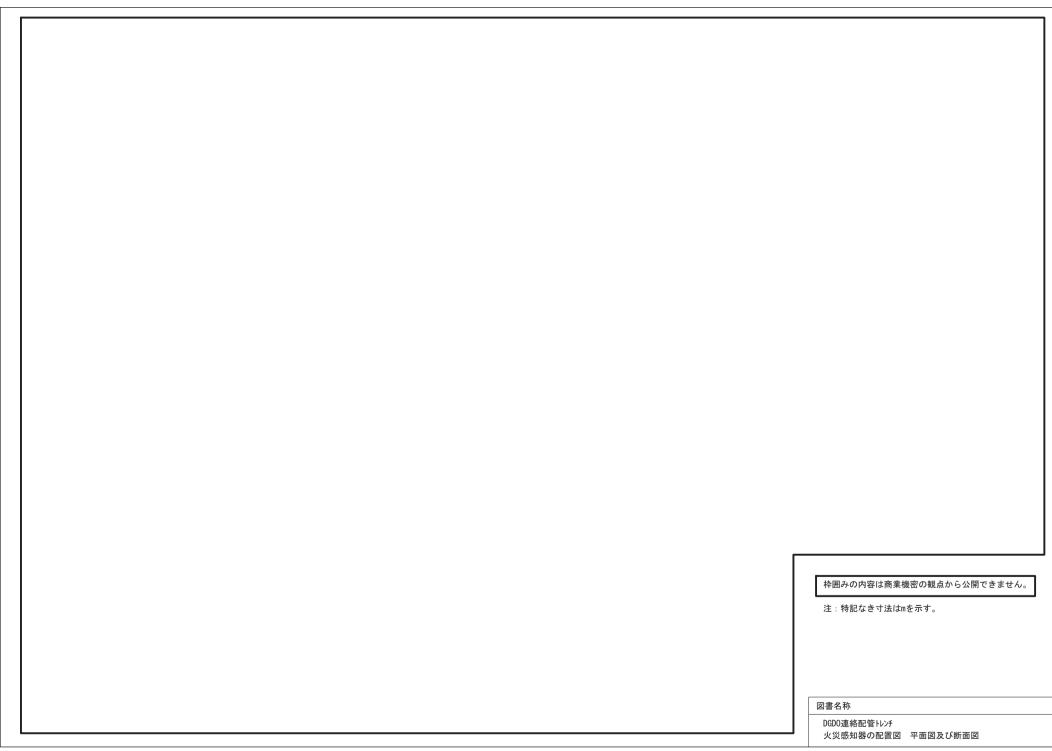


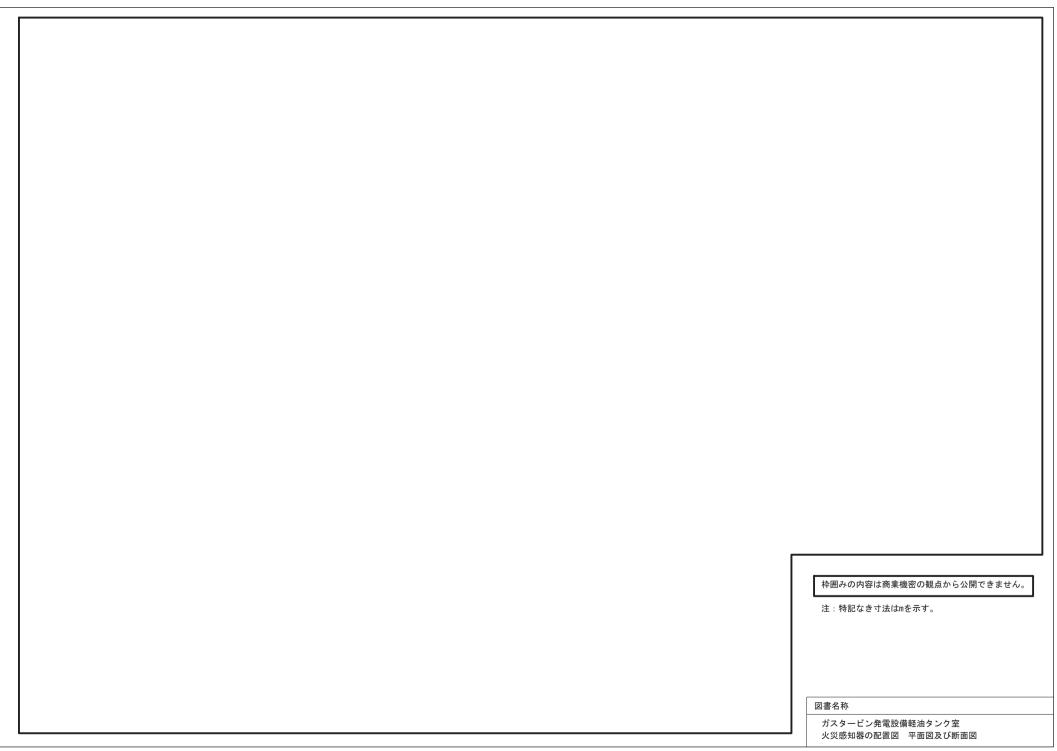












別紙 2

その他エリアの火災感知器の設置状況について

1. 屋外エリア

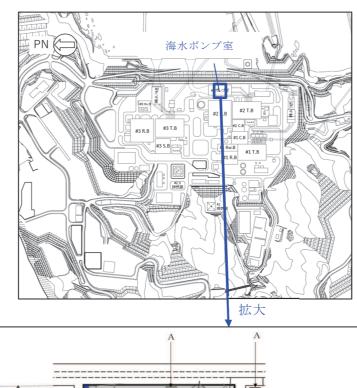
屋外に設置する屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラは、死角となる場所がないように設置する。屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの仕様を表1に、各火災区画の設置個数を表2に示す。また、各火災区画の配置図を次頁に示す。

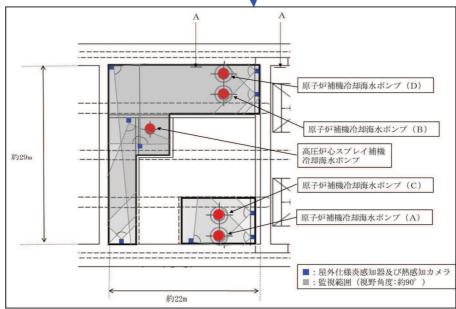
表 1 屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの仕様

項目	屋外仕様炎感知器	熱感知カメラ		
検出方式	赤外線	赤外線		
監視範囲	60m 以内	60m 以内		
視野角度	約 90°	約 90°		

表 2 屋外仕様炎感知器及び熱感知カメラの設置個数

部屋番号	名称	屋外仕様炎感知器 設置個数(個)	熱感知カメラ設置個数 (個)	
Y-1-1	RSW ポンプ(A)(C)室 3		3	
Y-1-3	HPSW ポンプ室 4		4	
Y-1-4	RSW ポンプ(B)(D)室	3	3	
Y-8-4	ガスタービン発電設備燃 料移送ポンプエリア	1	1	





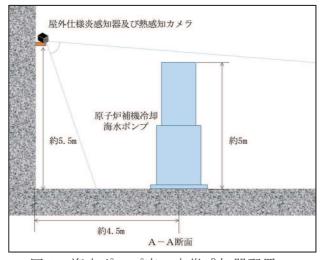


図1 海水ポンプ室の火災感知器配置

補 3-9-別紙 2-3

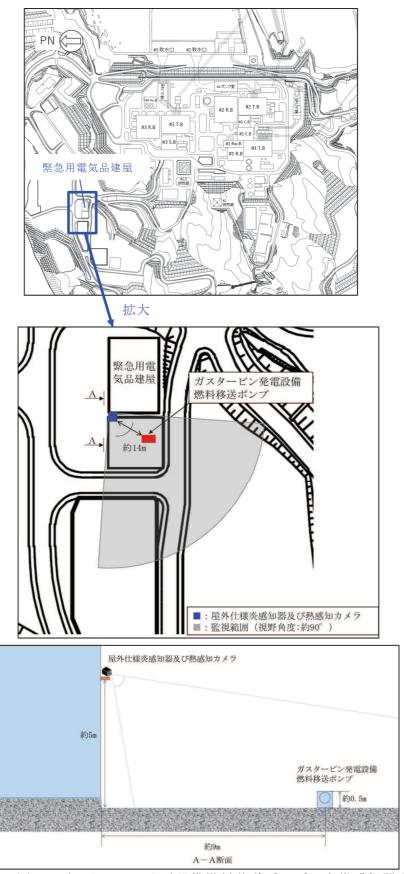


図 2 ガスタービン発電設備燃料移送ポンプの火災感知器配置

2. 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室

復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室は消防法施行規則を参考に熱感知器及び煙感知器を設置する。復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室における感知器の設置基準を表3に、各火災区画の設置個数を表4に示す。また、熱感知器及び煙感知器の配置図を次頁に示す。

表 3 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室の感知器設置基準

		天井高さ		
		4m 未満	4m 以上	
感知面積	熱	150m ² 以下	75m ² 以下	
	煙	40m ² 以下	25m ² 以下	

表 4 熱感知器及び煙感知器の設置個数

部屋番号 名称	感知	天井高さ		小区画面積	感知器 設置個数		
	区域	4m 未満	4m 以上		熱	煙	
復水貯蔵タンク/ Y-7-7 連絡トレンチ/ バルブ室	1	-	0	104.9	6	3	
	2	0	-	3.5	-*	-*	
	3	-	0	8. 2	1	1	
	4	0	-	58.6	2	1	
		5	-	0	10.9	1	1
	6	0	_	13	1	1	

注記*:Y-7-7②の感知器(熱,煙)はY-7-7③と兼用とする。

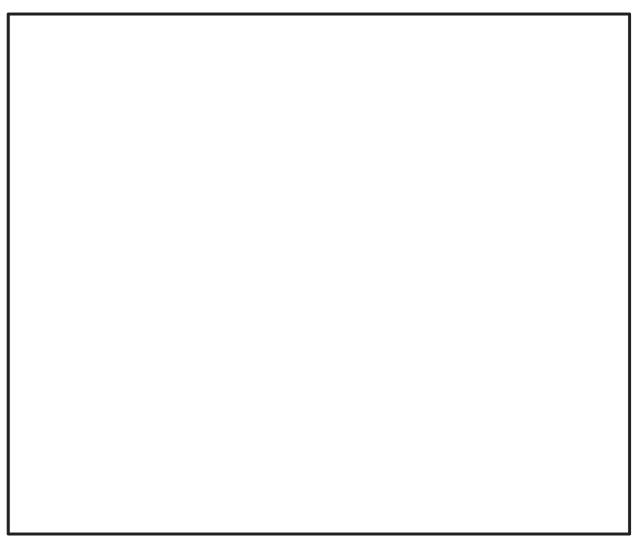


図3 復水貯蔵タンク/連絡トレンチ/バルブ室の火災感知器配置